

③

令和4年度 重点事業の概要



令和4年2月14日



静岡市

目 次

1	2つのLife	1
2	5大構想	5
	(1) 歴史文化の拠点づくり	6
	(2) 海洋文化の拠点づくり	8
	(3) 教育文化の拠点づくり	10
	(4) 「健康長寿のまち」の推進	12
	(5) 「まちは劇場」の推進	14
3	経済社会変革	17
	(1) 人口活力の維持	18
	(2) デジタル化の加速	20
	(3) 脱炭素社会の実現	22
4	防災・減災、国土強靱化	25
5	局別の主要事業	
	(1) 市長公室・危機管理総室	29
	(2) 企画局	37
	(3) 市民局	49
	(4) 区役所	55
	(5) 観光交流文化局	63
	(6) 環境局	87
	(7) 保健福祉長寿局	95
	(8) 子ども未来局	115
	(9) 経済局	125
	(10) 都市局	145
	(11) 建設局	165
	(12) 消防局	177
	(13) 上下水道局	185
	(14) 教育局	189
	(15) 会計室・議会事務局	199

令和4年度当初予算(案) 局別の主要事業 目 次

1	市長公室・危機管理総室	29
	(1) 重点政策広報の推進	32
	(2) しずチカ空間再構築事業	33
	(3) 静岡型「災害時総合情報サイト」構築事業	34
	(4) 同報無線デジタル化整備事業	35
2	企画局	37
	(1) SDGs連携加速化支援事業	40
	(2) まちごとテレワーク推進事業	41
	(3) 「東静岡アート&スポーツ/ヒロバ」運営事業	42
	(4) サッカースタジアムによるまちづくり検討事業	43
	(5) 広域行政の推進(しずおか中部連携中枢都市圏事業)	44
	(6) アリーナ誘致推進事業	45
	(7) 清水庁舎整備事業	46
	(8) スマートシティ推進事業	47
	(9) 情報リテラシー能力向上支援事業	48
3	市民局	49
	(1) 「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」推進事業	52
	(2) 井川湖渡船待合所更新事業	53
4	区役所	55
	(1) 葵区役所	56
	(2) 駿河区役所	58
	(3) 清水区役所	60
5	観光交流文化局	63
	(1) ナイトツーリズム推進事業	66
	(2) ナイトツーリズム推進事業(夜間景観整備事業)	67
	(3) 大河ドラマ活用推進事業	68
	(4) 地域連携DMO推進事業	69
	(5) 東海道歴史街道まち歩き推進事業	70
	(6) 駿州の旅日本遺産推進協議会負担金	71
	(7) 駿府城公園お堀の水辺活用事業(葵舟)	72
	(8) 東海道歴史街道観光推進プロモーション事業	73
	(9) 歴史文化施設建設・管理運営事業	74
	(10) 駿府城跡天守台発掘調査見える化・野外展示事業	75
	(11) 史跡小島陣屋跡保存整備事業	76
	(12) 三保松原保全活用事業	77
	(13) 賑わい創出イベント	78
	(14) 「まちは劇場」ブランディング事業	79

(15) 静岡市民文化会館再整備事業	80
(16) まちは劇場コンサート事業	81
(17) 将棋・囲碁関連事業	82
(18) 台湾スポーツ交流事業	83
(19) 清水エスパルス等活用・応援機運醸成事業	84
(20) 野球を活かしたまちづくり推進事業	85
(21) 日本平動物園中型サル舎大規模改修事業	86

6 環境局 87

(1) グリーン産業創出事業	90
(2) 地球温暖化対策推進事業	91
(3) 環境保健研究所建設事業	92
(4) 最終処分場整備事業	93

7 保健福祉長寿局 95

(1) 地域包括ケアシステムの推進	98
(2) 認知症ケア推進体制整備事業	99
(3) 成年後見制度利用促進事業	100
(4) 生涯活躍のまち静岡(CCRC)推進事業	101
(5) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施	102
(6) はつらつスマイル推進事業	103
(7) 医療的ケア児等コーディネーター設置事業	104
(8) 民間福祉施設の施設整備に対する助成	105
(9) 高齢者施設等における防災・減災対策事業費助成	106
(10) 福祉施設における新型コロナウイルス対策支援	107
(11) 新型コロナウイルス感染症対策事業	108
(12) 新型コロナウイルスワクチン接種事業	109
(13) 地域医療体制確保のための支援	110
(14) がん対策推進事業	111
(15) 清水地域医療人材育成事業費助成	112
(16) Life(いのち)を守る自殺予防事業	113

8 子ども未来局 115

(1) 産後ケア事業／ママケアデイサービス事業	118
(2) 私立こども園・保育所等運営費助成／特別支援保育事業	119
(3) 医療的ケア児受入促進事業	120
(4) 放課後児童クラブの運営・整備	121
(5) しずおかエンジェルプロジェクト・結婚新生活支援事業費助成	122
(6) 里親家庭支援事業	123
(7) 児童福祉施設等における新型コロナウイルス感染症対策事業	124

9 経済局 125

(1) 産業振興プラン推進事業	128
(2) 移住・就業事業費助成	129

(3) 海洋産業クラスター創造事業	130
(4) コ・クリエーションスペース運営事業(オープンイノベーション推進事業)	131
(5) プラモデル化計画に基づく「静岡市プラモデルプライドプロジェクト」	132
(6) チャレンジショップ出店事業費助成	133
(7) 地域経済の回復に向けた中小企業等への支援	134
(8) 中央卸売市場経営展望等改定支援業務	135
(9) 海洋文化施設建設事業	136
(10) 新興津地区交流施設検討事業	137
(11) 経営継承・発展等支援事業費助成	138
(12) 茶産地総合対策事業費助成	139
(13) 「お茶のまち静岡市」推進事業	140
(14) 農道の新設改良・林道の改良事業	141
(15) 用宗漁港海岸胸壁整備事業	142
(16) オクシズ森林基盤整備支援事業費助成	143
(17) エリートツリー・早生樹の森林づくり推進事業	144

10 都市局 145

(1) 静岡都心地区まちなか再生事業	148
(2) 静岡型MaaS推進事業	149
(3) 公共交通幹線軸の運行再編事業	150
(4) 静岡駅南口駅前広場再整備事業	151
(5) 御幸町9番・伝馬町4番地区市街地再開発事業	152
(6) 大谷・小鹿地区まちづくり計画推進事業	153
(7) 清水駅東口周辺歩行者ネットワーク整備事業	154
(8) 駿府城公園お堀の水辺空間活用事業	155
(9) 鯨ヶ池周辺整備事業	156
(10) 大浜公園再整備事業	157
(11) 麻機遊水地関連事業	158
(12) 日本平公園整備事業	159
(13) ブロック塀等耐震改修事業費助成	160
(14) 建物の耐震化事業費助成	161
(15) 要安全確認計画記載建築物耐震事業費助成	162
(16) 公営住宅等整備事業	163

11 建設局 165

(1) 道路ネットワークの整備	168
(2) 道の駅整備事業	169
(3) 交通安全施設整備事業(通学路対策)	170
(4) 橋りょう整備事業(道路橋の維持管理・耐震化、トンネル補修)	171
(5) 河川構造物耐震・津波対策事業	172
(6) 急傾斜地崩壊対策事業	173
(7) 地籍調査事業	174
(8) 日本遺産駿州の旅発信(安倍川橋建設100周年記念事業)	175

12 消防局 177

- (1) 常備消防庁舎施設整備事業 180
- (2) 非常備消防庁舎施設整備事業 181
- (3) 消防自動車等整備事業 182
- (4) 消防団員確保対策事業 183
- (5) 映像伝送システム更新事業 184

13 上下水道局 185

- (1) 浸水対策推進プラン 188

14 教育局 189

- (1) ICT教育環境整備事業 192
- (2) 子ども一人ひとりに寄り添う体制の充実 193
- (3) 静岡型小中一貫教育の推進 194
- (4) 特別支援教育の推進 195
- (5) 静岡を食べよう！おいしい給食提供事業 196
- (6) 和田島自然の家整備事業 197

15 会計室・議会事務局 199

- (1) 窓口におけるキャッシュレス決済導入事業 200
- (2) タブレット端末導入事業 201

2 つ の L i f e

【目標】

感染状況や経済的な影響を注視し、状況に応じて、感染拡大防止や事業の継続、雇用の確保、生活の下支え等の「2つのLife」を守るための対策を講じる。

いのち Lifeを守ろう

①市民の安全・安心の確保

53.9億円 (当初予算 43.3億円)
(2月補正 10.6億円)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止し、市民の生命及び健康を守るため、医療・予防体制の強化、ポストコロナにおける福祉サービスの提供体制の強化に取り組む。

感染拡大防止対策

市民への新型コロナウイルスワクチン接種の着実な実施とPCR検査等の行政検査や入院費用の助成、自宅療養者への健康管理サポートを行う。

- ・新型コロナウイルスワクチン接種事業
- ・PCR検査等の行政検査自己負担額助成
- ・在宅ドクターサポート事業



医療・福祉への支援

公的病院等の新型コロナウイルス感染症に対応した医療提供体制の確保の支援や、高齢者施設・障害福祉サービス事業所等に対して感染症対策の支援等を行う。

- ・公的病院事業費助成 (2月補正)
- ・障害福祉サービス継続支援事業費助成
- ・高齢者施設等感染拡大防止対策事業費助成



くらし Lifeを取り戻そう

②地域経済の活性化と賑わいの創出

17.3億円 (当初予算 9.9億円)
(2月補正 7.4億円)

「生活(くらし)のLife」を取り戻すため、消費活動の活性化や観光需要の喚起を目的とした支援、中小企業等への事業継続や新たなチャレンジに対する支援に取り組む。

地域経済の活性化

ポストコロナを見据え、イベント開催支援と消費拡大を一体的に実施することにより、まち全体のにぎわいの回復に取り組むとともに、コロナの影響を受けている文化・スポーツ活動に対して支援を行う。

- ・まちは劇場TRY'22開催事業負担金 (2月補正)
- ・地域消費促進事業費助成 (2月補正)
- ・デジタルスタンプラリーキャンペーン (2月補正)
- ・文化活動事業継続支援事業
- ・スポーツイベント緊急支援事業費助成



中小企業等への支援

中小企業等が事業を継続するための支援や、新技術の導入による生産性の向上、新たな販路開拓、事業転換等の積極的な取組に対して支援を行う。

- ・中小企業等事業高度化事業費助成
- ・オクシズ森林基盤整備支援事業費助成
- ・中小企業への特別利子補給事業
- ・事業再構築補助金活用支援事業 (2月補正)

児童生徒への支援

子どもたちが安心して学校生活を送ることができる環境を整えるとともに、コロナの影響により業務が増加している教員を支援し、指導に集中できる環境を整える。

- ・スクール・サポート・スタッフ配置事業
- ・教育相談員活用事業

令和4年度 主な事業



No.	局名	課名	事業名	予算額 (千円)	ページ
①市民の安全・安心の確保			53.9億円	(当初予算 43.3億円) (2月補正 10.6億円)	
1	保健福祉長寿局	新型コロナウイルス感染症対策課 (保健予防課)	新型コロナウイルスワクチン接種事業	2,929,000	109
2	保健福祉長寿局	保健予防課	新型コロナウイルス感染症対策事業	1,174,000	108
3	子ども未来局	子ども未来課 (ほか)	児童福祉施設等における新型コロナウイルス感染症対策事業	155,450	124
4	保健福祉長寿局	障害者支援推進課 介護保険課	福祉施設における新型コロナウイルス対策支援	24,900	107
5	危機管理総室	—	新型コロナウイルス感染症なんでも相談ダイヤル運営事業	28,000	—
6	環境局	環境保健研究所	環境保健研究所建設事業 (5大構想「教育文化の拠点づくり」にて計上)	(112,000)	92
7	保健福祉長寿局	新型コロナウイルス感染症対策課 (保健予防課)	新型コロナウイルスワクチン接種事業	2月補正 837,000	—
8	保健福祉長寿局	保健衛生医療課	公的病院事業費助成	2月補正 40,000	—
9	保健福祉長寿局	障害福祉企画課	障害者福祉施設等整備事業費助成	2月補正 7,467	—
10	保健福祉長寿局	障害者支援推進課	生産活動拡大支援事業費助成	2月補正 4,200	—
11	教育局	教育施設課 (ほか)	学校保健特別対策事業	2月補正 170,100	—
②地域経済の活性化と賑わいの創出			17.3億円	(当初予算 9.9億円) (2月補正 7.4億円)	
1	経済局	産業振興課	中小企業事業高度化事業費助成	80,000	134
2	経済局	中山間地振興課	オクシズ森林基盤整備支援事業費助成	40,000	143
3	経済局	産業振興課	経済変動対策資金特別利子補給事業	634,543	134
4	教育局	教職員課 (ほか)	子ども一人ひとりに寄り添う体制の充実 (スクール・サポート・スタッフ配置事業)	62,170	193
5	観光交流文化局	まちは劇場推進課 (ほか)	賑わいイベント創出事業 (イベントの感染症対策)	51,500	—
6	観光交流文化局	文化振興課	文化活動事業継続支援事業	4,200	—
7	観光交流文化局	まちは劇場推進課	まちは劇場TRY'22開催事業負担金	2月補正 80,000	—
8	経済局	商業労政課	地域消費促進事業費助成	2月補正 200,000	—
9	経済局	商業労政課	デジタルスタンプラリーキャンペーン事業	2月補正 200,000	—
10	観光交流文化局	観光・MICE推進課	地域型宿泊誘客事業費助成	2月補正 100,000	—
11	観光交流文化局	観光・MICE推進課	団体旅行等誘致事業	2月補正 100,000	—
12	経済局	産業政策課	事業再構築補助金活用支援事業	2月補正 35,000	—

5 大 構 想

1 歴史文化の拠点づくり【静岡都心】

【目標】

駿府城公園を始めとする歴史的名所（ランドマーク）を活用しながら、静岡都心の賑わいを創出することで、交流人口の増加を図るとともに、地域経済の活性化を実現する。

【方針】

①歴史文化の伝承と新たな魅力の創出による風格ある街並みの形成

駿府城公園や浅間神社などの歴史的資源をみがきあげ、歴史を感じる空間を創出することにより、駿府城公園周辺エリアのブランド力を高め、静岡都心への集客力を高める。

②駿府城公園周辺における賑わいと潤いのある新たな公共空間の創造

駿府城公園などの歴史的施設で、公共空間を活用した、地域資産の魅力を向上させる取組を行うことにより、市民の静岡都心への誇りと愛着を高め、「まちなかライフ」の楽しさを演出する。



1 歴史文化の拠点づくり【静岡都心】

令和4年度 主な事業



13.4億円

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	令和4年度 当初予算額 (千円)	ページ
1	観光交流文化局	歴史文化課	継続	歴史文化施設建設・管理運営事業	ハード	712,535	74
2	観光交流文化局	観光・MICE推進課	新規	大河ドラマ活用推進事業	ソフト	300,000	68
3	観光交流文化局	観光・MICE推進課	新規	ナイトツーリズム推進事業(夜間景観整備事業)	ハード	139,000	67
4	観光交流文化局	歴史文化課	拡充	駿府城跡天守台発掘調査見える化 ・野外展示事業	ハード	72,865	75
5	観光交流文化局	観光・MICE推進課	継続	駿府城公園お堀の水辺活用事業(葵舟)	ソフト	10,175	72
6	都市局	緑地政策課	新規	駿府城公園お堀の水辺空間活用事業	ソフト	8,000	155
7	市長公室	広報課	拡充	重点政策広報の推進	ソフト	29,000	32
8	市長公室	広報課	継続	しずチカ空間再構築事業	ソフト	19,000	33
9	観光交流文化局	観光・MICE推進課	継続	駿州の旅日本遺産推進協議会負担金	ソフト	5,350	71
10	観光交流文化局	歴史文化課	継続	歴史文化推進事業	ソフト	2,428	—
11	観光交流文化局	文化財課	継続	文化財保護管理事業費助成(静岡浅間神社)	ハード	20,000	—
12	観光交流文化局	文化財課	継続	駿府九十六ヶ町町名碑設置事業	ソフト	2,500	—
13	観光交流文化局	文化振興課	拡充	将棋・囲碁関連事業	ソフト	10,500	82



駿府城跡天守台発掘調査現場



駿府城公園 中堀



歴史博物館 館内イメージ

2 海洋文化の拠点づくり【清水都心】

【目標】

清水港周辺に集積する行政、民間企業、教育機関などと連携し、海洋関連産業の振興を推進することで、交流人口の増加と地域経済の活性化を図り、地球全体の海を取り巻く環境の保全や、海洋人材の育成にも取り組むことで、国内外から人々が訪れる「国際海洋文化都市」の実現を目指す。

【方針】

①産学民官の連携による「海洋文化拠点」の形成

大学等の研究機関や周辺企業等との連携を深め、新たな海洋産業の振興や海洋人材の育成を図るとともに、海洋・地球に関する総合的な展示施設である「海洋文化施設」を整備し、この施設が国際海洋文化都市のシンボル施設となることを目指す。

②「働くみなと」に「楽しむみなと」を加えた求心力の強い港町の創生

清水都心ウォーターフロント地区において、民間活力を引き出すような観光の基盤整備や、わくわくドキドキを肌で感じるような多彩な賑わいづくりの施策を進めるとともに、地震や津波に備えた災害対策を推進する。



2 海洋文化の拠点づくり【清水都心】

令和4年度 主な事業



9.8億円

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	令和4年度 当初予算額 (千円)	ページ
1	経済局	海洋文化都市 政策課	拡充	海洋文化施設建設事業	ハード	13,836	136
2	経済局	海洋文化都市 政策課	新規	新興津地区交流施設検討事業	ソフト	5,000	137
3	都市局	清水駅周辺整備課	新規	清水駅東口周辺歩行者ネットワーク整備事業	ハード	75,300	154
4	経済局	産業政策課	継続	海洋産業クラスター創造事業	ソフト	9,468	130
5	企画局	アセットマネジメント 推進課	継続	清水庁舎整備事業	ハード	18,671	46
6	観光交流文化局	文化財課	拡充	三保松原保全活用事業	ソフト	68,481	77
7	経済局	海洋文化都市 政策課	継続	海洋文化都市普及促進事業	ソフト	2,800	—
8	経済局	海洋文化都市 政策課	継続	マグロのまち静岡推進事業	ソフト	681	—
9	経済局	海洋文化都市 政策課	継続	清水港客船誘致委員会負担金	ソフト	20,476	—
10	観光交流文化局	観光・MICE推進課	拡充	駿河湾フェリー運航事業負担金	ソフト	43,500	—
11	経済局	海洋文化都市 政策課	新規	日の出地区交通円滑化事業	ハード	19,000	—
12	経済局	海洋文化都市 政策課	継続	みなとオアシス運営事業	ソフト	2,439	—
13	経済局	海洋文化都市 政策課	継続	清水港整備事業	ハード	631,900	—
14	経済局	海洋文化都市 政策課	継続	清水港コンテナ航路誘致事業負担金	ソフト	50,000	—
15	都市局	緑地政策課 公園整備課	新規	清水駅東口公園施設移設事業	ハード	15,389	—



新興津地区人工海浜・緑地イメージパース図



清水港 客船の寄港風景

3 教育文化の拠点づくり【草薙・東静岡副都心】

【目標】

JR東静岡・草薙駅周辺地区に、すべての人が質の高い教育を受けることのできる機会を創出し、地域経済の活性化を図るとともに、多くの若者が集まり、交流が生まれるまちを目指す。

【方針】

①教育文化の薫りが漂う都市空間の創造

文化・スポーツの殿堂を目指す東静岡地区と、大学や図書館、美術館などが集積し、文教エリアとしての特性を有する草薙地区に、教育文化の新たな価値を創造し、地域経済の活性化を果たす。

②高等教育機関との連携等によるシチズンシップに富んだ人材の養成と活動の促進

高等教育機関との連携等により、生涯にわたって学習できる機会を充実させるとともに、シチズンシップ（積極的にまちづくりに関わろうとする公共意識）を持った人材の養成やまちづくりへの参加を促す施策を進める。



高等教育機関等との連携



3 教育文化の拠点づくり【草薙・東静岡副都心】

令和4年度 主な事業



2.2億円

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	令和4年度 当初予算額 (千円)	ページ
1	市民局 ほか	生涯学習推進課 ほか	拡充	「静岡シチズンカレッジこ・こ・に」推進事業	ソフト	20,360	52
2	環境局	環境保健研究所	継続	環境保健研究所建設事業【再掲】	ハード	112,000	92
3	企画局	企画課	拡充	「東静岡アート&スポーツ/ヒロバ」運営事業	ソフト	31,340	42
4	都市局	清水駅周辺整備課	継続	草薙駅周辺エリアマネジメント支援事業	ソフト	2,000	—
5	都市局	都市計画課	継続	道路新設改良事業(草薙駅周辺)	ハード	38,000	—
6	企画局	企画課	継続	静岡市高等教育将来構想検討事業	ソフト	1,178	—
7	市民局	市民自治推進課	継続	市民活動支援システム活用推進事業	ソフト	2,889	—
8	観光交流文化局	スポーツ交流課	拡充	台湾スポーツ交流事業	ソフト	3,019	83
9	観光交流文化局	スポーツ交流課	拡充	パラバドミントンサポートシティ推進事業	ソフト	1,120	—
10	観光交流文化局	スポーツ交流課	継続	大学野球オータムフレッシュリーグin静岡開催事業費助成	ソフト	2,000	—
11	観光交流文化局	スポーツ交流課	継続	スポーツを通じた青少年国際交流事業 (台湾との高校生相互派遣)	ソフト	8,000	—



東静岡アート&スポーツ/ヒロバ



静岡シチズンカレッジ
こ・こ・に



台北マラソン交流



こ・こ・に専門課程 多文化共生サポーター養成講座

4 「健康長寿のまち」の推進

【目標】

市民の皆さんが、いつまでもずっと健康で人生を楽しむことができ、また、住み慣れた自宅ですっと、人生の最期まで、自分らしく暮らすことが出来るまちを実現する。

【方針】

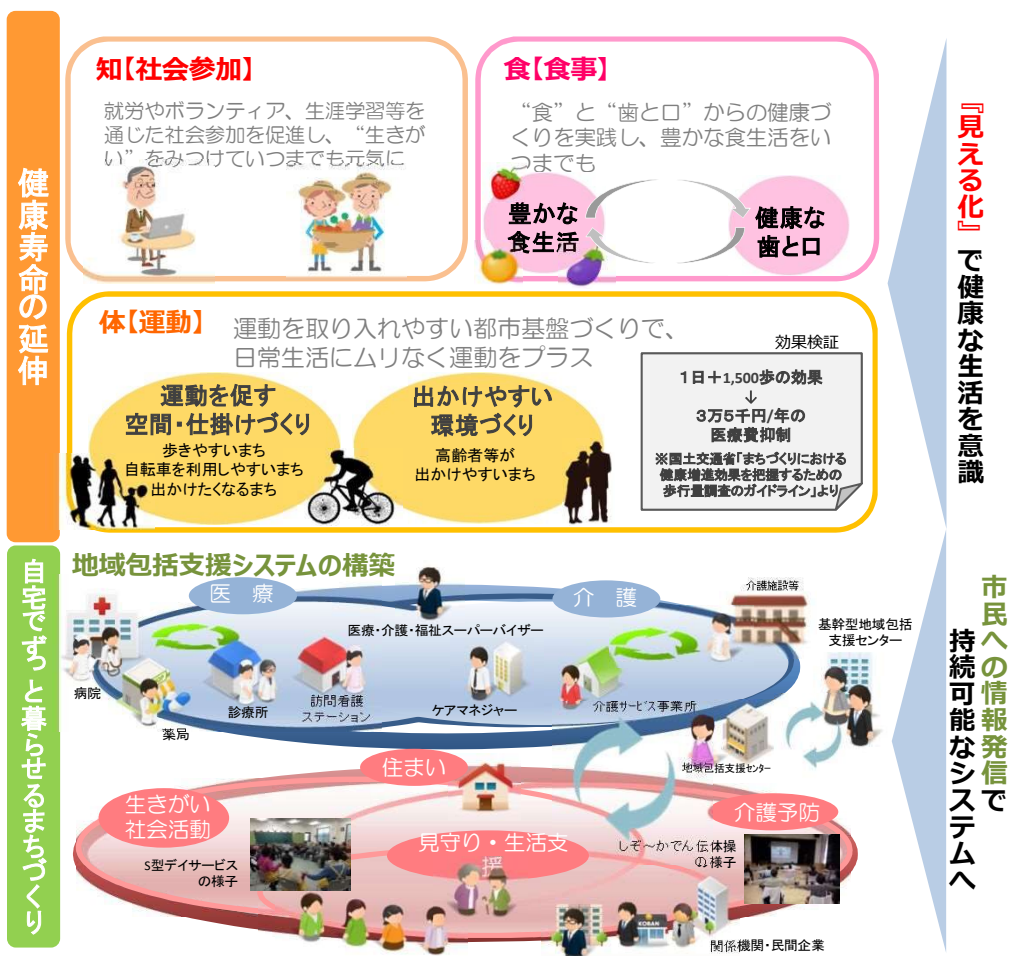
①健康寿命75歳への延伸

徳川家康公の健康長寿の秘訣と言われる“知への好奇心（社会参加）”、“食事”、“運動”を柱として、市民一人ひとりが、これらを日常的に取り入れやすい都市環境と生活習慣づくりを進める。

②自宅でずっと暮らせるまちづくり

自宅でずっと暮らせる体制（静岡型地域包括ケアシステム）の構築に向け、医療職・介護職等の“専門職の連携”や“地域の連携”を進めるとともに、元気な高齢者で居続けるための“介護予防”に係る施策を進める。

併せて、市民への積極的な情報発信を進め、持続可能な静岡型地域包括ケアシステムを目指す。



4 「健康長寿のまち」の推進

令和4年度 主な事業



23.1億円

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	令和4年度 当初予算額 (千円)	ページ
1	保健福祉長寿局	地域包括ケア 推進本部	拡充	認知症ケア推進体制整備事業	ソフト	26,201	99
2	保健福祉長寿局	福祉総務課 ほか	拡充	成年後見制度利用促進事業	ソフト	58,241	100
3	保健福祉長寿局	健康づくり推進課	拡充	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施	ソフト	3,523	102
4	保健福祉長寿局	地域包括ケア 推進本部	継続	地域包括ケアシステムの推進	ソフト	997,752	98
5	教育局	学校給食課	拡充	静岡を食べよう！おいしい給食提供事業	ソフト	87,422	196
6	保健福祉長寿局	地域包括ケア 推進本部	継続	S型デイサービス事業	ソフト	67,689	—
7	保健福祉長寿局	健康づくり推進課	継続	歯科保健推進事業(はつらつスマイル推進事業)	ソフト	15,200	103
8	保健福祉長寿局	健康づくり推進課	継続	特定健康診査受診率向上対策事業	ソフト	2,584	—
9	保健福祉長寿局	健康づくり推進課	継続	糖尿病性腎症重症化予防事業	ソフト	3,503	—
10	保健福祉長寿局	健康づくり推進課	継続	しずおかカラダにeat75事業	ソフト	1,220	—
11	保健福祉長寿局	介護保険課	継続	元いきいき！シニアサポーター事業	ソフト	59,047	—
12	保健福祉長寿局	地域リハビリテー ション推進センター	継続	しぞ〜かでん伝体操の普及啓発	ソフト	54,502	—
13	保健福祉長寿局	福祉総務課	継続	生生活躍のまち静岡(CCRC)推進事業	ソフト	16,908	101
14	保健福祉長寿局	障害福祉企画課	拡充	発達早期支援事業	ソフト	9,241	—
15	保健福祉長寿局	障害福祉企画課	継続	地域生活支援ネットワークコーディネーター配置 事業	ソフト	6,820	—
16	保健福祉長寿局	健康づくり推進課 保健衛生医療課	拡充	がん対策推進事業	ソフト	821,769	111
17	保健福祉長寿局	保健衛生医療課	継続	清水区脳梗塞予防実証実験事業負担金	ソフト	27,530	—
18	保健福祉長寿局	精神保健福祉課 こころの健康センター	継続	Life(いのち)を守る自殺予防事業	ソフト	1,895	113



成年後見支援センター



かけこまち七間町



歯科保健推進事業
(はつらつスマイル推進事業)

5 「まちは劇場」の推進

【目標】

本市に根付いた大道芸や演劇、音楽などの芸術文化等の持つ創造性を活かし、誰もが気軽に楽しむことができる仕掛けづくりを通じて、市民の芸術文化等の創造活動への参加や活動を促すことで、市民が主役のまちづくりを進め、シビックプライドの醸成及び交流人口の増加による地域経済の活性化を図る。

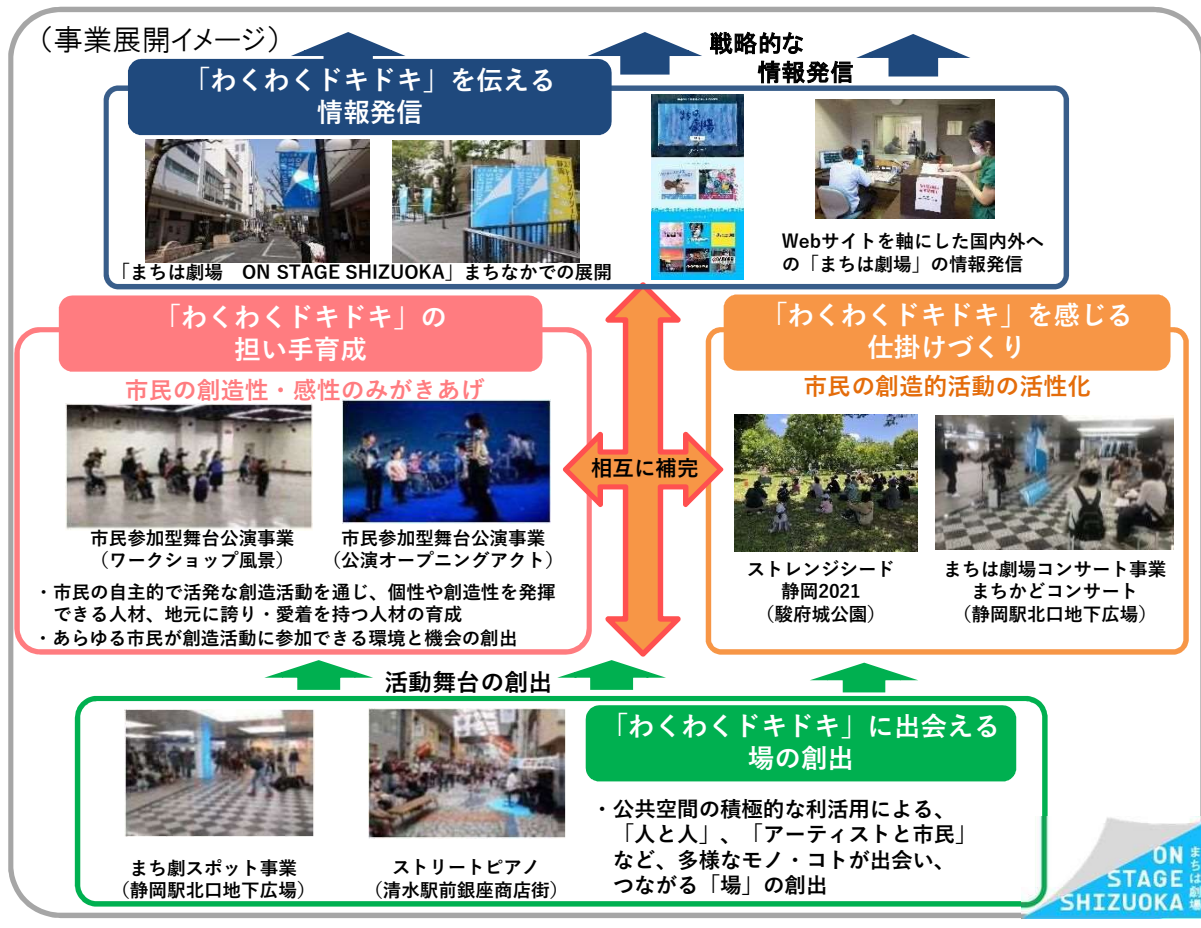
【方針】

①わくわくドキドキの仕掛けづくりと担い手育成

まちに来るたびに、「わくわくドキドキ」を感じられるコンテンツ（仕掛け）づくりと共に、市民の創造活動を支援・活発化することで担い手としての人材を育成し、まち全体の魅力を向上させることで、市民満足度の向上と市外からの来訪者の増加を図る。

②公共空間の積極的な活用による「舞台」の創出と戦略的な情報発信

公共的空間（まちかど）でのパフォーマンスの「舞台」を創出し、大道芸や音楽、演劇、ダンス等の芸術文化に身近に触れる機会を増やすと共に、本市の取組を戦略的に情報発信することで、来訪者、アーティスト等誰にとっても「行ってみたいまち」となることを目指す。



5 「まちは劇場」の推進

令和4年度 主な事業



6.7億円

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	令和4年度 当初予算額 (千円)	ページ
1	観光交流文化局	文化振興課	新規	静岡市民文化会館再整備事業	ハード	67,200	80
2	観光交流文化局	まちは劇場推進課	拡充	賑わい創出イベント	ソフト	348,873	78
3	都市局	都市計画課	継続	静岡都心地区まちなか再生事業	ソフト	19,000	148
4	経済局	産業振興課	拡充	プラモデル化計画に基づく「静岡市プラモデルプライドプロジェクト」	ソフト	23,530	132
5	観光交流文化局	まちは劇場推進課 文化振興課	継続	まちは劇場コンサート事業	ソフト	31,279	81
6	観光交流文化局	観光・MICE推進課	継続	ナイトツーリズム推進事業	ソフト	20,600	66
7	観光交流文化局	観光・MICE推進課	新規	ナイトツーリズム推進事業(夜間景観整備事業) 【再掲】	ハード	139,000	67
8	観光交流文化局	まちは劇場推進課	継続	「まちは劇場」ブランディング事業	ソフト	24,500	79
9	観光交流文化局	まちは劇場推進課	継続	「まちは劇場」推進事業	ソフト	12,494	—
10	観光交流文化局	まちは劇場推進課	継続	市民参加型舞台公演事業	ソフト	5,700	—
11	観光交流文化局	まちは劇場推進課	継続	国際文化交流事業	ソフト	11,105	—
12	観光交流文化局	国際交流課	継続	多文化共生 啓発・交流促進事業 (静岡わいわいワールドフェア開催事業) (経済社会変革「人口活力の維持」にて計上)	ソフト	(4,605)	—
13	子ども未来局	青少年育成課	継続	静岡市成人式開催事業	ソフト	9,700	—
14	経済局	産業政策課	継続	静岡市文化・クリエイティブ産業振興センター運営事業	ソフト	86,333	—
15	経済局	商業労政課	継続	プレミアムフライデー推進事業	ソフト	3,400	—
16	経済局	商業労政課	継続	中心市街地活性化推進事業	ソフト	2,441	—
17	経済局	商業労政課	継続	学生と連携した商店街振興事業	ソフト	600	—



清水みなと祭り



安倍川花火大会



プラモニュメント



日本平山頂からの夜景



経 済 社 会 変 革

1 人口活力の維持

【目標】

移住、定住や交流人口などの取組を通じて新しい人の流れを呼び込むとともに、経済の活性化・教育環境の整備・市民生活の向上など、暮らしやすい魅力的なまちづくりを進めることによって、本市の人口活力の維持を図る。

【方針】

「新しい人の流れを呼び込む」

①移住・定住の推進

住み続けられるための取組や、**移住をサポートする取組**により、若者などの人口流出を食い止め、また首都圏等から移り住む人々を増やす。（まちごとテレワーク推進事業、新幹線通学費貸与事業、移住・就業事業費助成など）



②交流人口の増加

観光資源を活かした**各種誘客**や、多くの参加者が見込まれる**各種大会等**により、本市を訪れ、滞在する人々を増やす。（全国大会等開催事業費助成、観光客の受入環境整備、対仏交流プロモーション事業など）



人口活力の維持
～まち・ひと・しごとの好循環～

「暮らしやすい魅力的なまちづくり」

③経済の活性化

地域の経済を活性化する各種取組により、まちづくりの基盤を強化する。（SDGs連携加速化支援事業、We Workを活用した首都圏プロモーション、都市型産業立地促進事業など）



④教育環境の整備

多様化する教育ニーズに対応する取組により、学びの環境を向上させる。（国際教育プログラム推進事業、外国人児童生徒等支援事業など）



1 人口活力の維持

令和4年度 主な事業



4.4億円

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	令和4年度 当初予算額 (千円)	ページ
「新しい人の流れを呼び込む」							
①移住・定住の推進							
1	企画局	企画課	拡充	まちごとテレワーク推進事業	ソフト	17,513	41
2	企画局	企画課	拡充	新幹線通学費貸与事業	ソフト	50,720	—
3	経済局	産業政策課	拡充	移住・就業事業費助成	ソフト	20,000	129
4	経済局	商業労政課	拡充	地元就職・UIターン就職促進事業	ソフト	14,538	—
5	経済局	中山間地振興課	拡充	中山間地移住促進事業	ソフト	13,425	—
6	経済局	中山間地振興課	継続	地域おこし協力隊配置事業	ソフト	39,208	—
②交流人口の増加							
1	観光交流文化局	観光・MICE推進課	継続	全国大会等開催事業費助成	ソフト	22,500	—
2	観光交流文化局	国際交流課	継続	多文化共生 啓発・交流促進事業【再掲】	ソフト	4,605	—
3	観光交流文化局	国際交流課	継続	対仏交流・プロモーション事業	ソフト	5,333	—
「暮らしやすい魅力的なまちづくり」							
③経済の活性化							
1	企画局	企画課	拡充	SDGs連携加速化支援事業	ソフト	5,550	40
2	経済局	産業振興課	継続	コ・クリエーションスペース運営事業 (オープンイノベーション推進事業)	ソフト	25,559	131
3	経済局	産業振興課	拡充	都市型産業立地促進事業	ソフト	7,665	—
4	経済局	商業労政課	拡充	多様な人材を活用した中小企業支援事業	ソフト	10,732	134
5	経済局	商業労政課	新規	チャレンジショップ出店事業費助成	ソフト	9,000	133
6	経済局	農業政策課	新規	経営継承・発展等支援事業費助成	ソフト	10,000	138
④教育環境の整備							
1	教育局	教育総務課	拡充	国際教育プログラム推進事業	ソフト	3,891	—
2	教育局	教育総務課	拡充	コミュニティ・スクール導入推進事業	ソフト	2,060	—
3	教育局	教育総務課	継続	地域学校協働活動推進事業	ソフト	104,133	—
4	教育局	学校教育課	拡充	外国人児童生徒等支援事業	ソフト	11,613	—
5	教育局	学校教育課	拡充	英語コミュニケーション力向上プロジェクト事業 (GET配置事業)	ソフト	27,320	—

2 デジタル化の加速

【目標】

誰もがデジタル化による豊かさを享受できる地域社会の実現に向けて、令和3年度に策定した「静岡市デジタル化推進プラン」に基づき、行政のデジタル化を進めると共に、新たに地域全体の取組であるスマートシティなど、地域のデジタル化を推進する。

【方針】

行政のデジタル化

①市民の利便性の向上

自治体DXを推進することにより、「いつでも」「行かずに」「書かずに」「押さずに」できる行政手続を目指す。
（オンライン完結行政サービス、利用者目線での情報提供など）



オンライン完結行政サービス

②行政運営の効率化と生産性向上

デジタル技術を各種事務事業に取り入れることにより、「早く」「簡単に」「確実な」行政運営を目指す。
（効率的かつ高品質な行政サービス、効果的なインフラ整備・管理など）



柔軟な働き方によるサービスの提供の継続

データに基づいたインフラ整備・管理

誰もがデジタル化による豊かさを享受できる地域社会の実現

地域のデジタル化

③新たな価値の創出（スマートシティ）

産官学民連携によるデジタル技術を活用した革新的な取組により、イノベーションが生まれるまちを目指す。
（スマートシティの推進、オープンデータの推進、データ活用の推進など）



行政 企業 大学 等 市民

④地域が抱える社会課題の解決

年齢や地域に関わらず「誰もが」「どこでも」**デジタルの恩恵を享受**できる社会を目指す。
（企業DXの促進、デジタル・ディバイドの解消など）



企業DXの促進による地域の経済の活性化

デジタル・ディバイドの解消

2 デジタル化の加速

令和4年度 主な事業



6.9億円
(うち2月補正4.2億円)

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	令和4年度 当初予算額 (千円)	ページ
1	企画局	デジタル化推進課	新規	スマートシティ推進事業	ソフト	20,400	47
2	会計室	会計室 (静岡会計課)ほか	新規	窓口におけるキャッシュレス決済導入事業	ソフト	41,455	200
3	企画局	デジタル化推進課	継続	情報リテラシー能力向上支援事業	ソフト	2,964	48
4	教育局	教育センター	拡充	ICT教育環境整備事業	ソフト	94,551	192
5	都市局	交通政策課	継続	静岡型MaaS推進事業	ソフト	42,700	149
6	経済局	産業振興課	拡充	中小企業等DX支援事業	ソフト	8,200	—
7	経済局	産業振興課	継続	中小企業IT活用支援事業助成	ソフト	30,000	—
8	経済局	産業振興課	継続	IT導入に向けた生産性向上支援事業	ソフト	6,320	—
9	企画局	デジタル化推進課	新規	働き方改革推進事業(新技術実装推進事業)	ソフト	4,731	—
10	企画局	デジタル化推進課	新規	窓口業務電子化事業	ソフト	469	—
11	建設局	道路計画課	新規	人流データまちづくり活用検討事業	ソフト	6,000	—
12	都市局	大谷・小鹿まちづくり推進課 (新インターチェンジ 周辺整備課)	新規	大谷・小鹿地区まちづくり計画推進事業 (エリアプラットフォーム)	ソフト	10,000	153
13	企画局 市民局	デジタル化推進課 戸籍管理課	新規	自治体オンライン手続推進事業	2月補正 ソフト	83,760	—
14	企画局	システム管理課	継続	静岡庁舎等無線LAN整備事業	2月補正 ソフト	200,000	—
15	企画局	デジタル化推進課	新規	情報通信基盤整備事業費助成	2月補正 ソフト	7,700	—
16	保健福祉長寿局	障害者支援推進課	継続	ICT導入モデル事業費助成	2月補正 ソフト	6,583	—
17	建設局	河川課	継続	河川台帳電子化事業	2月補正 ソフト	83,000	—
18	教育局	教育総務課	継続	教育用情報機器整備事業	2月補正 ハード	41,400	—

3 脱炭素社会の実現

【目標】

2050年のカーボンニュートラルに向け地域脱炭素を成長の機会と捉え、市民・事業者・行政が連携し脱炭素に資する取組を推進する。また、地域脱炭素を経済と環境の好循環や、暮らしの質の向上等につなげ地方創生に貢献する。

【方針】

①地域資源を活かした取組によるグリーン化

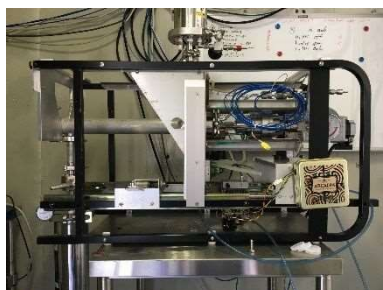
地域が持つ資源（人材・技術・自然等）を活かした事業を推進することにより、自然環境の保全を図りつつ、社会の持続的発展を目指す。（地球温暖化対策推進事業、グリーン電力地産地消推進事業など）



【官民が連携した普及啓発事業】

②グリーン産業の創出によるグリーン化

脱炭素社会に貢献する産業を創出することにより、脱炭素社会の実現とともに民間投資やイノベーションを呼び起こす。（グリーン産業創出支援事業、戸建住宅におけるZEH化支援事業など）



【新たな水素キャリア製造装置の開発】

③吸収源対策の推進によるグリーン化

中山間地域の特性を活かし、適切な間伐の実施や、「伐って、使って、植える」循環利用の確立、木材利用の拡大に取り組むことで吸収源対策を推進する。（エリートツリー・早生樹の森林づくり推進事業など）



【森林の間伐作業】

2050年カーボンニュートラル
↳ 地域脱炭素による地方創生

3 脱炭素社会の実現

令和4年度 主な事業



2.5億円

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	令和4年度 当初予算額 (千円)	ページ
1	環境局	環境創造課	新規	グリーン電力地産地消推進事業	ソフト	50,000	90
2	環境局	環境創造課	新規	グリーン産業創出支援事業	ソフト	12,000	
3	経済局	中山間地振興課	新規	エリートツリー・早生樹の森林づくり推進事業	ソフト	20,000	144
4	環境局	環境創造課	継続	戸建住宅におけるZEH化支援事業	ソフト	22,500	91
5	環境局	環境創造課	継続	地球温暖化対策普及啓発事業	ソフト	8,000	
6	環境局	環境創造課	継続	中小企業者省エネルギー設備導入事業	ソフト	3,000	
7	環境局	環境創造課	新規	第3次静岡市地球温暖化対策実行計画策定事業	ソフト	12,800	
8	環境局	環境創造課	新規	第3次静岡市環境基本計画策定事業	ソフト	7,920	—
9	環境局	環境創造課	継続	環境教育推進事業	ソフト	5,516	—
10	環境局	環境創造課	継続	省エネルギー推進事業	ソフト	2,489	—
11	環境局	環境創造課	継続	新エネルギー推進事業	ソフト	1,408	—
12	環境局	環境創造課	継続	静岡型水素タウン促進事業	ソフト	1,411	—
13	経済局	中山間地振興課	継続	静岡地域材活用促進事業	ソフト	105,000	—



メガソーラーしみず



エリートツリーイメージ

防 災 ・ 減 災
国 土 強 韌 化

【基本理念】

大規模自然災害等に想定される最悪の事態を回避するため、被害が致命的にならないようにする「強さ」と、被災から迅速に回復する「しなやかさ」を備えた、「**強くてしなやかな静岡の実現**」を理念とする。

事前に備えるべき目標【9目標】

- 1 大規模自然災害が発生した時でも、人命の保護が最大限図られる。
- 2 大規模自然災害発生直後から救助・救急、医療活動等が迅速に行われる。
- 3 大規模自然災害発生直後から必要不可欠な行政機能は確保する。
- 4 大規模自然災害発生直後から必要不可欠な情報通信機能は確保する。
- 5 大規模自然災害発生後であっても、経済活動（サプライチェーンを含む）を機能不全に陥らせない。
- 6 大規模自然災害発生後であっても、生活・経済活動に必要な最小限の電気、ガス、上下水道、燃料、交通ネットワーク等を確保するとともに、これらの早期復旧を図る。
- 7 制御不能な二次災害を発生させない。
- 8 大規模自然災害発生後であっても、地域社会・経済が迅速に再建・回復できる条件を整備する。
- 9 防災・減災と地域成長を両立させた魅力ある地域づくり

①防災・減災

地震や風水害などの自然災害に備え、災害情報等を速やかに伝えるための情報提供体制を強化するほか、市民の生命・財産を守るため、建物の耐震化、火災予防等の取組を支援していく。

②国土強靱化

あらゆる大規模自然災害を想定し、人命の保護や維持すべき重要な機能が守られるよう、主に道路や河川などの重要なライフラインを強化、整備していく。

1 大規模自然災害が発生した時でも、人命の保護が最大限図られる。

- ・同報無線デジタル化整備事業
- ・津波避難ビル整備事業費助成
- ・感震ブレーカー設置費助成
- ・建物の耐震化事業費助成
- ・ブロック塀等耐震改修事業費助成



- ・浸水対策推進プラン
- ・用宗漁港海岸胸壁整備事業
- ・河川構造物耐震・津波対策事業
- ・土砂災害等防止対策事業(公園)
- ・急傾斜地崩壊対策事業



2 大規模自然災害発生直後から救助・救急、医療活動等が迅速に行われる。

- ・要安全確認計画記載建築物耐震事業費助成
- ・映像伝送システム更新事業(消防ヘリ)
- ・消防団員確保対策事業



- ・橋りょう整備事業
(道路橋の維持管理・耐震化、トンネル補修)
- ・(国)1号静岡バイパスの整備促進
- ・道路新設改良事業
- ・街路整備事業
- ・交通安全施設整備事業



4 大規模自然災害発生直後から必要不可欠な情報通信機能は確保する。

- ・静岡型「災害時総合情報サイト」構築事業

8 大規模自然災害発生後であっても、地域社会・経済が迅速に再建・回復できる条件を整備する。

- ・地籍調査事業

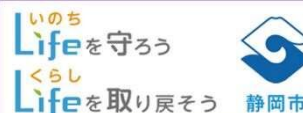
6 大規模自然災害発生後であっても、生活・経済活動に必要な最小限の電気、ガス、上下水道、燃料、交通ネットワーク等を確保するとともに、これらの早期復旧を図る。

- ・水道管・施設の耐震化・老朽化対策事業
- ・下水道管・施設の耐震化・老朽化対策事業
- ・道路舗装整備事業
- ・道路自然災害防除事業(法面対策)
- ・道路附属施設更新事業

適切な組合せ

初期の災害が最悪の事態に展開してしまうことを阻止していくことにより…

「安全・安心をみんなで創る、
強くしなやかで持続可能なまち」の実現



防災・減災、国土強靱化

～安全・安心をみんなで創る、強くしなやかで持続可能なまち～

令和4年度 主な事業



304.2億円

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	令和4年度 当初予算額 (千円)	ページ
①防災・減災				7.0億円 (一般会計 7.0億円)		
1	危機管理総室	—	新規	静岡型「災害時総合情報サイト」構築事業	4,730	34
2	危機管理総室	—	継続	同報無線デジタル化整備事業	57,000	35
3	消防局	警防課	拡充	消防団員確保対策事業	174,247	182
4	危機管理総室	—	継続	津波避難ビル整備事業費助成	10,000	—
5	危機管理総室	—	継続	感震ブレーカー設置費助成	12,300	—
6	都市局	建築指導課	継続	建物の耐震化事業費助成	129,254	161
7	都市局	建築指導課	継続	要安全確認計画記載建築物耐震事業費助成	2,987	162
8	都市局	建築指導課	継続	ブロック塀等耐震改修事業費助成	20,230	160
9	消防局	指令課	新規	映像伝送システム更新事業(消防ヘリ)	207,000	183
10	建設局	建設政策課	継続	地籍調査事業	84,259	174
②国土強靱化				297.2億円 (一般会計 154.1億円) (企業会計 143.1億円)		
1	建設局 上下水道局	河川課 下水道計画課	継続	浸水対策推進プラン	2,196,340	188
2	上下水道局	経営企画課	継続	水道管・施設の耐震化・老朽化対策事業	6,256,638	—
3	上下水道局	下水道総務課	拡充	下水道管・施設の耐震化・老朽化対策事業	5,674,858	—
4	建設局	道路保全課	継続	橋りょう整備事業 (道路橋の維持管理・耐震化、トンネル補修)	3,329,750	171
5	経済局	水産漁港課	継続	用宗漁港海岸胸壁整備事業	107,826	143
6	建設局	道路計画課	継続	道路新設改良事業	2,551,000	—
7	建設局	道路計画課	継続	道路ネットワークの整備 (国)1号静岡バイパスの整備促進)	3,166,667	168
8	建設局	道路計画課	継続	街路整備事業	712,610	—
9	建設局	河川課	継続	河川構造物耐震・津波対策事業	255,000	172
10	都市局	公園整備課	継続	土砂災害防止対策事業(公園)	148,800	—
11	建設局	建設政策課	継続	急傾斜地崩壊対策事業	96,188	173
12	建設局	道路計画課	継続	道路新設改良事業	2月補正 453,000	—
13	建設局	道路計画課	継続	街路整備事業	2月補正 204,800	—
14	建設局	道路保全課	継続	道路舗装整備事業	2月補正 321,660	—



(国)150号(久能拡幅)



道路橋耐震化事業(橋脚巻立て)



用宗漁港海岸胸壁整備事業



浸水対策推進プラン(雨水幹線整備)

市 長 公 室

危 機 管 理 總 室

～令和4年度（2022年度）の目指す姿～

世界に輝く静岡の実現

トップマネジメント機能を発揮して、局間連携体制のもと様々な行政課題への迅速な対応と戦略的な広報により、第3次総合計画の集大成及び第4次総合計画の策定に向けた取組を推進していく。

～令和4年度の主な取組～

I 重点政策の広報の実施

【拡充】◇歴史文化のまち情報発信（29,000千円）

市内各地の歴史文化スポットへの関心を高めるとともに、各スポットや歴史博物館への誘客につなげるため、各スポットの情報を収集・整理し、ミニテレビ番組やウェブ媒体を通じて発信する。



※R3制作番組画面キャプチャ

II シティプロモーションの推進

◇しずチカ空間再構築事業（19,000千円）

JR静岡駅北口地下空間「しずチカ」を、市の玄関口にふさわしい、来街者に静岡市らしさを感じてもらえる空間とすることに加え、ポストコロナに向け来街者等の街中への周遊を促進する拠点とするための改修の実現に向けて、完成形をイメージしたシミュレーション実験とその効果検証、及び改修計画を策定する。



◇シティプロモーションイベント・静岡市フェアの開催（3,873千円）

・メディアに向けた情報発信及び首都圏における静岡市ファンのネットワークづくりのため、時期に合ったテーマを設定したイベントを定期的で開催する。
・首都圏におけるシティプロモーションの強化のため、地方創生連携協定を締結している、（株）コジマ及びビックカメラの首都圏店舗にて、来場客に向けて静岡市をPRするイベントを開催する。

◇WeWorkの活用（1,578千円）

首都圏におけるシティプロモーションの強化のため、コミュニティ型ワークスペース「WeWork」を活用し、イベントの開催やWeWork会員専用アプリ等での情報発信を行う。
※経済局と連携実施



III 5市2町交流人口の増加促進



◇中部5市2町イベントニュースの発行等（30,000千円）

中部連携中枢都市圏域内の交流人口を増やすため、「中部5市2町イベントニュースGO TO」の発行、ウェブサイトへ掲載・TVCMの放映のほか、クーポン発行やプッシュ通知機能のあるアプリを活用したスタンプラリーを実施する。



～令和4年度（2022年度）の目指す姿

安全・安心に暮らせるまちの実現

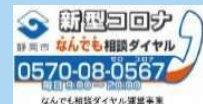
様々な危機に係る予防対策及び危機発生時における迅速な対応により、被害の防止や軽減を図り、危機から市民の生命や財産を守ることで「安全・安心に暮らせるまち」を実現する。

～令和4年度の主な取組～

I 新型コロナウイルス感染症への対応

◇新型コロナウイルスなんでも相談ダイヤルの運営 28,000千円

新型コロナウイルス感染症による日常生活や感染した場合等の不安を解消するほか、事業者等への経済支援に関する問合せなどを総合的に受け付けるコールセンターを設置する。



II 巨大地震や多発する風水害に備えた防災体制の整備や防災・減災意識の向上

気象情報等の情報伝達体制の強化



【新規】◇防災情報ポータルサイトの構築 4,730千円

災害情報共有システムで集約した情報を市民に速やかに分かりやすく提供するための情報サイトを構築する。

◇同報無線デジタル化の推進 57,000千円

市民へ伝わりやすい防災情報等を提供するため、同報無線をデジタル化する。

・全体事業費（R4～R8）3,097,000千円 ・実施設計（R4） ・整備工事（R5～R8） 債務負担行為3,040,000千円

市民や地域の防災・減災意識の向上

【新規】◇火山防災マップの作成 3,885千円

内閣府により新たに指定された火山災害警戒地域である清水区蒲原（一部）地域の防災マップを作成し、市民へ周知することで迅速な避難行動に繋げることで、人的・物的被害の軽減を図る。



◇感震ブレーカー設置費への助成 12,300千円

地震発生時の住宅火災等の発生を抑制するため、感震ブレーカー設置に対する助成を行う。

◇自主防災組織への助成 50,000千円

地域防災力の向上を図るため、自主防災組織に対する防災資機材等（感染症対策資機材を含む）の購入支援を行う。

避難対策の充実・強化

◇津波避難ビル整備費への助成 10,000千円

津波から安全で円滑な避難を図るため、外付け階段等、避難ビル整備に対する助成を行う。

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	29,000				29,000
前年度予算額	20,000				20,000

目的

静岡市の様々な地域資源の情報を収集・整理し、情報としての価値を高めた上で発信すること。同時に収集・整理した情報を蓄積し、長期的視点で一貫性・継続性をもった情報発信を可能とすることで「静岡市」のブランド確立につなげる。

事業概要

重点政策「歴史文化のまち」を題材とした情報発信

第3次静岡市総合計画の目指す都市像のひとつである“歴史文化のまち”の実現を目指し、葵区・駿河区・清水区に点在する様々な歴史文化スポットの魅力をテレビやウェブなどメディアミックスで情報発信する。

それにより、各スポットへの誘客や令和5年開館予定の歴史博物館への市内外からの来館者の増加につなげる。

- ミニテレビ番組の制作・放映（48回）
 - ・静岡市公式YouTubeチャンネルからも視聴可能
- ウェブ特設サイトの開設

歴史文化スポットの例



駿府城公園



久能山東照宮



三保松原



静岡浅間神社



宇津ノ谷峠



由比本陣公園

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	19,000	9,500			9,500
前年度予算額	20,000	10,000			10,000

目的	「しずチカ」を市の玄関口としてふさわしい、新しい価値と賑わいを産み出す「情報発信ステーション」とする。
----	---



事業概要	<p>JR静岡駅直結のロケーションに立地する「しずチカ」を、市民や来街者に静岡市の情報を効果的に発信する機能と、ポストコロナに向け、来街者等を市中へ周遊させ、消費活動を促進する機能を併せ持つ空間とするために必要な改修を実現するため、完成形をイメージしたシミュレーション実験とその効果検証、及び改修計画を策定する。</p> <p>○完成形をイメージしたシミュレーション実験 令和3年度に実施した社会実験の検証結果により導き出した「しずチカのあるべき姿」を仮定し、その形態による実験及び検証を実施する。</p> <p>○改修計画策定 シミュレーション実験により決定したしずチカに必要な機能を発揮するためのリニューアルに必要な改修計画を策定する。</p> <p>○スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度 社会実験 3回 ・令和4年度 完成形をイメージしたシミュレーション実験 改修計画策定 ・令和5年度 施設改修・リニューアルオープン
------	--

【令和3年度社会実験の様子】



飲食物(弁当類)の販売



飲食・休憩スペース設置



しずチカ外観装飾
(クリスマスイルミネーション)



アンテナショップ
(ECサイトでの購入促進)



観光案内機能設置

【新規】

静岡型「災害時総合情報サイト」構築事業

危機管理総室

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県交付金	臨時交付金	市債	
当初予算額	4,730		4,730		
前年度予算額					

目的
 防災に関する情報等を、いつでも誰もが閲覧可能な防災情報ポータルサイトを構築し、市民が必要とする情報をわかりやすい形で提供する。



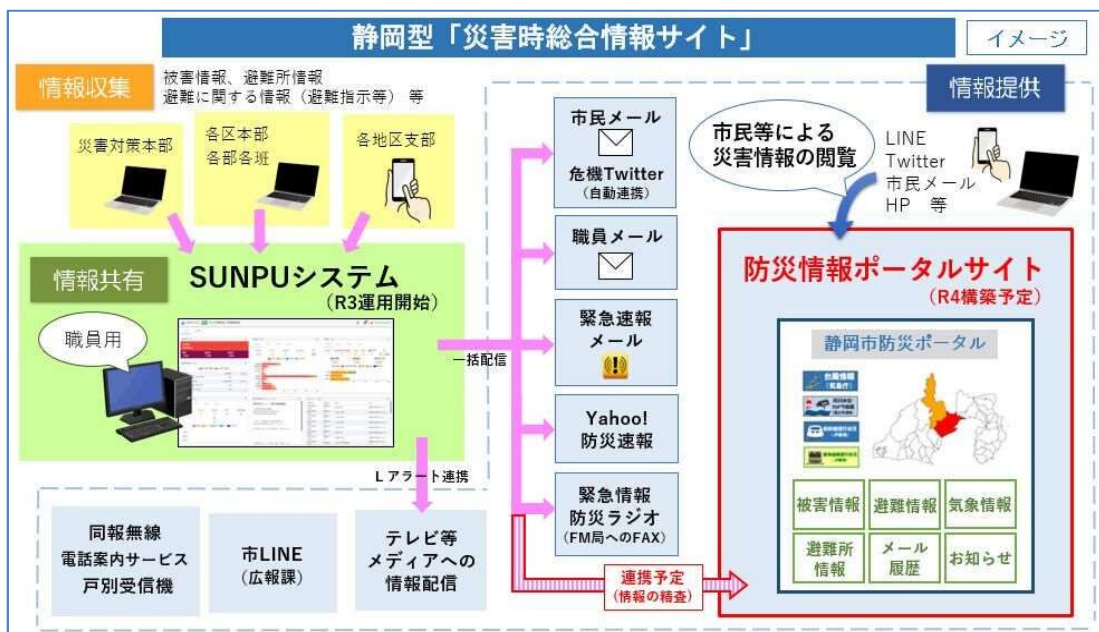
事業概要
 職員間で災害情報を共有するための、静岡市災害情報共有システム（SUNPUシステム）を拡張し、『防災情報ポータルサイト』を構築する。

○配信内容

- ・避難指示等の避難に関する情報
- ・避難所の開設状況等の避難所に関する情報
- ・市内の被害状況に関する情報
- ・その他気象情報等の防災に関する情報

○スケジュール

- ・令和4年度 防災情報ポータルサイト構築
- ・令和5年度 供用開始



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		県支出金 (1/3)	臨時交付金	市債	
当初予算額	57,000	18,890		38,100	10
前年度予算額	16,500		16,500		

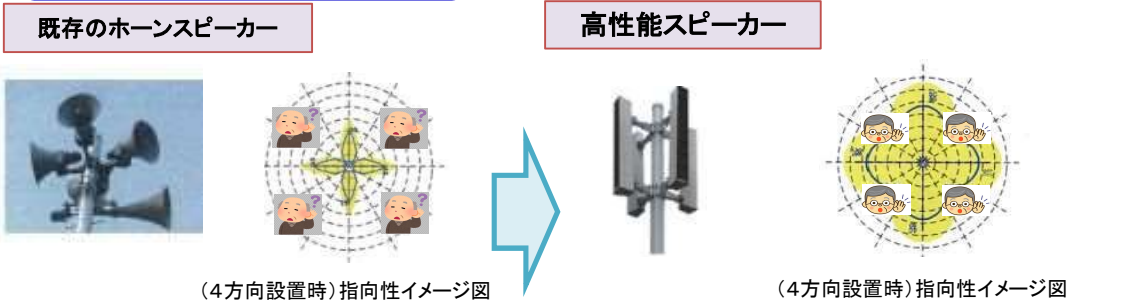
目的
同報無線設備をアナログ方式からデジタル方式に更新し、聞き取りやすい音声放送を行う。また、アプリやメールと連携し、更に効率的な情報伝達を行う。



事業概要
令和3年度に実施した基本設計を基に実施設計を行う。

- 事業費 3,097,000千円
 - ・実施設計 57,000千円 (R4)
 - ・整備工事 3,040,000千円 (R5～R8 債務負担行為)
- 実施内容
 - ・電波伝播調査
 - ・実施設計図書作成 など
- 整備スケジュール
 - ・令和4年度 実施設計
 - ・令和5年度から令和8年度 整備工事 (撤去含む)

拡張機能①: 可聴エリアの改善



拡張機能②: 防災アプリ等との連動

「いつでも、どこでも、誰にでも」配信される情報の確認が可能
※R4年度構築予定の防災情報ポータルサイトとも連動予定



企 画 局

企画局 当初予算のポイント

令和4年度(2022年度)の目指す姿

～3次総の総仕上げとポストコロナを見据えた「持続可能なまち」の実現～

取組

I 3次総の総仕上げと4次総の策定

II 地方創生・SDGsの推進

III 広域行政の推進

IV アセットマネジメントの推進

V デジタル化の推進

令和4年度の主な取組

I 3次総の総仕上げと4次総の策定

82,623千円

- ①【継続】 第4次総合計画策定検討業務 26,177千円
令和5年度からスタートする第4次総合計画の策定に向けた準備を進める。
・有識者ヒアリング ・シンポジウム開催 ・計画冊子作成
- ②【拡充】 サッカースタジアムによるまちづくり検討事業 13,142千円
新スタジアム建設に向けた構想づくりに着手するため、検討のための各種調査等業務を実施する。
・各種調査の実施 ・先進都市視察 ・検討会開催
- ③【新規】 企業版ふるさと納税活用促進事業 10,328千円
企業版ふるさと納税を幅広く募集するためのPR事業等を実施する。
・首都圏等での事業PRの実施 ・民間ポータルサイトへの登録

II 地方創生・SDGsの推進

110,207千円

1 人口活力の維持

- ①【拡充】 まちごとテレワーク推進事業 17,513千円
首都圏からの地方移住ニーズ、企業移転ニーズの高まりを確実に捉え、公民連携によるまち全体での受入基盤の強化を図る。
・お試しテレワーク体験事業 ・お試し住宅の運営 等
- ②【継続】 新幹線通学費貸与事業 50,720千円
市内在住で県外の大学等に新幹線通学をする学生を対象に新幹線通学定期券代の一部を貸与し、若者の定住の促進及び地域社会の人材の確保を図る。
・貸与金支払い ・地元高校生及び既卒者への周知 等

2 SDGsの推進

- ①【拡充】 静岡市SDGs推進事業 4,491千円
「SDGs未来都市」及び「SDGsハブ都市」として、SDGsを推進する。
・SDGs宣言企業・団体交流会の開催 等
- ②【拡充】 SDGs連携加速化支援事業 5,550千円
連携・交流の機会を提供することで、SDGsを推進するステークホルダー間の連携強化を図り、地域課題の解決及びビジネスチャンスの創出につなげる。
さらに、先進的な事業の発掘を行う。
・SDGs連携アワードの実施
・SDGsユースサミットの開催
・SDGs学生レポーターの実施



新幹線通学費貸与事業



SDGs連携アワード



SDGsユースサミット

Ⅲ 広域行政の推進

208,455千円

しずおか中部連携中枢都市圏事業(企画局所管分)

しずおか中部連携中枢都市圏

- ① [継続] 大学連携事業 7,000千円
地域課題の解決のため、大学と連携した研究を行う。
- ② [継続] 移住促進事業 6,000千円
圏域への移住促進のため、首都圏の移住フェアへの出展等を行う。



Ⅳ アセットマネジメントの推進

20,755千円

1 公民連携の推進

- ① [継続] 静岡市PPP/PFI地域プラットフォーム運営事業 200千円
PPP/PFIを推進するため、産・官・学・金の連携により、PPP/PFIの啓発、ノウハウ習得、官民連携の強化を図る協議の場として「静岡市PPP/PFI地域プラットフォーム」を組織している。
・地域プラットフォームの開催
- ② [継続] アリーナ誘致推進業務 1,027千円
都市の求心力を高め、交流人口の増加、賑わい創出及び地域経済の活性化を図るため、その効果が期待されるアリーナについて、民間事業者主導による整備・運営を目指す。
・民間事業者ヒアリングの実施、市民ワークショップの開催、講演会の開催 等

2 清水庁舎整備事業

- [継続] 清水庁舎整備事業 18,671千円
令和3年度に示す「ポストコロナ時代の清水庁舎のあり方」を踏まえ、現在の基本構想・基本計画に必要な修正を加えて新たな方針を策定する。
・検討委員会の開催
・市民意見聴取等の実施
・PPP導入可能性調査業務

Ⅳ デジタル化の推進

96,264千円(うち2月補正額67,700千円)

1 地域デジタル化の推進

- ① [新規] スマートシティ推進事業 20,400千円
本市スマートシティの実現に向けた検討を行い、基本方針を定めるとともに、推進に向けた体制づくりを行う。
・スマートシティビジョン策定および推進母体となる協議会を立ち上げる。
- ② [継続] 情報リテラシー能力向上支援事業 2,964千円
高齢者層を対象に、オンライン講座の体験会を行うとともに、通信端末に触れる啓発講座を実施し、市民の情報リテラシー向上を行う。
・リテラシー向上講座の実施

2 行政デジタル化の推進

- ① [新規] 自治体オンライン手続推進事業 60,000千円(2月補正)
国が定める子育て・介護等26手続について、マイナポータルからオンライン手続を可能にするため、本市基幹システムとの連携基盤を構築し、市民の利便性向上を目指す。
- ② [継続] その他(RPA、タブレット端末導入実証) 5,200千円
行政運営の効率化と生産性向上を目指し、RPAの実施、タブレット端末導入による
窓口電子申請の実証実験について継続実施。
・RPAの実施(納税課) ・窓口タブレット端末導入

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	臨時交付金	市債	
当初予算額	5,550	2,775			2,775
前年度予算額	5,000		5,000		

目的

SDGsに取組む事業所・団体の連携による【SDGsの推進】、【行政・地域課題の解決】及び【ビジネスチャンスの創出】を図るとともに2030年の社会で中心的な役割を担う若者がSDGsに対し行動を起こすための事業を実施する。

事業概要

- 第2回静岡市SDGs連携アワード 3,000千円
事業所・団体間の「連携」したSDGsの取組について、大賞・部門賞・特別賞を設けて表彰し、同時に応募のあった取組を事例集としてまとめて広く発信を行う。様々な連携事例を参考にすることで、市内事業所・団体のさらなる連携した取組を加速化させていく。
＜令和3年度実績＞
応募数41件(市内27件・市外14件)
大賞1、部門賞5、特別賞1の計7つの取組を表彰
- 第2回静岡市SDGsユースサミット 2,000千円
2030年の社会で中心的な役割が期待される若者に焦点をあて、主に10代から20代の若者が自身の取組を発信し、同時に共有を行うことで、SDGsを知る・理解するから行動するための機会を創出する。
＜令和3年度実績(第1回静岡市SDGsユースサミット)＞
開催日：10/31(日) 会場：日本平ホテル
登壇者数：市内高校・専門学校・大学生 計5名
大学教授、NPO法人代表など 計5名
視聴者数：161名
- SDGs学生レポーター事業 **新規** 550千円
SDGsに興味がある、行動をしたい学生とSDGsに取組む企業をつなげ、学生がインタビューを実施し、記事にまとめ、それら企業の情報を発信することで、若者に具体的な企業活動を通じたSDGs推進の新たな気づきを提供する。



第1回静岡市SDGs連携アワード



第1回静岡市SDGsユースサミット

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	臨時交付金	市債	
当初予算額	17,513		12,658		4,855
前年度予算額	24,855		20,000		4,855

目的

テレワークの急速な普及とともに首都圏からの地方移住・企業移転ニーズが高まっている。この機を捉え、公民連携による受入基盤を強化し、まち全体で移住促進体制を整えることで、移住や企業移転、さらには関係人口の創出・拡大を一層促進する。

事業概要

- 1 お試しテレワーク体験事業 6,680千円
 仕事はそのまま地方への移住を検討している首都圏企業社員等に対し、市内でのテレワーク体験を支援する。
 ・対象経費 交通費、施設利用料
 ・対象期間 令和4年4月～令和5年3月
- 2 地域おこし協力隊員の活用 4,855千円
 本市と首都圏の二地域で活動する外部人材の知識やスキルを引き続き活用し、移住や企業移転を促進する。
- 3 お試し住宅の運営 2,458千円
 移住検討者が静岡市での暮らしを体験するため、既存施設をテレワーク可能なお試し住宅として活用することで、移住促進につなげる。
 ・場所 清水区船原 新規
 葵区梅ヶ島
- 4 移住プロモーション 3,520千円
 首都圏居住者に対し本市の強みを活かしたプロモーションを実施する。



テレワーク体験

「東静岡アート&スポーツ/ヒロバ」運営事業

企画課

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	31,340				31,340
前年度予算額	31,340				31,340

目的	JR東静岡駅北口市有地を「賑わいづくりの実験場」と位置付け、暫定利用することで、若者をターゲットとしたアートやローラースポーツによる賑わいを創出する。
----	---



事業概要	<p>東静岡アート&スポーツ/ヒロバ実行委員会負担金</p> <p>○東静岡アート&スポーツ/ヒロバの管理運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ローラースポーツパークの管理運営 ・アート事業の実施 ・芝生広場の維持管理
------	--



【ローラースポーツパーク】



【アート・芝生広場】



サッカースタジアムによるまちづくり検討事業

企画課

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	13,142				13,142
前年度予算額	3,000				3,000

目的	静岡市のまちづくりに資する「サッカースタジアム」とその周辺のまちづくりについて調査検討する。
----	--



事業概要	<p>令和3年度の調査（現IAIスタジアムの課題整理、近年整備されたスタジアムの事業内容、検討スキーム等の基礎情報）をもとに、市のまちづくりに資するサッカースタジアムの事業手法、整備主体、候補地等について附属機関を設置し調査検討する。</p>
	<p>1 サッカースタジアム整備検討調査 12,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業手法等の調査・検討 ・候補地検討に要する情報調査・整理 ・今後の検討課題の整理
	<p>2 検討会の開催等 1,142千円</p>



IAIスタジアム日本平

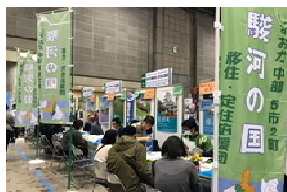
(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	296,938				296,938
前年度予算額	429,219			200	429,019

目的	しずおか中部連携中枢都市圏の目指す将来像である『海・山・街道を活かした多極連携・交流都市圏』の実現に向けて、「圏域全体の経済成長のけん引」や「圏域全体の生活関連機能サービスの向上」に取り組み、圏域の一体的な発展を図る。
----	---



事業概要	1 圏域全体の経済成長のけん引 131,783千円
	○圏域経済拡大支援事業 ・圏域の特産品の首都圏におけるテストマーケティングや商談、台湾への輸出に向けたセミナー等の実施
	○水産物を活用した産業活性化事業 ・圏域の水産物を活用した商品のプロモーションの実施
	○静岡地域DMO推進事業 ・観光マーケティングやプロモーション等の支援
	○食文化・自然等を活用した街道観光プロモーション事業 ・日本橋における街道観光プロモーションの実施 ほか
	2 高次の都市機能の集積・強化 7,000千円
	○大学連携事業 ・圏域内の大学と連携した地域課題の解決のための研究
	3 圏域全体の生活関連機能サービスの向上 158,155千円
	○中部5市2町イベントニュース発行事業 ・圏域内のイベント情報等を掲載する広報紙の発行等
	○移住促進事業 ・首都圏の移住フェアへの出展等
	○共通電子申請サービス利用事業 新規 ・中部5市2町共通の電子申請サービスの利用
	○地域外交を推進するグローバル人材育成事業 新規 ・グローバル人材育成研修と意見交換の実施 ほか



▲ 水産物を活用した産業活性化事業(水産物プロモーション) ▲ 地域連携DMO推進事業(Tea戦略「茶の間」)

▲ 5市2町イベントニュース発行事業(「GOTO」)

▲ 移住促進事業(移住フェアへの共同出展)

アリーナ誘致推進事業

アセットマネジメント推進課

(千円)

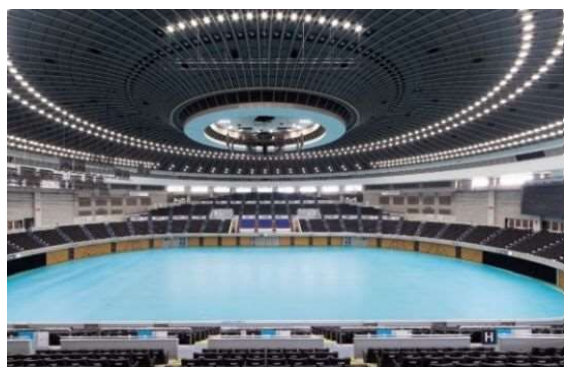
	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	1,027				1,027
前年度予算額	10,000				10,000

目的	人口減少、少子高齢化社会において、都市の求心力を高め、交流人口の増加、賑わい創出及び地域経済の活性化を図るため、大規模コンサートやプロスポーツの開催など、その効果が期待できるアリーナの誘致を目指す。
----	---



事業概要	<p>アリーナ誘致の推進に向け、民間事業者ヒアリング、市民ワークショップ、講演会等を実施し、市民への情報発信、市民理解の醸成を行う。</p> <p>○アリーナ誘致推進業務の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間事業者ヒアリング ・市民ワークショップ ・講演会 <p style="text-align: right;">等</p>
------	--

●アリーナのイメージ



●市民ワークショップのイメージ



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	臨時交付金	市債	
当初予算額	18,671				18,671
前年度予算額	12,348		12,000		348

目的	<p>新清水庁舎の建設は、令和2年度にコロナ禍の影響を受け、事務手続きを一時停止した。現清水庁舎は耐震・老朽化等の課題があり、早期整備が必要であることから、令和4年度に新たな整備方針を決定する。</p>
----	---



事業概要	<p>1 (仮称)清水庁舎整備検討委員会の開催 150千円 有識者、地元経済団体、地元まちづくり団体、市民委員等により組織する委員会を設置する。委員会では、市が作成した基礎資料を基に専門的な見地や市民目線で各委員が意見を述べ、その意見を取り入れた新方針(案)の確認・修正を行う。</p> <p>2 「新清水庁舎建設基本構想」「新清水庁舎建設基本計画」改定業務 17,500千円 令和3年度に示す「ポストコロナ時代の清水庁舎のあり方」をベースにさらなる検討を進め、パブリックコメントを実施した上で、令和4年度に新たな方針を決定する。</p>
------	---

●現清水庁舎



昭和58年供用開始

●令和3年度 中間報告(12月1日公表)



【新規】

スマートシティ推進事業

デジタル化推進課

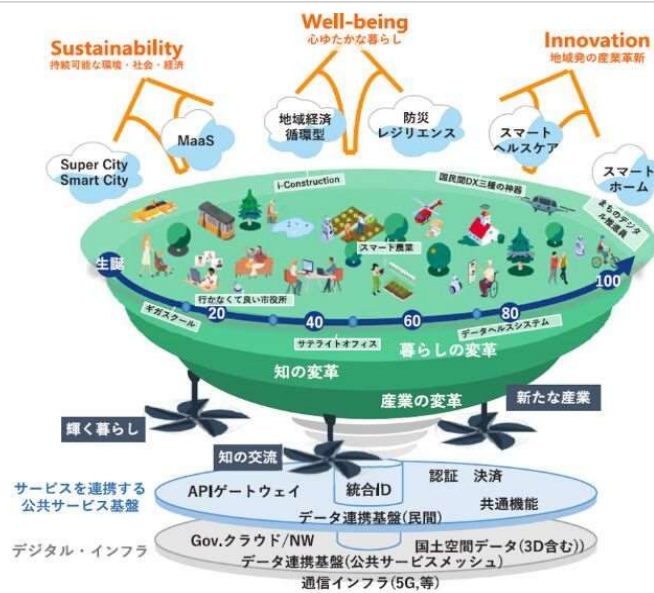
(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	臨時交付金	市債	
当初予算額	20,400		20,400		
前年度予算額					

目的
デジタル技術とデータを活用し、様々な社会課題の解決と新たな価値を創出できる都市であるスマートシティの実現。



事業概要
○スマートシティビジョン策定 20,400千円
国の成長戦略の一環である「デジタル田園都市国家構想」を受け、今後、デジタル技術を活用し、様々な地域社会における課題解決と新たな価値を創出できる都市である「スマートシティ」の実現のため、産官学民による共通の理念・方向性である「ビジョン」の策定と、推進母体となる協議会の立ち上げ準備を行う。



国「デジタル田園都市国家構想実現会議」資料から抜粋



市民の幸福度(“well-being”)の向上

スマートシティイメージ(スマートシティガイドブックより)

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	臨時交付金	市債	
当初予算額	2,964		2,964		
前年度予算額	3,000		3,000		

目的	<p>情報通信機器に触れる機会が少ない高齢者層に対してデジタル活用のサポートを実施することで、特に世代間で発生するデジタルデバイドを解消し、市民が等しくデジタルの利便性を享受できるまちを目指す。</p>
----	---



事業概要	<p>市内のS型デイサービス、生涯学習施設等をはじめとする高齢者向けの地域コミュニティの場を活用し、「デジタル」を身近に感じてもらう情報通信機器の体験会や講座等を開催する。</p> <p>市民の情報リテラシー能力向上支援事業</p> <p>○体験会、講座等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容 テレビ電話等のデジタルサービスの体験会等 ※開催予定回数 30回程度 ・実施時期 令和4年6月～令和5年2月（予定） ・実施場所 市内生涯学習施設、S型デイサービス会場等 ・対象者 デジタルに触れる機会が少ない高齢者
------	---

●体験会イメージ

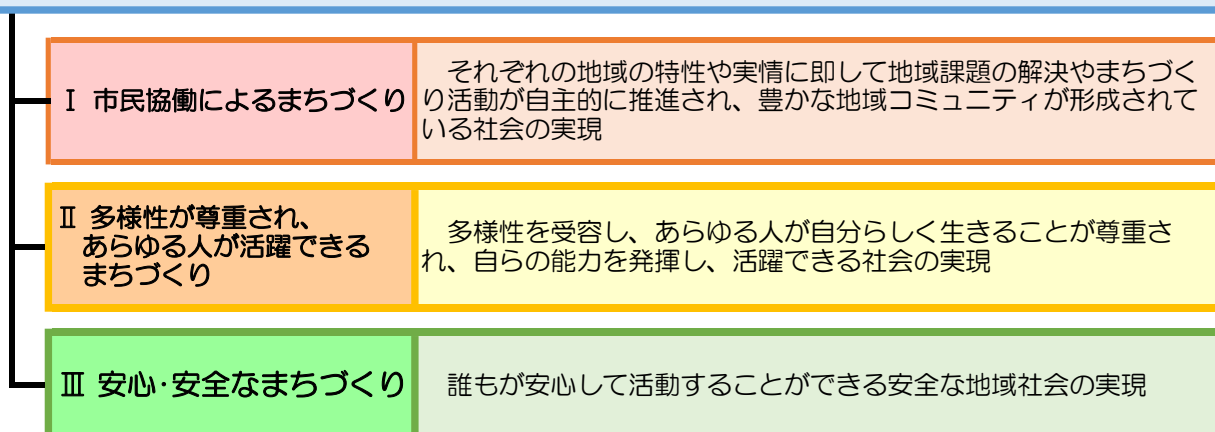


市 民 局

市民局 当初予算のポイント

令和4年度（2022年度）の目指す姿

地域の絆を深め、一人ひとりが活躍し、安心して暮らせる持続可能なまちを市民と行政が共に創る



これまでの成果と課題

1 成果

- I ○ こ・こ・に講座数 10講座(H28開校時) → 23講座(R3)
- I ○ 人材養成塾地域リーダー養成コース受講者のうち
地域や社会のために行動した人の割合
総合計画目標値：87% R2実績：100%
- II ○ LGBTQなどの性的少数者についての認知度
75.3%(H30) → 78.2%(R3)
- III ○ 交通事故発生件数 6,514件(H25) → 3,592件(R2)

2 課題

- I 受講者数の減少
- II LGBTQなどの性的少数者の生きづらさの解消
- III 交通安全推進団体等の各団体間の連携を強化し、効果的な啓発活動の展開

〔令和4年度の主な取組〕

I 市民協働によるまちづくり 2,147,854千円（1,922,499千円）

1 自治会・町内会等の地縁団体への活動支援

住民主体の地域づくりを支えるため、各種助成事業の実施等、自治会・町内会活動の推進のための支援に取り組みます。

■集会所建設費補助金など各種助成 504,405千円（515,180千円）



2 市民活動団体等への活動支援

多くの市民が参加するまちづくりの実現に向け、市民活動団体等の運営・広報・資金調達などの支援に取り組みます。

■ふるさと応援寄附金等によるNPO等指定寄附事業 17,406千円（55,346千円）

■協働パイロット事業 2,530千円（2,530千円）

3 生涯学習の推進

生涯にわたる学びを支援し、シチズンシップに富んだ人材の養成を推進します。

【新規】 ■ 藁科生涯学習センターの大規模改修の設計業務【15,792千円】

【拡充】 ■ 静岡シチズンカレッジこ・こ・に推進事業 3,196千円（2,992千円）

（デジタル化の推進、受講生のすそ野の拡大等）

4 井川湖渡船を利用した井川地区の振興

井川地区住民の対岸交通の確保及び観光資源としての活用により、来訪者の増加につなげ、地域の振興を図っていきます。

【新規】 ■ 井川湖渡船待合所の更新(既存待合所解体)【12,000千円】



令和聖

Ⅱ 多様性が尊重され、あらゆる人が活躍できるまちづくり

117,391千円（112,476千円）

1 男女共同参画の推進

女性の「活躍したい」希望がかなうまちを実現し、「女性活躍」に関する企業の取組みを促進するとともに、活躍したい女性への支援及び男性の意識改革に取り組みます。

■女性の活躍促進事業 1,632千円（2,875千円）

- i しずおか女子きらっ☆プロジェクト
- ii 女性相談プラットフォーム運営事業

■男女共同参画行動計画の推進、女性会館管理運営

109,079千円（108,418千円）



2 多様性に関わる環境整備

生活に困難を抱える当事者が暮らしやすくなるよう理解促進や困難解消に取り組みます。

【新規】 ■パートナーシップ宣誓制度（令和4年4月～）

【新規】 ■人権啓発事業（福祉総務課から移管）【5,780千円】

■LGBTQフレンドリー推進事業 900千円（1,183千円）



※パートナーシップ制度
人生のパートナーであることを
宣誓した二人の関係を首長が
証明する制度

Ⅲ 安心・安全なまちづくり

1,745,832千円（1,554,477千円）

1 地域の自主防犯力の強化・自ら守る交通安全意識の向上

安全な地域社会の実現に向けた防犯力の強化及び交通事故の防止や交通マナーの向上に向けた交通安全対策を図ります。

■街頭防犯カメラ設置費助成 7,500千円（7,500千円）

■幼児期における交通安全教育の推進事業 918千円（1,000千円）



街頭防犯カメラ
設置状況

2 消費者市民社会の推進

自らの消費行動が経済だけでなく社会や環境にも影響を与えることを自覚し、行動する「消費者市民社会」に向け、消費者教育の推進等を図っていきます。

■消費者保護啓発事業 10,791千円（12,882千円）

3 住居表示の実施

住所が複雑で分かりにくい事態を解消し、市民生活の利便性や緊急車両の効率性の向上を図ります。

■住居表示実施業務 35,007千円（3,312千円）

うち、第2期駿河区長田地区（向敷地）住居表示実施業務【32,536千円】

4 斎場・霊園の管理運営

斎場及び霊園を適切に維持管理し、厳かで安心できる施設環境を整備します。

■斎場及び霊園の管理運営 396,046千円（383,035千円）

清水斎場用地取得費（畑総事業の創設非農用地の取得）【566,200千円】

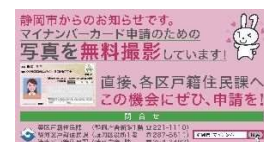
5 個人番号（マイナンバー）カード交付窓口の運営及び普及促進

住民への申請勧奨と円滑な交付が行えるよう交付体制を整えます。

■個人番号（マイナンバー）カード交付等事業

250,734千円（683,416千円）

■住民票等コンビニ交付事業 26,918千円（17,180千円）



マイナンバーカード
申請支援のチラシ

【拡充】

「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」推進事業

生涯学習推進課ほか

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/3ほか)	市債	その他	
当初予算額	20,360	1,575		1,382	17,403
前年度予算額	22,083	974		979	20,130

目的	「構想力(こ)」・「行動力(こ)」・「人間力(に)」を備え、市民と行政との協働によるまちづくりを担うシチズンシップに富んだ人材の養成。
----	---



事業概要	市が実施する人材養成事業を、総合的な学び舎「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」として束ね、一体的に推進
	<p>1 人材養成事業の一体的な推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○受講生のすそ野の拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・修了生インタビュー動画作成委託 拡充 ○修了生への活動支援を充実・強化 <ul style="list-style-type: none"> ・修了後の活動に対する講師等派遣サポート 新規 ・受講生及び修了生等の交流会「ここにわ」の開催 <p>2 各人材養成講座の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市内8局(区)20課による26講座の実施 拡充 (新規講座) <ul style="list-style-type: none"> ・ライフデザイン・ワークショップ ・ファシリテーター養成講座 ・運動でつながる ～スキルを活かそう～ (リニューアル講座) <ul style="list-style-type: none"> ・地域支え合い人材養成講座

こ・こ・に入門講座



静岡シチズンカレッジ こ・こ・に (学長市長)

<p>総合課程</p> <p>地域リーダー養成コース ・地域デザインカレッジ2022 (生涯学習推進課)</p>	<p>生活・環境コース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイセル女性カレッジ (男女共同参画・人権政策課) ・多文化共生サポーター養成講座 (国際交流課) ・「消費の賢者」ウェブセミナー (生活安心安全課) ・駿河区地域の人材育成事業 駿援隊 (駿河区役所地域総務課) ・市民生きもの調査員養成講座 (環境創造課) ・環境大学 (ごみ減量推進課) ・ライフデザイン・ワークショップ ファシリテーター養成講座 【新】 (商業労政課) 	<p>子ども・教育コース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て∞親育ち学校 (子ども未来課) ・ひきこもりサポーター養成講座 (青少年育成課) ・“学校・地域 ひとつなぎ” コーディネーター養成講座 (教育総務課) ・しずおか教師塾 (教職員課)
<p>専門課程</p> <p>観光・歴史コース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光ボランティアガイド養成講座 (観光・MICE 推進課) ・英語deおもてなしサポーター養成講座 (観光・MICE 推進課) ・文化財サポーター養成講座 (文化財課) 	<p>健康・福祉コース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域支え合い人材養成講座 【リ】 (地域包括ケア推進本部) ・市民後見人養成研修 (基礎編) (福祉総務課) ・アイボランティア入門講座 (障害福祉企画課) ・移動支援事業従事者養成研修 (障害福祉企画課) ・こころのバリアフリープロモーター育成講座 (こころの健康センター) (生涯学習推進課) ・運動でつながる～スキルを活かそう～ 【新】 (生涯学習推進課) 	<p>経済・産業コース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ものづくりプラモデル大学 (産業振興課) ・静岡市お茶の学校 (農業政策課)
<p>プレ課程</p> <p>高校生人材養成コース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生まちづくりスクール (プロジェクト編) (青少年育成課) ・高校生まちづくりスクール (ビジネス編) (生涯学習推進課) 	<p>地域コース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習支援人材養成講座 (生涯学習推進課) 	

-52-

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	12,000		10,800	1,200	
前年度予算額	34,162		3,700	30,000	462

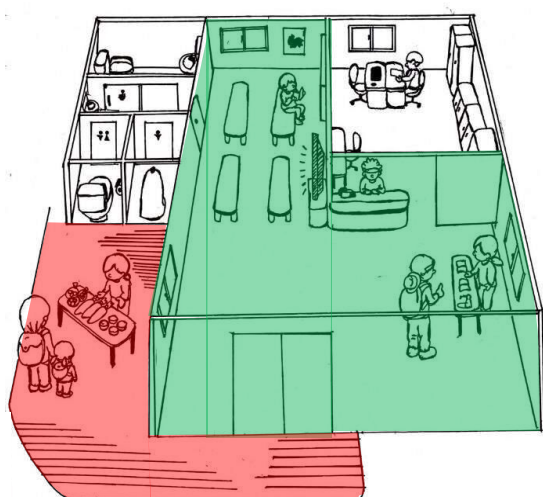
目的

井川湖渡船施設（渡船・待合所）を更新し、新たな事業を展開することで、交流人口の増加と地域経済の活性化を図る。

事業概要

井川湖渡船は昭和33年に就航以来、住民生活と観光の両面から地域を支えている。南アルプスユネスコエコパークの登録を機に、井川観光の回遊性を向上し、魅力ある地域づくりに繋げるため、老朽化した渡船施設を更新し、新たな活用を推進する。

- 1 井川湖渡船施設の整備
 - ・令和2年度 新船舶「令和聖」就航
 - ・令和3年度 新待合所完成
 - ・令和4年度 旧待合所解体
- 2 新たな事業展開
 - 新船「令和聖」を活用した交流人口の増加
 - ・周遊イベントの実施（ランチクルーズ・お茶席船等）
 - ・家族や友人と楽しめる貸切予約制の導入（周遊40分）
 - 地域の人にも集まる新待合所の新たな運営づくり
 - ・観光や里山の暮らしに関する情報発信
 - ・イベントや交流スペースとしての活用促進
 - ・特産品の販売等、地域とのふれあい・交流拠点づくり



【新】渡船待合所のイメージ】

- 情報発信スペース
- 交流スペース



現) 待合所(1959年建築・62年経過)



令和聖(R2.進水)

葵 区 役 所
駿 河 区 役 所
清 水 区 役 所



令和4年度（2022年度）の目指す姿

住民と区が力を合わせ、誰もが安心して
住み続けられるまちの実現

令和4年度の主な取組

重点事業 1

区の魅力づくり事業費 10,830千円

地域が直面している
課題の解決に向けて



地域課題
の解決

■ 葵区 Move To Okushizu

中山間地の著しい人口減少に対する取組

■ 葵チャレンジャー

地域が自ら課題の解決に取り組む活動の支援

〔連携・協力〕

葵区

自治会連合会

関係各課

大学

民間企業

葵区
の魅力発信

■ 葵トラベラー

地域が自ら実施するイベント等への集客支援

■ 葵区「魅力情報発信」

各地域の特色を市内外へ発信するための支援

① 葵区 MoveTo Okushizu [オクシズ人口減少対策プロジェクト]

「オクシズ」の情報を全国に拡散

- ・ワーケーション社会実験の実施
- ・高速道路SAイベントの開催
- ・YouTube、Twitterによる情報の発信



新東名SAイベント



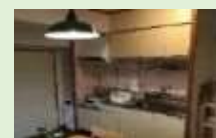
YouTube・Twitter動画

移住希望者へのオクシズ移住情報を発信

- ・オクシズ移住体験ツアーの実施
- ・移住体験施設の運用



移住体験ツアー



移住体験施設

移住生活を充実

- ・空き家実態調査の実施
- ・移住者向けの生活ガイドブックの作成
- ・空き家リノベーションビジネス可能性調査



空き家実態調査



生活ガイドブック

② 葵チャレンジャー

- ・課題解決をサポートするアドバイザー派遣 ほか

③ 葵トラベラー

- ・地域運営型葵トラベラーの実施
- ・油山しだれ桜まつり ほか

④ 葵区「魅力情報発

- ・地域の魅力情報をWeb広告で発信
- ・YouTubeあおいくんちゃんねる ほか

重点事業2

環境整備経費 2,708千円

「スマート区役所」の実現に向けて

～市民の利便性向上と行政運営の効率化～

3 すべての人に
健康と福祉を



① 区民意見聴取事業

区民の多様な意見を聴取し、まちづくりに反映

- ・ふるさと未来づくり会議の開催
- ・職員のブロック担当制の実施
- ・ブロック会議への参加（自治会役員と区長等による意見交換会）
- ・全38学（地）区自治会連合会長へのアンケート継続



区役所利用者の意見を聴取し、窓口改善に反映

- ・アンケート等の実施
- ・案内人による聞き取り

② 人材育成事業

時代のニーズやあらゆる市民に対応した人材の育成

- ・全職員による葵区役所案内人の実施（コンシェルジュと連携）
- ・外部講師による意識改革研修等の実施（3区交流）
（窓口改革実践・デジタル化推進研修 **NEW!!** ほか）
- ・プロジェクトチームによる研究、検討等（先進市視察・関係各課と連携）

★移住促進

★情報発信

★スマート区役所（3区合同）



③ 環境整備事業

ウィズコロナに対応した安心安全で便利な窓口の実現

- ・WEB会議、オンライン研修スペースの設置
- ・マイナンバー交付窓口の増設
- ・ウイルス飛沫防止パネルの増設



あおいくん&家族を活用した行政情報発信の強化

- ・行政情報・地域情報をわかりやすく4コマ漫画にて発信
- ・タブレットを活用してタイムリーに情報発信
（葵区役所公式Twitterあおいくんち）





令和4年度（2022年度）の目指す姿



～誰もが住みやすい駿河区の実現～

駿河区では、平成27年度からスタートした静岡市第3次総合計画において、地勢や特色、若い力を活用して、住民主体のまちづくりを推進し、「誰もが住みやすい駿河区」の実現を目指します。

令和4年度の主な取組

重点事業1 魅力づくり事業 10,828千円（11,250）

◆地域力推進事業◆

（地域力を高めるための賑わいづくりや情報を発信する事業）

【主な事業】

（1）旬穫祭

- ・旬穫祭in漁港まつり
- ・旬穫祭in葵スクエア
- ・旬穫祭inトロバーWeek ほか ★



▲旬穫祭in葵スクエア

（2）駿河区トロバーラリー ★

（3）スルガフェス ★

（4）区のイメージキャラクター事業

（5）情報発信事業



▲こども園ダンス教室

【R4年度の主な取組】『駿河トロバーWeek 2022』 NEW

駿河区役所を中心としたエリアにおいて、区民・民間企業・公共施設などと連携し、10/8～15の期間において“登呂まつり”を皮切りに各団体のイベントを集中的に開催することで、駿河区民の一体感と地域愛を創造し未来へつなげる。

◆地域提案支援事業◆

（地域住民が主体的となって取り組む事業の支援）

【主な事業】

- （1）元気アップ応援プロジェクト
- （2）エコライフプロジェクト
- （3）区民（わたしたち）の提案プロジェクト ★



▲元気アップ応援プロジェクト

※ ★ はトロバーWeek関連事業

◆地域の人材育成事業◆

(地域コミュニティの中堅や担い手となって活動できる人材の育成)

【主な事業】

- (1) 駿援隊
- (2) 駿援隊フォローアップ事業



▲アクションカード寄贈

【R4年度の主な取組】 『駿援隊』

令和3年度に新型コロナウイルス感染症の影響により中断となった講座を再度実施し、リモートでの開催も視野に入れながら、前年参加者を優先して開催する。そして、新たな駿援隊を育成し、活動の幅を広げ、駿援隊ネットワークの拡大を図る。

重点事業2 環境整備経費 2,710千円 (3,000)

◆区民意見聴取事業◆

区民ニーズの聴取・把握

“わがまち×わかまち”会議

未来を担う若者と共に、地域、区役所が一体となって、持続可能な魅力高まるまちづくりについて検討を行い、提案された意見をもとに既存事業や区政に反映させ、地域と若者の活動の底上げにつなげる。



◆区役所人材育成事業◆

職員の区民サービス能力の向上

- ・ 接遇事業 (接遇研修、教えて！先輩、外部派遣研修等)
- ・ 連携強化事業 (スキルアップセミナー、業務・人材リスト作成)
- ・ デジタル化推進研修 (三区連携) : スマート区役所推進PT **NEW**



◆区役所環境整備事業◆

市民が利用しやすい区役所づくり

- ・ 曲がり角等への衝突防止ミラーの設置 **NEW**

庁舎内の曲がり角等に、衝突防止ミラーを設置。出会い頭の衝突防止のために、目視で確認できる環境を整える。

- ・ レイアウト変更に伴う案内サインの統一化

執務室等のレイアウト変更に伴い、わかりやすい窓口環境を目指し、統一化された案内サインへ更新する。





令和4年度(2022年度)の目指す姿

～地域の魅力を活かしたまちづくり・地域と連携したまちづくりの実現～

清水区では、効率的で市民にとって利用しやすい行政サービスを提供するとともに、地域の住民と意見交換を行い、海・山などの多彩な魅力や特性を活かしながら、地域の賑わいを創出することにより、地域と連携したまちづくりを推進します。

令和4年度の主な取組

重点事業1 区の魅力づくり事業費(10,630千円)

11 住み続けられるまちづくりを



令和4年度の重点取組

1. 清水区の魅力発信、清水区ファンの拡大

市民意識調査や未来創造トークでの区民意見をヒントに、清水区の食や歴史、景色など多角的な視点での魅力を区内外に発信していきます。

また、中部横断自動車道沿線都市との交流を目的に(仮称)シズラまつりを開催し、区内企業等の各種ブースや沿線都市の物販コーナー・紹介イベントを通じ、区民と沿線都市の人々の交流を促すほか、シズラを活用したSNSの発信や各種イベントの参加により清水区ファンの拡大を目指していきます。

2. みなとまち清水にちなんだ移住ツアーの実施

「日帰り里山体験ツアー」に加え、「日帰りベイエリア移住ツアー」を実施し、山と海の魅力あふれる清水区に触れてもらい、移住を促進します。

1. 魅力発信事業

- (1)シズラグッズの作製によるイラストデータ等の利用促進
- (2)Facebook・Twitter等の活用
- (3)シズラのイベント出演
- (4)清水区ディスカバリーの実施



2. 交流促進事業

- (1)(仮称)シズラまつりの開催
- (2)清水区PR事業



3. 移住・定住促進事業

- (1)移住促進ツアーの実施
- (2)清水区まち歩き案内の実施
- (3)移住フェア参加及び情報発信



重点事業2 環境整備経費(2,908千円)



令和4年度の重点取組

1. 人材育成事業の強化

清水区の魅力の発信者を育成する「清水の魅力再発見！『ブラしみず』」のほか、職員が生き生きと働き続けるための環境づくり等を考える「清水みんなの働き方ラボ～はたらボ～」、3区役所合同実施「区役所のデジタル化推進研修」等研修メニューをリニューアルします。

2. 多文化共生を意識した対応・案内表示の見直し

おもてなしをされていると感じることができる環境の実現に向け、清水区役所に来庁される外国人を意識した外国人住人対応研修や案内板のやさしい日本語表示を行います。

1. 意見聴取事業

- (1)清水区まちづくりミーティング
- (2)清水区未来創造トーク



2. 人材育成事業

- (1)清水区接遇研修 職場のコミュニケーション研修、クレーム研修
- (2)おもてなし研修 パーソナルカラー研修、外国人住人対応研修
- (3)業務知識習得研修
- (4)清水の魅力再発見！「ブラしみず」
- (5)3区役所合同 区役所のデジタル化推進研修
- (6)人材育成プロジェクト「OJT+」
- (7)「清水みんなの働き方ラボ～はたらボ～」



3. 環境整備事業

- (1)フロア環境快適化推進事業
1階喫茶スペースの環境整備
ウィズコロナの環境整備
- (2)おもてなし環境整備事業
案内板のやさしい日本語表示、
明るくきれいな地下スペースの環境整備



觀光交流文化局

観光交流文化局 当初予算のポイント

令和4年度（2022年度）の目指す姿

新たな日常を踏まえつつ、本市が誇る地域資源を磨き上げ、世界中から人々が訪れるまちの実現による交流人口の拡大と地域経済の活性化を目指します。



令和4年度の主な取組

1. 新たな日常に対応した交流の推進（感染防止対策と経済の回復） 349,200
(うち2月補正290,000)

(1) 観光誘客支援 210,000
 コロナの影響で落ち込んだ宿泊需要を取り戻すため、宿泊を伴う観光誘客の取り組みを推進します。

【新規】 教育旅行誘致推進事業（旅行会社への助成制度） 10,000 (2月補正)

【拡充】 団体旅行等誘致事業 100,000 (2月補正)

【拡充】 地域型宿泊誘客支援事業助成 100,000 (2月補正)

全国大会等開催事業補助金 22,500 【再掲】

(2) イベント開催支援 130,000
 賑わい創出を目的とするイベント開催の回復を支援し、地域経済の活性化を図ります。

賑わい創出イベント感染症対策事業費助成 50,000

【新規】 まちは劇場TRY'22開催事業負担金 80,000 (2月補正)

(3) 文化・スポーツ活動支援 9,200
 文化・スポーツ活動の回復を支援するため、市内文化・スポーツ団体等に対し施設や備品の使用料の一部を助成します。

文化活動継続支援事業費助成 4,200

スポーツイベント緊急支援事業費助成 5,000 ※歳入【施設使用料の減額】▲30,190

2. 「世界に輝く静岡」の実現に向け、第3次総合計画の総仕上げ 2,039,381

(1) 地方創生の推進 (①交流人口の増加策) 127,651

全国大会等開催事業補助金 22,500

【拡充】 国民保養温泉地プロモーション事業（梅ヶ島） 3,300

DMO推進事業【5市2町】 59,800

多文化共生啓発事業（多文化共生条例の策定等） 5,099

対仏交流・プロモーション事業
 （日仏自治体交流会議の誘致等） 5,333

【拡充】 台湾スポーツ交流事業 3,019

スポーツを通じた青少年国際交流事業 8,000

静岡の地域資源をブランド化し、世界に向けて情報発信する取り組み



第6回日仏自治体交流会議（熊本市）



DMO推進事業「茶の間」



DMO推進事業「茶水」

(1) 地方創生の推進 (②デジタル化の加速)

【新規】 窓口におけるキャッシュレス決済導入事業 24,182 【再掲】
 （三保真崎グラウンドゴルフ場、市民ギャラリー、東海道広重美術館、
 芹沢銈介美術館、静岡市美術館、静岡音楽館、清水文化会館、
 ふれあい健康増進館ゆらら、登呂博物館、静岡科学館、ほか 計16施設）



多文化共生啓発事業

「静岡わいわいワールドフェア」

(単位：千円)

(2) 歴史文化の拠点づくり (静岡都心) 1,266,925

静岡の歴史・文化の中核である
駿府城公園周辺の魅力を高める取り組み

【完成】歴史博物館建設・管理運営事業	712,535	駿州の旅 日本遺産推進協議会負担金	5,350
【拡充】駿府城跡天守台発掘調査 見える化・野外展示事業	72,865	街道観光プロモーション事業【5市2町】	5,000
【新規】大河ドラマ活用推進事業	300,000	第81期A級順位戦最終局開催事業負担金	7,500
お堀の水辺(葵舟)活用事業	10,175	(仮称)しずおか囲碁まつり開催事業負担金	3,000
東海道歴史街道まち歩き推進事業	11,500	【新規】ナイトツーリズム推進事業 (駿府城公園エリアの夜間景観先行整備)	139,000



日本橋しずおか食堂
(中部5市2町)



駿州の旅日本遺産
(静岡市、藤枝市共同申請)



第81期A級順位戦最終局
「対面指し指導将棋」

春・夏・秋・冬 賑わい創出イベントの推進

駿府城公園周辺エリア

～歴史文化の拠点づくりとまちは劇場の推進～



(3) 「まちは劇場」の推進 644,805

365日いつでも「わくわくドキドキ」を感じる
まちをつくる取り組み

【拡充】賑わい創出イベントの推進(春夏秋冬フェス)	467,603	【着手】静岡市民文化会館再整備事業	67,200
まちは劇場コンサート事業	31,279	【新規】ナイトツーリズム推進事業	
国際文化交流事業	11,105	(駿府城公園エリアの夜間景観先行整備)	139,000
(朝鮮通信使文化交流・フェスティバル交流事業)		(夜間景観整備計画の策定等)	20,600
まちは劇場推進事業	36,994		
(ブランディング事業、国内外プロモーション事業等)			
まち劇スポット事業	1,324		
市民参加型舞台公演事業	5,700		
【新規】第50回全国アマチュアオーケストラフェスティバル開催事業助成	3,000		



清水みなと祭り



まちかどコンサート

ON STAGE SHIZUOKA まちは劇場

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	20,600	10,050			10,550
前年度予算額	23,300	11,400			11,900

目的	日本平からの夜景を軸とした夜の楽しみ方を創出・発信し、観光客の市内滞在時間を延長、市内観光消費の拡大につなげる。
----	--



事業概要	<p>1 静岡夜景のブランディング 16,200千円 本市の夜景のブランド価値を高めるため、魅力的な夜間景観の整備に向け、整備計画を作成するとともに、夜景観光HPを用いたフォトコンテストを開催。 ○夜間景観整備計画作成業務 ○夜景HPを活用したイベント運営</p> <p>2 日本平の集客力向上 3,400千円 日本夜景遺産・日本平の素晴らしい夜景を活かして夜間の集客力を向上させるため、日本平夜市との連携イベント開催・シャトルバス運行等により山頂での夜間の観光客滞在環境の向上を図る。 ○日本平夜市 連携イベント ○日本平夜市 シャトルバス運行等</p> <p>3 ナイトタイムエコノミーの充実 拡充 1,000千円 夜間帯の観光振興と親和性の高い、アフターMICE市場をメインターゲットとしたプロモーションツール作成を行う。</p>
------	---



↑ 日本平山頂からの夜景



梶原山公園からの夜景



日本平夜市の様子 →

【新規】

ナイトツーリズム推進事業（夜間景観整備事業）

観光・MICE推進課

（千円）

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	139,000	69,500	62,500		7,000
前年度予算額					

目的
本市の「日帰り型・通過型」観光地としての課題を解消し、観光客の滞在時間延長や宿泊者数増加を図るため、世界的照明デザイナーである「石井幹子氏」との連携により、ナイトツーリズム推進の核となる、魅力的な夜間景観の整備を進める。



事業概要

令和5年度以降に本格整備を開始する駿府城公園エリアの「夜間景観整備事業」の第一弾として、歴史博物館のグランドオープンや大河ドラマ関連の誘客事業に合わせ、中堀の一部（巽櫓・東御門周辺）に照明機器を先行的に整備する。

- 照明対象物 駿府城公園中堀の一部（巽櫓・東御門周辺）
- 整備内容 照明機器の設置及び附帯工事
照明機器の設置に係る意匠監修業務
- デザイン・設計 (株)石井幹子デザイン事務所
駿府城公園の歴史的価値や建造物の美しさを活かした静的な照明演出を実施
- スケジュール
 - ・令和4年度 先行整備（巽櫓・東御門周辺）
 - ・～令和8年度 本格整備（天守台野外展示の整備等と連動）



整備後イメージ（複製厳禁）

【新規】

大河ドラマ活用推進事業

観光・MICE推進課

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	300,000	57,500			242,500
前年度予算額					

目的
令和5年大河ドラマ「どうする家康」の放送に合わせ、全国から観光客を呼び込み、同時期にグランドオープンを迎える歴史博物館の誘客やプロモーションにつなげながら、市内周遊の促進や地域経済の活性化を図る。

事業概要
本市や静岡商工会議所など10団体で構成する静岡市大河ドラマ「どうする家康」活用推進協議会が主体となり、下記事業を実施する。

- 大河ドラマ館の設置・運営
 ≪施設概要≫
 ドラマの世界観が楽しめる衣装や小道具、映像などの展示と本市の観光や地域振興のための展示
 ≪設置場所≫
 浅間神社内の旧静岡市文化財資料館（令和3年12月閉館）
 ≪開設期間≫
 番組放送開始から1年間程度
- 大河ドラマ館、歴史博物館、2つの施設を核とした市内周遊の促進
- 全国からの誘客のためのプロモーション
 ・メディアを活用した情報発信
 ・名誉館長の春風亭昇太氏の知名度を活かした広報
- 事業費 660,000千円（R4：330,000千円、R5：330,000千円）
 市負担金 540,000千円（R4：300,000千円、R5：240,000千円）



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	59,800				59,800
前年度予算額	99,800				99,800

目的	<p>静岡県中部5市2町が連携し、地域のブランド力を高めることで、来訪者数を増加させるとともに、Learn・Tea・Sea戦略に沿った観光商品の開発を行い、観光消費額や宿泊者数の増加を図る。</p>
----	---



事業概要	<p>静岡県中部・志太榛原地域（静岡市・島田市・焼津市・藤枝市・牧之原市・吉田町・川根本町）の枠組みで、（公財）するが企画観光局を中心に次の事業を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> Learn（学び）戦略に基づく商品開発の拡大 <ul style="list-style-type: none"> ○学びのある体験プログラムの開発 ○商品を掲載したWEBサイト「MANAVIVA」のプロモーション Tea（お茶）、Sea（海）戦略に基づくプロモーション <ul style="list-style-type: none"> ○絶景の茶畑で茶を体験する「茶の間」や、茶を使ったかき氷「茶氷」、縁起物“カツオ”の新グルメ「勝魚カツ」など、TeaとSeaをコンセプトとする商品の提供事業者の拡大 ○WEB、SNSなどを活用したプロモーション シンクタンク機能強化（市場調査等） <ul style="list-style-type: none"> ○5市2町の観光地における来訪者調査（来訪地域・来訪目的・消費額等） ○5市2町の事業者の実態・景況調査（売上高の傾向・景況感等） <p>※DMO（Destination Management/Marketing Organization）とは、地域の多様な関係者との連携と、マーケティングに基づく戦略的な観光地域づくりを行う舵取り役。</p>
------	--



Learn(学び)
 学びのある体験プログラム
 「MANAVIVA!(マナビバ)」



Tea(お茶)
 茶葉の種類やレシピなど
 彩り豊かなお茶のかき氷「茶氷」



Sea(海)
 鯉のカツを用いたグルメ
 「絶対負けない『勝男カツ』」

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	11,500				11,500
前年度予算額	12,700				12,700

目的
東海道に根付く「地域資源」を活用した、本市ならではの街道観光ブランドの創出により、街道観光を推進し、観光交流人口の拡大と、地域活性化を図る。



事業概要
東海道のヒトやモノの往来により生まれ、根付いてきた歴史や文化等地域の魅力を新しい視点で掘り起こして活用し、市内の回遊性を高める周遊ツールや、観光プログラムを開発する。
また本市の街道観光への取り組みを効果的に発信し、認知度向上を図る。

- 観光プログラムの創出 10,000千円
 - 回遊性向上のための周遊ツールの活用
 - 滞在型体験プログラムの造成
- 戦略的な情報発信 1,200千円
 - しずおか東海道まちあるきガイドブック増刷
 - しずおか東海道まちあるきWebサイト運営
- 案内整備事業 300千円

東海道歴史街道観光推進事業

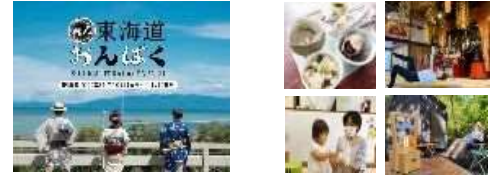


観光プログラムの創出

○回遊性向上のための周遊ツール
しずおか東海道ご縁めぐりスタンプラリー



○滞在型体験プログラムの造成
駿河 東海道おんぱく



戦略的な情報発信

○しずおか東海道まちあるきガイドブック・WEB



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	5,350				5,350
前年度予算額	4,950				4,950

目的
令和2年度に「日本遺産」に認定された、静岡市と藤枝市にまたがる東海道を舞台にした「弥次さん喜多さん、駿州の旅」のストーリーを活用した街道観光の推進により、街道文化の継承や沿線の活性化等を図る。



事業概要
事業の効果的な推進のため、関係主体で「駿州の旅日本遺産推進協議会」を組織し、静岡・藤枝の両市で負担金を支出する。
※令和2年度からの3か年は協議会にて文化庁の補助金を活用

- 1 調査研究
 - ・顧客層の視点に基づくマーケティング調査の実施
- 2 人材育成
 - ・ガイドマニュアルを活用したガイド養成講座の開催
- 3 普及啓発
 - ・シンポジウムの開催・土産物や体験メニューの開発
- 4 情報発信
 - ・Webコンテンツ、総合パンフレット等の作成
 - ・首都圏等に向けた誘客プロモーションの実施
- 5 周遊環境整備
 - ・インフォメーションや案内板の整備

東海道歴史街道観光推進事業



- 人材育成(ガイド養成講座)
- 普及啓発(シンポジウムの開催)
- 普及啓発(ロゴマークの活用)



- 情報発信(古地図WEBコンテンツ)

- 情報発信(首都圏プロモーション)

- 活用整備(案内板整備)



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	10,175				10,175
前年度予算額	10,173				10,173

目的
府中宿における新たな観光コンテンツの一つとして、駿府城公園周辺エリアの賑わいを創出するとともに、「歴史文化の拠点づくり」を推進する。



事業概要
令和2年度末から民間主体により、葵舟の本格運航を開始。市では補助金交付、旅行商品造成支援等補助的役割を担う。
また、葵舟を中心とした水辺の賑わい創出を図り、駿府城公園周辺への誘客を促進する。

- 1 実施主体への運営支援 10,000千円
遊覧船運航に係る事業費用を補助する。
運航：土日祝9:00～16:30 30分間隔
(7～8月は17:30まで、11月～2月15:30まで)
- 2 旅行商品造成商談会への参加 175千円
旅行エージェント向け商談会に参加し、葵舟を活用した旅行商品造成を促す。

東海道歴史街道観光推進事業



水辺の活用による賑わい創出及び歴史文化の拠点づくり



葵舟と水辺を活用した賑わい創出



AGT商談会での売込



教育機関へ活用のPR

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	5,000				5,000
前年度予算額	10,000				10,000

目的	街道観光をテーマに、中部5市2町で連携し、東海道の起点である東京・日本橋において、街道文化や歴史的特産品等のプロモーションを実施し、日本橋との交流と誘客促進を図る。
----	--



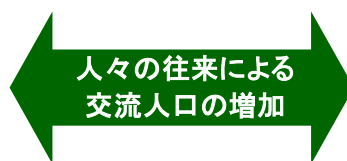
事業概要	<p>「東海道」をはじめとする「街道」でつながる5市2町の自治体間の交流を図り、各地域の歴史・文化（食、自然等）の地域資源を生かした「街道観光」ブランドの創出と、広域連携・交流によるみちづくり・まちづくりを推進する。</p> <p>1 「日本橋 しずおか食堂」の実施 4,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○中部5市2町の特産品（わさび、椎茸、桜えび、しらす等）を日本橋老舗飲食店へ提供し、限定メニューを販売する。 ○経済局と連携し本市の特産品の魅力を日本橋にPRする。 ○するが企画観光局と連携し、日本橋老舗店舗や関係機関などを5市2町の生産者とマッチングさせるとともに、交流を図る。 <p>2 「しずおか東海道展」の実施 1,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○家康公が整備した「東海道」、田沼意次公所縁の「田沼街道」といった街道でつながる5市2町の魅力をパネル展でPRする。
------	--

東海道歴史街道観光推進事業



しずおか中部連携中枢都市圏

静岡市、島田市、焼津市、藤枝市、牧之原市、吉田町、川根本町



東海道の起点

日本橋老舗店舗・三越本店前地下通路



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	712,535		41,800	20,917	649,818
前年度予算額	4,318,837	792,257	3,172,300		354,280

目的	歴史資料の保存伝承、展示を通して静岡の魅力を市内外へ発信し、歴史観光を促進する拠点施設を整備し、管理運営する。
----	---



事業概要	<p>1 施設概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設地 旧青葉小学校跡地 ・建設概要 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造 地上4階建 ・建築面積 2,285.27㎡ ・延床面積 4,885.86㎡ <p>2 スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2～4年度 建設工事・展示工事 展示資料収集、製作 ・令和4年7月 プレオープン（1階のみ） ・令和5年1月 グランドオープン（全面開館） <p>3 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設工事（外構分） ・展示資料製作 ・運営準備 ・開館記念式典 ・管理・運営 ほか
------	--



完成イメージ

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	72,865	26,745	11,200	1,880	33,040
前年度予算額	13,061			395	12,666

目的
4年間の発掘調査成果をふまえ、発掘現場の見える化を継続しながら、徳川家康と豊臣秀吉が関わったと考えられる本物の天守台の迫力を間近に感じることができる日本唯一の野外展示として、遺構の保存と活用を両立させた整備を行う。



事業概要

- 1 天守台発掘調査見える化事業
 - 発掘情報館きゃっしる・見学ゾーンの運営
 - ・きゃっしる・見学ゾーンの運営
 - ・天守台ツアー
 - 発掘調査成果の周知・普及
 - ・天守台トークショー
 - ・最終現場説明会
 - ・天守台高さ体験
- 2 天守台野外展示事業
 - 概要
 - ・場所 駿府城公園
 - ・面積 約24,000㎡
 - スケジュール
 - ・令和4年度 野外展示実施設計
 - ・令和5～6年度 野外展示工事
(広場、遺構保存)
 - ・令和7年度 供用開始
 - 実施内容
 - ・実施設計
 - ・デジタル技術の活用 **新規**
(VR等を活用したPR映像の作成等) ほか



現場見学会



天守台トークショー



天守台高さ体験



野外展示事業のイメージ



きゃっしる・見学ゾーンの運営

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	202,075	63,875	96,900		41,300
前年度予算額	118,921	52,834	52,900		13,187

目的	江戸時代中期の大名陣屋である国指定史跡小島陣屋跡を整備し、『歴史文化の継承と交流の場』として公開・活用を図っていく。
----	--



事業概要	<p>石垣を多用した小城郭風の景観をとどめる小島陣屋跡に、現存する御殿書院建物を移築復原し、誰もが楽しみながら歴史に触れることができる交流の場として整備していく。</p> <p>1 史跡整備工事 多目的広場造成・主郭石段整備 34,392千円</p> <p>2 御殿書院移築復原工事 65,640千円 規模 木造平屋建 約140㎡</p> <p>3 駐車場整備（便益施設建築） 95,000千円</p> <p>4 その他（調査、維持管理等） 7,043千円</p> <p>スケジュール（予定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度 駐車場整備（便益施設含む） ・令和4～5年度 御殿書院移築復原工事 ・令和4～6年度 史跡整備工事
------	---

史跡小島陣屋跡(大手石垣)



現存する御殿書院



史跡小島陣屋跡(主郭石垣)



発掘調査



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	68,481				68,481
前年度予算額	171,971	42,061	31,900		98,010

目的	「三保松原」の価値や魅力の源泉である松原を保全するとともに、景観の回復や松原の再生を図り、名勝及び世界文化遺産である「三保松原」を世界に向けて発信していく。
----	--



事業概要	<p>1 リスク軽減事業 49,587千円 三保松原の象徴である老齢大木を病気や倒伏から守る。 ○枯れマツの伐倒駆除や薬剤散布などのマツ材線虫病防除 ○羽衣の松周辺の土壌の固結化を防ぐ土壌ほぐし ○危険な老齢大木を発見するための樹木診断</p> <p>2 松原再生事業 18,074千円 三保松原を景観的に優れた健全な松林へと再生する。 ○堆積松葉の除去や草刈り、間伐などの松原の日常管理 ○松林管理システム（まつしらべ）の運用 ○圃場（三保由来の松苗を育てる場所）の管理 新規</p> <p>3 情報発信事業 820千円 三保松原に関わる文化や景観、保全について発信する。 ○公式ウェブサイト、音声ガイドシステム、SNSの運用 ○保全・活用団体を対象とした研修の実施</p>
------	---

リスク軽減事業



薬剤散布



土壌ほぐし

松原再生事業



圃場(母樹園)※整備中



松林管理アプリ
三保まつしらべ

情報発信事業



SNSでの保全情報発信



松原保全啓発のための研修

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (総事業費の1/2以内)	市債	その他	
当初予算額	348,873	68,291		4,000	276,582
前年度予算額	301,765	63,291		4,000	234,474

目的	多くの市民が参加するイベントを開催し、本市の地域に根付いた魅力を活用することで、賑わいを創出する。また、幅広く情報発信を行うことにより、国内外から多くの人々が訪れ、活発な交流が行われるまちの実現を目指す。
----	--



事業概要	1 静岡まつり 拡充 94,545千円 徳川家康公にちなんだ大御所花見行列、静岡流鏝馬（時期未定）等の開催支援 ○時期 令和4年4月1日（金）～3日（日） ○会場 駿府城公園、市街地周辺 外
	2 安倍川花火大会 拡充 53,758千円 安倍川河川敷での花火大会の開催支援 ○時期 未定 ○会場 安倍川河川敷
	3 清水みなと祭り 拡充 62,004千円 港かっぱれ総おどり、地踊り、マリンフェスタ、海上花火大会などを開催し、港まちの魅力を市内外に向け発信するイベントの開催支援 ○時期 令和4年8月5日（金）～7日（日） ○会場 清水区さつき通り及び日の出埠頭
	4 大道芸ワールドカップin静岡 拡充 108,566千円 大道芸を中心としたパフォーミングアーツのイベントを通じて、本市の文化的な魅力を国内外に幅広く情報発信する本市最大級のイベントの開催支援 ○時期 令和4年11月 ○会場 駿府城公園、静岡市民文化会館、市街地各所 ※1～4のイベントについて交通雑踏警備等を拡充
	5 SHIZUOKA PICNIC GARDEN（春・秋） 拡充 30,000千円 公園の新たな魅力や価値の発見、提案や地産地消による地域経済の活性化を目指すイベントの開催支援 ○時期 令和4年5月上旬、9月中旬～下旬 ○会場 駿府城公園



静岡まつり

写真：市民カメラマン 望月 敏秀
清水みなと祭り

安倍川花火大会

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (総事業費の1/2以内)	市債	その他	
当初予算額	24,500	12,250			12,250
前年度予算額	23,000	13,000			10,000

目的
令和3年度に改修するWebサイトを中心に「まちは劇場」の目指す姿を発信し、市民及び国内外からの来訪者など、多様なユーザーのニーズに応え、共感、共創を生み出し、「選ばれる都市」になるためのブランディングを実施する。



事業概要

1 「まちは劇場」コミュニケーション再構築業務 12,500千円
Webサイトを軸にした国内外への「まちは劇場」の情報発信力強化
○コミュニケーション戦略・企画運営
○Webサイト配信素材制作
○Web・SNS広告

2 「まちは劇場」アートプロジェクト実施業務 12,000千円
「まちは劇場」の目指す姿に共感し、文化芸術の力で「まち」の魅力を引き出し、発信することができる市民を育成する。
○市民主体のラジオ番組制作
○地域資源を活かした公共空間における上演活動

▼「まちは劇場」が目指す「誰もが主役、どこでも劇場」を実現するための取組



ラジオ番組制作の様子
「まちをつかった ひみつの あそび」
※ラジオで放送された台本を
「まち」で上演する仕掛け

「誰もが主役の“まちは劇場”」の世界観を表現する
「まちは劇場」Webサイトのイメージ

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	67,200	20,983			46,217
前年度予算額					

目的

開館から43年が経過した静岡市民文化会館を、本市の文化芸術の拠点として、施設の安全性を高める改修を行うとともに、ホール機能の向上や市民の文化活動の支援機能を付加する再整備を行う。



事業概要

令和3年度に策定した「静岡市民文化会館再整備基本構想・基本計画」に基づき、改修基本設計を実施する。

また、PFIによる整備を進めるため、実施方針や要求水準書の作成等の支援を行うPFIアドバイザー業務を実施する。

1 静岡市民文化会館再整備改修基本設計

- 全体事業費 令和4～5年度 224,000千円
(令和4年度 67,200千円)
- 改修設計、耐震補強計画、耐震補強計画評定

2 静岡市民文化会館再整備PFIアドバイザー業務

- 全体事業費 令和4～6年度 44,000千円
(令和4年度 0千円)
- 契約事務等に係る支援

スケジュール

- ・令和5年度 事業者公募
- ・令和6年度 事業者決定・実施設計 (PFI)
- ・令和7～8年度 工事実施 (PFI) (休館2年間)
- ・令和8年度末 建物工事完了 (予定)
- ・令和9年度末 広場等工事完了 (予定)



大ホール

中ホール

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	31,279				31,279
前年度予算額	31,279				31,279

目的	市内で活動しているオーケストラ等と連携し、学校訪問コンサートやオープンスペースでのコンサートを行い、音楽文化を通じてまちを活性化させることにより、「まちは劇場」を推進する。
----	--



事業概要	<p>プロのオーケストラによるコンサートを開催し、市民が生演奏を気軽に鑑賞できる機会を提供する。</p> <p>1 まちかどコンサート まちなかや身近なオープンスペースにおいて、少人数のアンサンブル等の編成によるコンサートを開催する。 ○実施回数 年42回（アンサンブル月3回～4回×12ヶ月） ○会場 静岡駅北口地下広場、静岡市上下水道局庁舎、清水駅前銀座商店街、かけこまち七間町 等</p> <p>2 学校訪問コンサート プロのオーケストラ（34人、54人編成）が市内小中学校、特別支援学校を訪問し、生演奏を気軽に鑑賞できる機会を提供する。 ○実施回数：8回 ○市内小中学校（6回）、特別支援学校（2回）</p> <p>3 こども園訪問コンサート プロのオーケストラ（アンサンブル）が市内こども園を訪問し、生演奏を気軽に鑑賞できる機会を提供する。 ○実施回数：14回 ○市内公立こども園（8回）、私立こども園（6回）</p> <p>4 親子コンサート 乳幼児を含む親子が入場可能なホールコンサートを開催し、子育て中の親子が気軽に音楽を楽しめる機会を提供する。 ○実施回数：年4回 ○静岡市民文化会館、静岡市清水文化会館、静岡音楽館AOI（2公演）</p>
------	---



【拡充】

将棋・囲碁関連事業

(第81期A級順位戦最終局開催事業
(仮称)しずおか囲碁まつり開催事業)

文化振興課

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	10,500				10,500
前年度予算額	8,000				8,000

目的	本市と徳川家康公及び今川義元公との結びつきを広く市内外へ広め、囲碁と将棋を活用した歴史文化のまちづくりと地域経済の活性化を図る。
----	--



事業概要	<p>1 第81期A級順位戦最終局開催事業費負担金 7,500千円 将棋名人制度を創設した徳川家康公に因み、名人への挑戦者等を決める、トッププロ棋士10名によるリーグ戦「A級順位戦」の最終局を開催する。 ○時期 令和5年2月下旬から3月上旬 3日間 ○会場 浮月楼 ほか ○内容 1日目 開会式※オンライン同時配信 拡充 2日目 対局、大盤解説会、多面指し指導将棋、色紙サイン会 3日目 静岡市長杯こども将棋大会、将棋講座</p> <p>2 (仮称)しずおか囲碁まつり開催事業費負担金 新規 3,000千円 駿府城を中心に囲碁を普及させた徳川家康公及び今川義元公に因み、官民連携による継続的な顕彰事業を開催し、本市の歴史文化の発信と地域活性化を推進する。 ○時期 令和5年2月18日、19日 ○会場 静岡市民文化会館 ○内容 1日目 個人戦、100面打ち、プロ指導碁、入門教室、ペア碁 2日目 市民囲碁大会、個人戦、キッズ囲碁大会、静岡県高等学校囲碁大会、入門教室</p>
------	--

【将 棋】



対 局



大盤解説会



静岡市長杯こども将棋大会

【囲 碁】



開会式



大会の様子

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	3,019			100	2,919
前年度予算額	2,025			100	1,925

目的	<p>1 「静岡市と台北市スポーツ交流に関する覚書」に基づく交流を通じ、選手の競技力や指導者の資質の向上を図るとともに、国際感覚豊かな人材を育成する。</p> <p>2 スポーツ分野の交流を契機とし、多分野の交流へ拡大する。</p>
----	--



事業概要	<p>1 台北市とのスポーツ交流 拡充 1,300千円 ○静岡市と台北市のバスケットボール指導者が相互に訪問し、体育施設視察や実技見学、意見交換会などを実施する。 実施時期：令和4年8月</p> <p>○台北市との間に、両市副市長による定期的な意見交換の場を設置し、スポーツ分野を契機とした様々な分野への交流拡大に向け連携して取り組む。</p> <p>2 台湾関係団体との協議・連携 1,719千円 台湾を訪問し、関係者との協議、施策推進に向けた検討を実施する。</p>
------	---

「静岡市と台北市スポーツ交流に関する覚書」締結式
 (令和3年11月24日オンラインにて実施)



台北マラソン交流



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	10,830				10,830
前年度予算額	11,400				11,400

目的	本市の「心の公共財」である清水エスパルス等に対する市民の応援機運を醸成し、地域の賑わい創出やコミュニティ機能の向上、地域への愛着醸成等を図る。
----	---



事業概要	<p>1 ホームタウンチーム活用推進事業 新規 7,223千円 ○概要 ・ホームゲームで本市の地域資源と連携した誘客促進イベントや啓発品配布を実施（1試合） ・未就園児等を対象としたエスパルススクールコーチによるスポーツ体験イベント等の開催（12回）</p> <p>2 清水エスパルスパブリックビューイング開催事業 2,607千円 ○概要 エスパルスアウェイゲームのパブリックビューイングを開催（1試合） ○会場 東静岡駅北口広場（予定） ○対象 どなたでも（入場無料）</p> <p>3 清水エスパルス選手等派遣事業 1,000千円 ○概要 エスパルスの選手・マスコット等を、地域イベントや学校行事等に派遣（5～10回程度）</p>
------	--

1 ホームタウンチーム活用推進事業イメージ

①ホームゲーム誘客促進イベント

②スポーツ体験イベント



2 パブリックビューイング

3 選手等派遣



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	14,000				14,000
前年度予算額	14,000				14,000

目的	野球大会及び各種イベントの開催により、市民の野球熱の醸成や交流人口の増加を図る。 また、プロ野球地元球団創設構想の推進に向け、関係者との協議・連携等を図る。
----	---



事業概要	1 第4回静岡野球ウィーク開催費助成 5,000千円 ○概要 文部科学大臣杯第14回全日本少年春季軟式野球大会（中学生軟式野球の全国大会）、小中学生向け野球教室ほか ○日時 令和5年3月下旬 ○会場 草薙総合運動場硬式野球場、清水庵原球場ほか
	2 大学野球オータムフレッシュリーグ in静岡開催費助成 2,000千円 ○概要 東京六大学野球リーグ加盟大学等と地元大学・高校との交流試合、未就学児・小中高生向け野球教室ほか ○日時 令和4年11月18日（金）～20日（日） ○会場 草薙総合運動場硬式野球場、清水庵原球場ほか
	3 楽天イーグルス市民交流事業 2,104千円 ○概要 楽天選手OB等が小学校を訪問し、夢の大切さを伝える特別授業、オープン戦への小学生招待事業ほか ○日時 令和5年2～3月上旬（予定） ○会場 市内小学校、草薙総合運動場硬式野球場
	4 野球関係有識者等との協議・連携 4,896千円 ○概要 野球関係有識者等との協議、施策推進に向けた検討・調査の実施ほか

静岡野球ウィーク



楽天イーグルス市民交流事業



大学野球オータムフレッシュリーグ in静岡



【新規】

日本平動物園中型サル舎大規模改修事業

日本平動物園

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	47,300		42,500		4,800
前年度予算額					

目的	園内の施設設備の老朽化を改善し、適切な維持管理をすることで、施設の長寿命化を図るとともに来園者の安全を確保する。
----	--



事業概要	<p>中型サル舎大規模改修工事</p> <p>○整備内容</p> <ul style="list-style-type: none">・屋上防水改修工事・外壁改修工事・内部改修工事（壁、天井、建具）・電気、衛生、換気設備工事一式 <p>○スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none">・令和4年8月～令和5年3月 改修工事・令和5年4月 展示再開
------	---

【園内配置図】



【中型サル舎外観】



環 境 局

環境局 令和4年度当初予算のポイント

＜令和4年度(2022年度)の目指す姿＞第2次環境基本計画(H27～R4)

【基本方針】

人々が豊かな環境を育み 環境が健やかな人を育むまち・静岡

本市の豊かで多様な環境を未来の世代へ継承していくためには、「まちを育んできた多様な環境」と「環境を育む人」が相乗効果を生み、循環を基調とした**環境都市**となる必要がある。

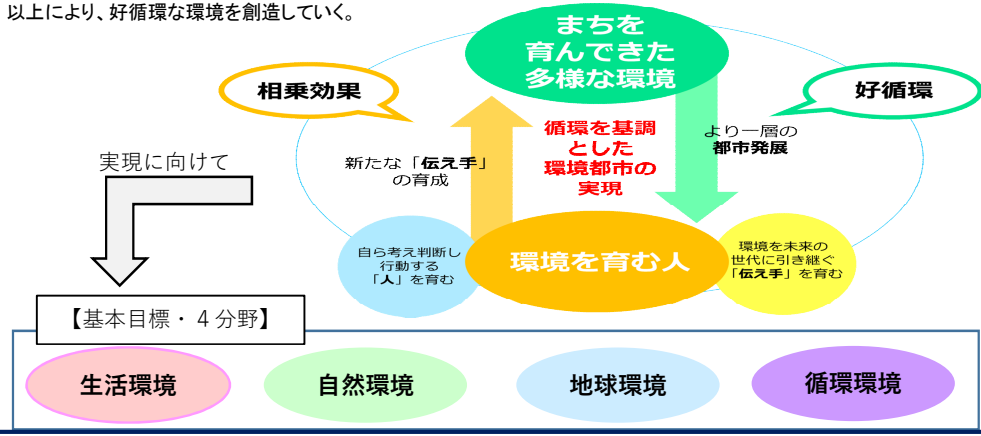
そのためには、本市を交流の場とするあらゆる人々の心理に対し働きかける実践的な「伝える活動」とおとして、

①自ら考え判断し行動する「人」を育む土壌をつくる

②本市の豊かで多様な環境を未来の世代へ繋ぐ「伝え手」を育む

③「伝え手」により育まれた豊かで多様な環境により、より一層の都市の発展や新たな「伝え手」を育む

以上により、好循環な環境を創造していく。



ポストコロナ

2つのLifeを大切に

Life(いのち)を守る
【感染拡大の防止】

Life(暮らし)を取り戻そう
【社会経済活動の維持】

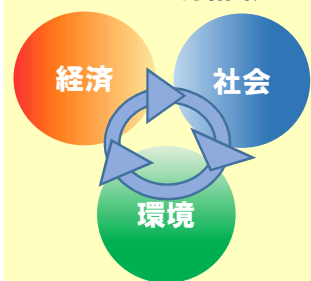
【PCR検査、廃棄物収集運搬・処理体制の維持】



新しい生活様式の実践
【4R推進、ZEH】



SDGs
3側面の好循環



【南アルプス関連事業、放任竹林対策事業、地球温暖化対策関連事業等】



2050年
温室効果ガス
排出実質ゼロ

環境配慮社会への転換

【地球温暖化対策関連事業(再掲)】

【生活環境】

【自然環境】

【地球環境】

【循環環境】

これまでの成果 (実績/目標値)

■環境保健研究所
・新型コロナウイルス感染症流行に伴うPCR検査需要増への対応
【R2年度 検査検体数: 7,150検体】

■衛生的な汚水処理の推進
・合併処理浄化槽の普及による生活排水処理率の着実な向上
【85.2%(R2)/86.9%(R4)】

■南アルプスユネスコエコパークの管理運営
・エコパークの認知度向上
【60%(R2)/54%(R4)】
・南アルプス主要地域の高山植物種数の維持
【13種(R2)/15種(R4)】

■市民参画による里山保全
・里山保全団体の管理する竹林面積の増加
【R2年度20ha】

■気候変動への対応
・温室効果ガス排出量削減【2013年度比 6.8%減(H30)/10%減(R4)】
・市内の再生可能エネルギー導入割合の向上【24%(R2)/24.4%(R4)】
・市清掃工場や市内太陽光発電施設の余剰電力の有効活用【3庁舎RE100の達成】
・COOL CHOICE賛同者数の増加【R2年度 4,152人】

■安定した廃棄物の収集運搬・処理体制の維持
・排出されたごみの適正な全量収集、全量処理の完全実施

■「4R」の推進
・一人一日当たりごみ総排出量の減少
【900g(R2)/860g(R4)】

今後の課題 (問題)

■環境保健研究所
・現行施設の老朽化
・検査機器の増加や大型化に伴う狭隘化
・検査設備、安全設備不足
・新たに発生が懸念される感染症への対応

■衛生的な汚水処理の推進
・生活排水未処理世帯が多数残存
・単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への付け替えニーズの高まり

■南アルプスユネスコエコパークの管理運営
・自然環境保全に向けた担い手の育成
・交流人口の更なる増加

■市民参画による里山保全
・災害時の安全確保、生物多様性低下への対応
・里山保全団体の活動継続の困難性(メンバーの固定化・高齢化)

■気候変動への対応
・総理大臣による2050年カーボンニュートラル宣言
・市長によるゼロカーボンシティ宣言(R2年11月定例会)
・2050年温室効果ガス排出量実質ゼロに向けた取組の加速化

■安定した廃棄物の収集運搬・処理体制の維持
・現最終処分場の残余容量のひっ迫
・清掃工場等施設・設備の劣化・老朽化
・直営労務職員の減

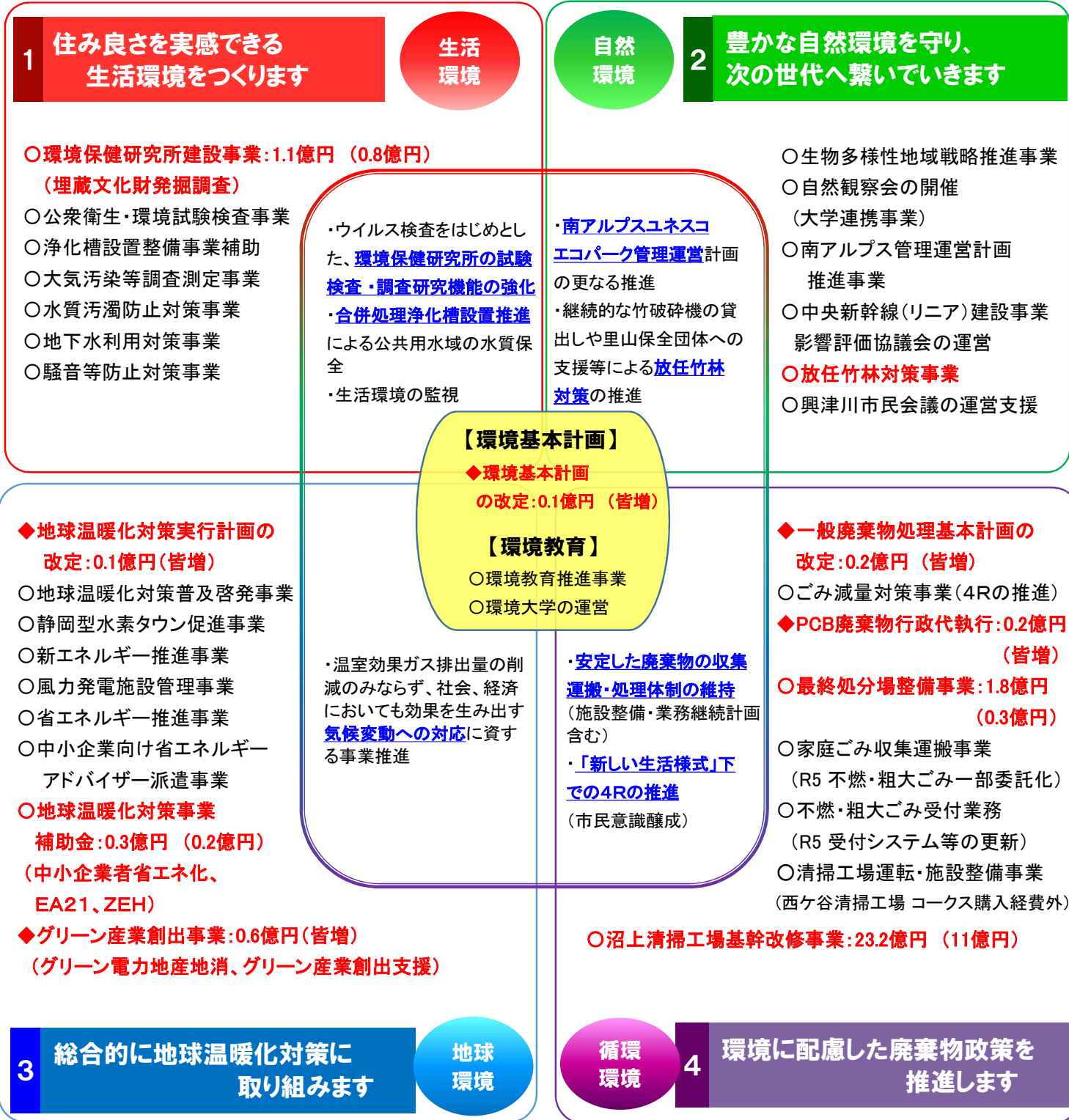
■「4R」の推進
・ごみ排出量の更なる抑制(プラスチックごみ・食品ロス等)



R4環境政策の施策体系



コロナ禍、その先の役割



◆新規事業 ◎拡充事業 ○その他の事業

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	62,000	31,000			31,000
前年度予算額					

目的

2050年温室効果ガス排出量実質ゼロとなる脱炭素社会の実現に向け、経済と環境の好循環に繋がる静岡市発のグリーン産業の創出を図る。

事業概要

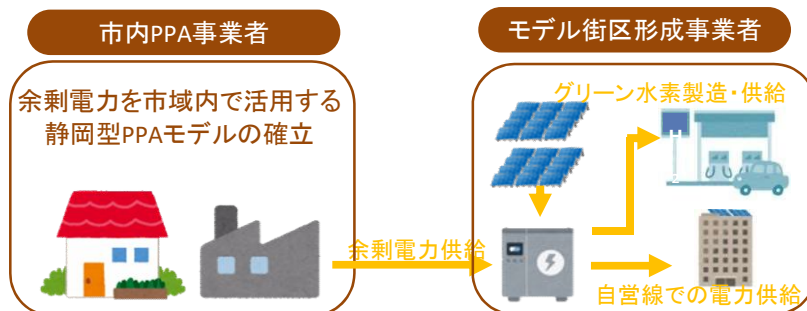
2050年温室効果ガス排出実質ゼロに向けては、民間企業等が行う脱炭素化に繋がる技術革新や新商品開発などの取組が不可欠であるため、その支援を行うことにより民間企業等のグリーンに資する取組を加速化していく。

また、脱炭素社会を実現するためには、地域資源を活かした再生可能エネルギー設備の導入拡大を図るとともに、発電した電力を市域内で消費する先導的モデルを早期に確立していく必要があることから、市域内でのPPA（※）による太陽光発電設備導入拡大に向けた支援を行うことにより、新たな脱炭素ビジネスモデルの確立に繋げる。

（※）PPA…太陽光発電設備の第三者所有モデル

- グリーン産業創出支援事業 12,000千円
○脱炭素への調査、研究、開発等に要する費用の一部を補助
・補助額 調査 上限1,000千円
研究、開発等 上限5,000千円
※ いずれも対象経費の1/2
- グリーン電力地産地消推進事業 50,000千円
○新たな「静岡型PPAモデル」の確立と、再生可能エネルギーを最大限活用するモデル街区を形成するため、（仮称）静岡市グリーン電力地産地消事業推進コンソーシアムへの補助
・補助額 50,000千円

グリーン電力地産地消事業推進コンソーシアム



再生可能エネルギー設備の導入拡大と地産地消を同時に実現！

※ 取組イメージ

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	46,300			14,470	31,830
前年度予算額	25,220			6,000	19,220

目的

「世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて1.5℃未満に抑える」というパリ協定で定められた努力目標の達成を目指し、2050年温室効果ガス排出量実質ゼロに向け、市民や事業者とともに地球温暖化対策を推進する。

事業概要

市民及び事業者の地球温暖化対策を推進するため、ライフスタイルの変革を促すとともに、住宅及び事業所の省エネルギー化を支援する。また、実質ゼロに向け、経済界や市民団体の協力のもと令和3年度に設置した「脱炭素社会に向けた官民連携会議」の意見等を踏まえ、今後の地球温暖化対策の指針となる「第3次静岡市地球温暖化対策実行計画」を策定する。

- 国民運動「COOL CHOICE（クールチョイス）」の普及啓発 8,000千円
○事業者との協働による「COOL CHOICE」のPR実施
- 戸建住宅におけるZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)化支援事業 22,500千円
○静岡市内に戸建のZEHを建築又は新築のZEHを購入、ZEH化に向けた改修を行う個人に対して、建築又は購入、改修に係る費用の一部を補助 ※ 国の補助制度と併用可
・補助額 上限額300千円(対象経費の1/2)
- 中小企業者省エネルギー設備導入事業 3,000千円
○中小企業者が市内の事業所に省エネルギー設備を導入する事業に係る費用の一部を補助
・補助額 上限額200千円(対象経費の1/10)
- 第3次静岡市地球温暖化対策実行計画策定事業 **新規** 12,800千円
○2050年の目指す姿や2030年度までの具体的な取組を定めたロードマップ等を盛り込んだ「第3次静岡市地球温暖化対策実行計画」の策定

【2050年温室効果ガス排出実質ゼロに向けた取組】

<2021年度>	<2022年度>	<2023年度以降>
第2次静岡市地球温暖化対策実行計画で定めた取組の推進 ・COOL CHOICEの普及啓発 ・省エネ設備等の導入支援 等	第3次静岡市地球温暖化対策 実行計画策定	2050年実質ゼロに向け 市民・事業者・行政が連携し 地球温暖化対策を推進
官民連携協議会でのロードマップ 策定に向けた意見等集約		
国の取組等の情報収集		

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	112,000				112,000
前年度予算額	81,968		37,700		44,268

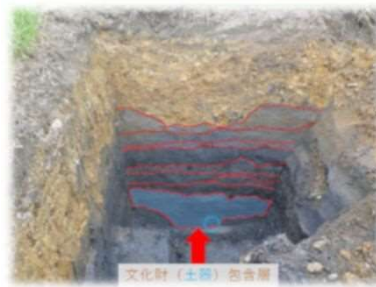
目的	<p>検査機器等の増加に伴う狭あい化及び建築後55年以上経過して老朽化が著しい環境保健研究所を移転整備することにより、検査体制、調査研究機能及び情報発信力の強化を図り、もって市民の生活環境及び健康に関する安全・安心を確保する。</p>
----	---



事業概要	<p>移転用地における事前の試掘調査（平成26年度に実施）により遺構、遺物等（曲金C遺跡）が確認されたため、建設工事着工前に発掘調査を実施し、埋蔵文化財の記録保存を図る。なお、作業は、令和4年度から5年度までの2か年度にわたり実施するため、地方自治法第214条の規定による債務負担行為を設定する。</p> <p>埋蔵文化財発掘調査</p> <p>○施設概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場 所 駿河区曲金二丁目地内（静岡地方気象台東側） ・延床面積 2,200㎡程度 <p>○スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度 地質調査、基本設計・実施設計 令和4年度 埋蔵文化財発掘調査 令和5年度 埋蔵文化財発掘調査（債務負担行為） 建設工事 令和6年度 建設工事（継続）、機器等移設 令和7年度 供用開始（予定）、既設解体工事
------	---



移転計画（小黒一丁目 → 曲金二丁目）



移転用地（曲金C遺跡）試掘調査の様子



新研究所外観図（イメージ）

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/3)	市債	その他	
当初予算額	181,103	17,366	89,300	10,000	64,437
前年度予算額	31,509	4,299			27,210

目的 本市の「沼上最終処分場」は平成2年の埋立開始から30年以上が経過し、残余容量が残り僅かとなっていることから、安定的な廃棄物処理体制の確立を目指し、長期的・安定的に使用できる最終処分場を整備する。



事業概要

- 事業全体について
 - ・事業期間 令和元（2019）年度～令和7（2025）年度
 - ・供用開始 令和8年度
 - ・総事業費 5,940,447千円
 - ・場 所 静岡市葵区北沼上地先
 - ・建設概要 埋立容量 約132,000m³ 埋立面積 約13,000m²
- 令和4年度実施の主な事業について
 - ・施設実施設計 45,500千円
 - ・用地取得 47,010千円
 - ・用地取得に伴う補償 15,000千円
- スケジュール
 - 令和5年度 用地取得、本体工事
 - 令和6～7年度 本体工事
 - 令和8年度 供用開始予定

平成2年（1990）

令和2年（2020）

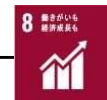
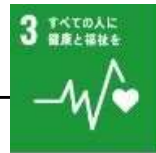


沼上最終処分場の様子

保健福祉長寿局

保健福祉長寿局 当初予算のポイント

令和4年度（2022年度）の目指す姿



～人々ができるだけ長く健康で、安心して暮らし続けられる健康長寿のまちの実現～

新型コロナウイルス感染症の長期に渡る流行下の経験を踏まえ、地域医療体制の確保や保健予防体制の更なる強化、福祉サービスの安定的供給に努め、安心して暮らし続けられる「健康長寿のまち」の実現を目指すと共に、地域に暮らす全ての人々が共に支えあう「共生のまち」づくりを推進します。

令和4年度の主な取組

I 新型コロナウイルスへの対応 4,103,000千円



1 新型コロナウイルスワクチン接種への対応

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止し、市民の生命及び健康を守るため、新型コロナウイルスワクチン接種を実施します。

- ①【継続】新型コロナウイルスワクチン接種事業 2,929,000千円



ワクチン接種のイメージ

2 新型コロナウイルス感染拡大に伴う対応

これまでの感染状況を踏まえ、各種事業を実施し感染拡大防止を図るとともに、患者が適切な医療に結び付くよう体制を整備します。

- ①【継続】新型コロナウイルス感染症対策事業 1,174,000千円
(相談受付、検査の実施、検査費助成、患者等の健康観察、入院医療費の助成等)

II 地域医療体制の確保 490,107千円(うち2月補正40,000千円)



1 救急医療体制等の維持・確保に向けた医療機関への支援

休日や夜間の二次救急医療体制(重症救急患者に対する医療)を確保するとともに、行政からの財政的支援が無い救急医療等を担う公的病院に対し、救急医療体制等の運営に係る経費を助成します。

- ①【臨時】公的病院事業費助成 150,000千円(うち2月補正 40,000千円)
②【継続】病院群輪番制運営費助成 303,577千円



救急車の出動(イメージ)

2 医療水準の向上に資する取組

病院における医療従事者の人材育成への支援や脳梗塞予防に関する実証実験に取り組むことにより、医療水準の向上を目指します。

- ①【新規】清水地域医療人材育成事業費助成 9,000千円
②【継続】清水区脳梗塞予防実証実験事業 27,530千円



Ⅲ 健康づくりの支援 832,063千円



1 健康を維持するための取組

健診・介護等のデータを活用し、後期高齢者に対する集団・個別支援を拡充するとともに、「特定健診」「がん検診」「歯周病検診」の受診率向上対策等を実施します。



がん検診

- ①【**拡充**】(予防)高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施 3,523千円
- ②【**継続**】(早期発見)はつらつスマイル推進事業(歯周病検診等) 15,200千円
- ③【**継続**】(早期発見)がん検診事業 812,170千円

2 心の負担を軽減する取組

コロナ禍で人との接触が制限され、精神的不安が高まる中、多職種が同時に相談を受け、解決に至る糸口を整理すると共に、引き続きつなぎ支援を行うことで、心の健康をサポートします。

生きるを支える
「いきるん」



- ①【**継続**】Life(いのち)を守る自殺予防事業 1,895千円

Ⅳ 高齢者を支える取組 992,593千円



1 生涯活躍を支える取組

元気な高齢者を中心に地域の誰もが生涯活躍できる環境づくりに努めます。

- ①【**継続**】生涯活躍のまち静岡(CCRC)推進事業 16,908千円

2 地域での暮らしを支える取組

地域で身近に相談できる窓口を設置すると共に、高齢者が定期的に集い、レクリエーションや体操を行う場を提供します。



かけこまち七間町

- ①【**継続**】地域包括支援センター運営事業 881,795千円
- ②【**継続**】S型デイサービス事業 67,689千円

3 認知症の方を支える体制づくり

「かけこまち七間町」を拠点に普及・啓発に取り組むと共に、収集したデータを基に認知症の手前の段階の改善を試みる、静岡県MCI改善プログラムの研究に新たに取り組めます。

※MCIとは、軽度認知障害で認知症の
一歩手前の状態を言う。
(Mild Cognitive Impairment)

- ①【**拡充**】認知症ケア推進体制整備事業 26,201千円

Ⅴ 共に支え合う体制づくり 589,348千円



1 地域での暮らしのサポート

生活に困難を抱える方に寄り添い、地域での暮らしを支えます。

- ①【**拡充**】成年後見制度利用促進事業 58,241千円

2 民間による福祉施設の整備及び防災・減災対策を支援

障害者福祉施設(医療型児童発達支援センター、生活介護事業所)、及びサテライト型介護老人保健施設2施設の整備にかかる経費を助成するとともに、高齢者施設等の防災・減災対策に係る経費を助成します。



成年後見支援センター

- ①【**継続**】障害者福祉施設等整備事業費助成 206,510千円
- ②【**新規**】介護老人保健施設整備事業費助成 160,662千円
- ③【**拡充**】高齢者施設等設備整備事業費助成 163,935千円



医療型児童発達支援センター
完成イメージ図

(千円)

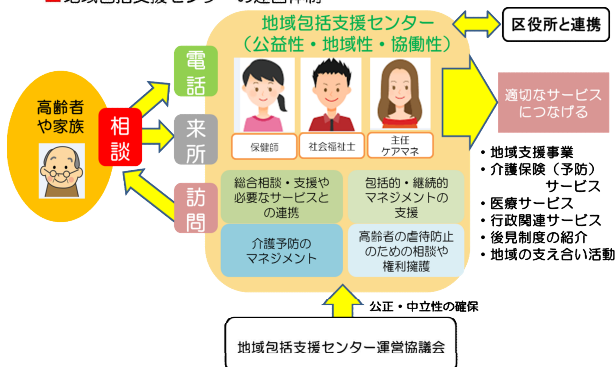
	事業費	特定財源			一般会計 繰入金
		国・県支出金 (国25%, 県12.5%ほか)	市債	その他	
当初予算額	997,752	576,202		229,483	192,067
前年度予算額	1,016,601	587,086		233,820	195,695

目的	医療、介護、地域住民の連携による支援体制を強化することにより、高齢者が医療・介護が必要な状態になっても、住み慣れた自宅ですっと最期まで安心して暮らせる体制を構築する。
----	---



事業概要	1 地域ケア会議の開催 2,693千円 ○高齢者の自立支援・重度化防止のため、多職種による地域ケア会議を活用して様々な社会資源が有機的に連携できる環境を整備する。
	2 在宅医療・介護連携推進事業 6,344千円 ○在宅医療・介護連携協議会・部会の開催 ・在宅医療・介護連携推進のため、関係者で構成する協議会と部会を開催し、事業に係る協議と検証を行う。 ○専門職及び市民を対象とした研修等 ○在宅医療・介護連携に係る実態調査の実施 ・今後の事業方針の決定、健康長寿のまちづくり計画検証のため、在宅医療・介護連携に係る医療・介護事業所を対象とした実態調査を実施する。
	3 地域包括支援センター運営事業 881,795千円 ○地域包括支援センター(愛称 まるけあ)の運営 市内30の日常生活圏域において、29箇所のセンター及び2窓口(井川、由比)体制で高齢者やその家族を支援
	4 生活支援体制の整備 106,920千円 ○生活支援コーディネーターの配置 地域において、ボランティア等による高齢者の生活支援や見守りの体制づくりを行う ○生活支援体制整備のための協議体の設置 ○生活援助型(基準緩和型)訪問サービス従事者養成研修

■地域包括支援センターの運営体制



(「自宅ですっと」ミーティングの様子)

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源、 一般会計 繰入金
		国・県支出金 (国25%, 県12.5%ほか)	市債	その他	
当初予算額	26,201	10,758		6,711	8,732
前年度予算額	24,541	13,100		5,642	5,799

目的
認知症になっても、希望を持って暮らし続けることができるよう、産学官民が連携して、認知症本人やご家族の支援の充実と全世代に向けた認知症の理解促進を図る体制を構築する。

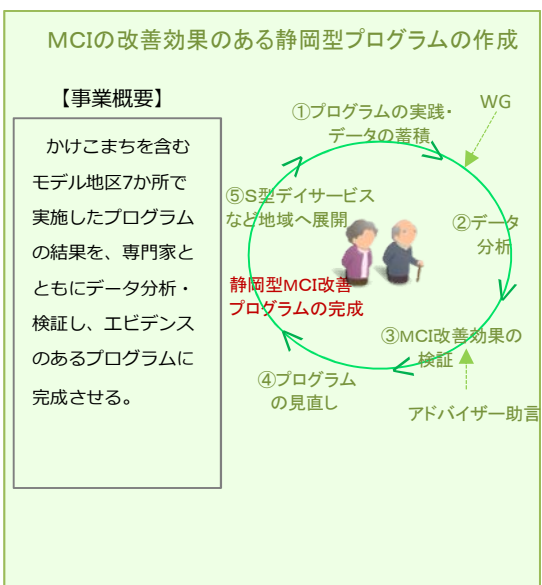
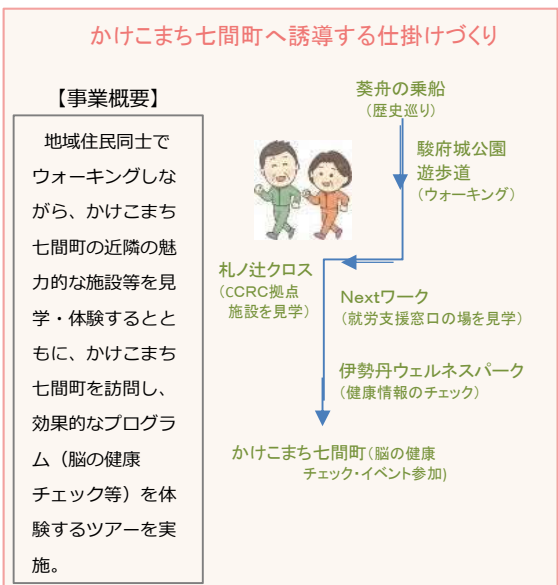


事業概要

1	認知症ケア推進センター“かけこまち七間町”の運営 ○センターの管理運営、専門職配置、認知症チェック等の実施 ○リモートによる関係機関との連携、訪問指導	16,886千円
2	かけこまち七間町の魅力・発信事業 新規	4,829千円
3	静岡型MCI改善プログラム研究事業 新規	4,000千円
4	アドバイザー講師による助言 ○学識者による、認知症に関する専門的観点や科学的見地からの助言	150千円
5	チームオレンジ運営支援 ○認知症サポーター等による地域サポート体制モデル事業を3地区で実施	107千円
6	若年性認知症施策推進事業 ○若年性コーディネーターの配置	229千円

新 かけこまち七間町の魅力発信・強化事業

新 静岡型MCI改善プログラム研究事業



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源、 一般会計 繰入金
		国・県支出金 (国1/2、県1/4ほか)	市債	その他	
当初予算額	58,241	26,850		5,018	26,373
前年度予算額	49,643	21,710		4,350	23,583

目的	一人暮らしの高齢者や認知症高齢者が増加するなか、市民が認知症などにより判断能力が低下しても地域で安心して自分らしく生活を営めるよう、市が関係団体と連携し、成年後見制度を必要とする人を利用につなげる支援体制を構築する。
----	--



事業概要	1 成年後見支援センターの運営 25,861千円 ○相談支援：一般相談、専門相談 ○広報・研修：講演会、研修会 ○市民後見人の養成・支援 ・市民後見人候補者及び市民後見人の活動支援 ・第3期市民後見人養成研修（基礎編）の実施 ○受任者調整会議 新規 最も適切な後見人の選任に向け、申立て前に専門家を交えて協議を行う。
	2 成年後見制度利用促進協議会等の運営等 352千円 ○弁護士等専門職団体、学識経験者、家庭裁判所職員等で構成する協議会の開催等
	3 成年後見制度利用支援事業 32,028千円 ○市長による後見制度の申立の実施 ○資力のない被後見人等への後見報酬の助成

○相談支援



○市民後見人の養成・支援



○市民向け講演会



成年後見制度とは

判断能力が低下した方について、その方の判断能力に合わせ、家庭裁判所によって選任された成年後見人、保佐人、補助人が、本人の心身や生活の状況に配慮しながら、本人に代わって財産を管理したり、必要な契約を結んだりして、本人の生活を支えていくものです。

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	16,908				16,908
前年度予算額	17,926				17,926

目的	アクティブシニアを中心に、地域の誰もが、健康でアクティブな生活や社会活動への参加などを通じて、生涯活躍できる環境づくりに取り組み、これにより住み慣れた地域でできる限り健康で自分らしく暮らすことができる「健康長寿のまち」を推進する。
----	---



事業概要	市内2地区において、「健康長寿のまち」の先進的なモデル地域を一層推進する。 1 駿河共生地区 10,322千円 コンセプト：交流・共生で「健康長寿のまちづくり」 ○静岡市地域福祉共生センター「みなくる」を中心に、次の事業を推進 ・地域福祉の推進、共生、移住支援事業 ・民設民営の地域・多世代交流型住宅との連携 2 葵おまち地区 5,570千円 コンセプト：「健康長寿なライフスタイル」 ～大人のおまち暮らし～ブランド化 ○葵区呉服町の再開発ビル「札の辻クロス」を中心に、次の事業を推進 ・お試し移住の機会を提供する葵おまち暮らし体験事業 ・移住者及び地域住民との地域交流を推進する事業 3 2地区共通 1,016千円 ○生涯活躍のまち静岡推進協議会開催、事業PR等
------	---

駿河共生地区



地域交流拠点「みなくる」

葵おまち地区



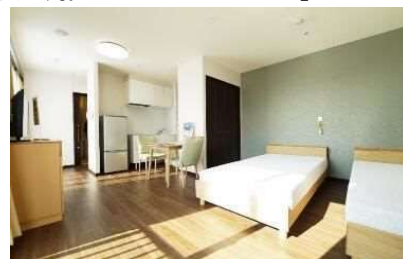
地域交流拠点「札の辻クロス」



地域・多世代交流型住宅
「ココファン静岡南八幡」



地域交流拠点での活動の様子



葵おまち暮らし体験用居室

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	3,523			3,523	
前年度予算額	500			500	

目的
 団塊の世代が後期高齢者に移行していくことを見据え、医療・健診・介護等のデータから抽出した健康課題をもとに、生活習慣病等の発症や重症化の予防及び心身機能の低下の防止を図る。

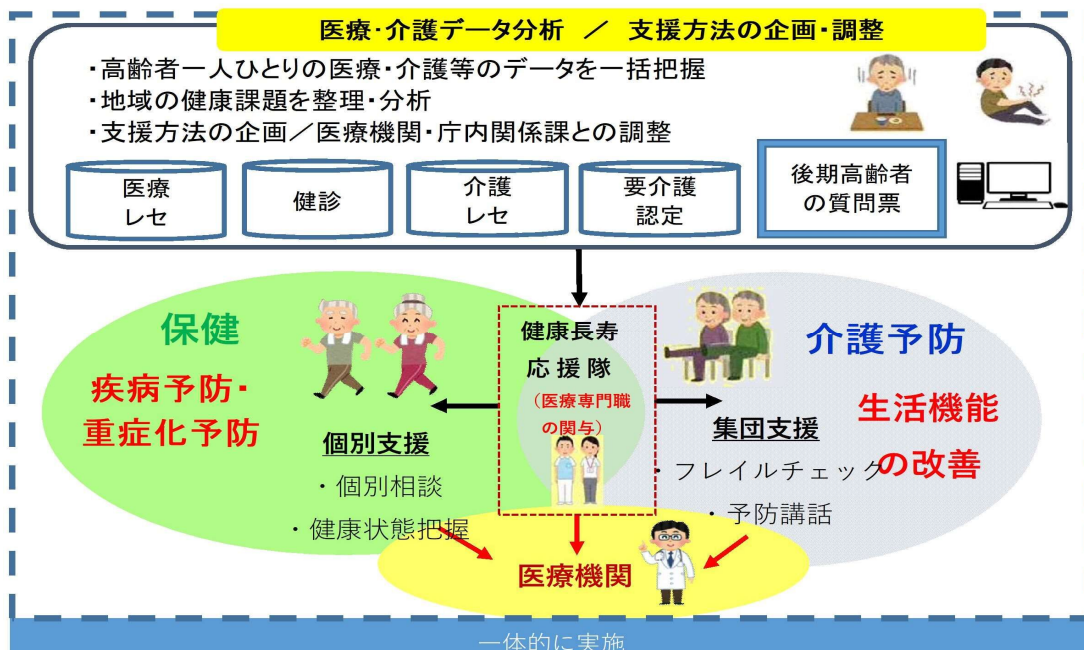


事業概要
 後期高齢者の健康課題を、医療・健診・介護等のデータをもとに把握し、保健師、栄養士、歯科衛生士等の医療専門職が個々の健康状態の気づきを促したり、生活習慣病等の発症や重症化予防を目的とする保健事業や介護予防を目的とした集団活動につなぐ事業を一体的に実施する。

1 個別支援 拡充 2,197千円
 ○低栄養防止・生活習慣病等の重症化予防の相談や自宅への訪問等の実施
 ○健康状態が不明な高齢者の状態把握及び必要なサービスへのつなぎ
 (対象とする日常生活圏域：12圏域→18圏域)

2 集団支援 拡充 1,326千円
 高齢者の集まる「通いの場」等で医療専門職による地域の健康課題に応じたフレイル予防健康教育、健康相談の実施
 (対象とする日常生活圏域：3圏域→10圏域)

※日常生活圏域：地理的条件、人口、交通情報などを勘案して定める区域。静岡市内には全30圏域を設定。



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/3)	市債	その他	
当初予算額	15,200	744			14,456
前年度予算額	8,874	572			8,302

目的
循環器や呼吸器など多くの臓器で慢性疾患の危険因子となり得る歯周病の対策をはじめ、歯と口の健康づくりを推進することにより、「健康長寿のまち」実現を目指す



事業概要		
1	トリプル健診 ○特定健診・がん検診を同時受診した者に歯周病検診の自己負担金(600円)を無料にするクーポン券を配布 ○特定健診・がん検診・歯周病検診の同時受診が可能なトリプル健診の実施	14,922千円
2	オーラルフレイル普及啓発、研修会 ○令和3年度実施のアンケート調査結果をもとにした啓発リーフレットによる歯科医院、地域包括支援センター、保険者等への啓発 ○介護従事者等を対象としたオーラルフレイル予防及び摂食嚥下に関する研修会の実施	90千円
3	中小事業所における歯科健診等の促進 かかりつけ歯科医に繋がる取組として、中小事業所に歯科医師・歯科衛生士を派遣	188千円

はつらつスマイル推進事業

静岡市歯と口腔の健康づくり推進計画～はつらつスマイルプラン～(令和3～8年度)

「健康長寿のまち」実現に向けた「歯と口の健康づくり」

オーラルフレイル研修会



トリプル健診



中小事業所における
歯科健診



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (2/3)	市債	その他	
当初予算額	13,103	3,855			9,248
前年度予算額	11,927	8,944			2,983

目的
 医療的ケア児等が抱える様々な課題に対し、専門性の高い相談に対応できるコーディネーターを配置することにより、保健、医療、福祉、教育等のサービスを総合的に調整し、関連分野が連携しながら、医療的ケア児等と家族を支援する体制を整備する。



事業概要

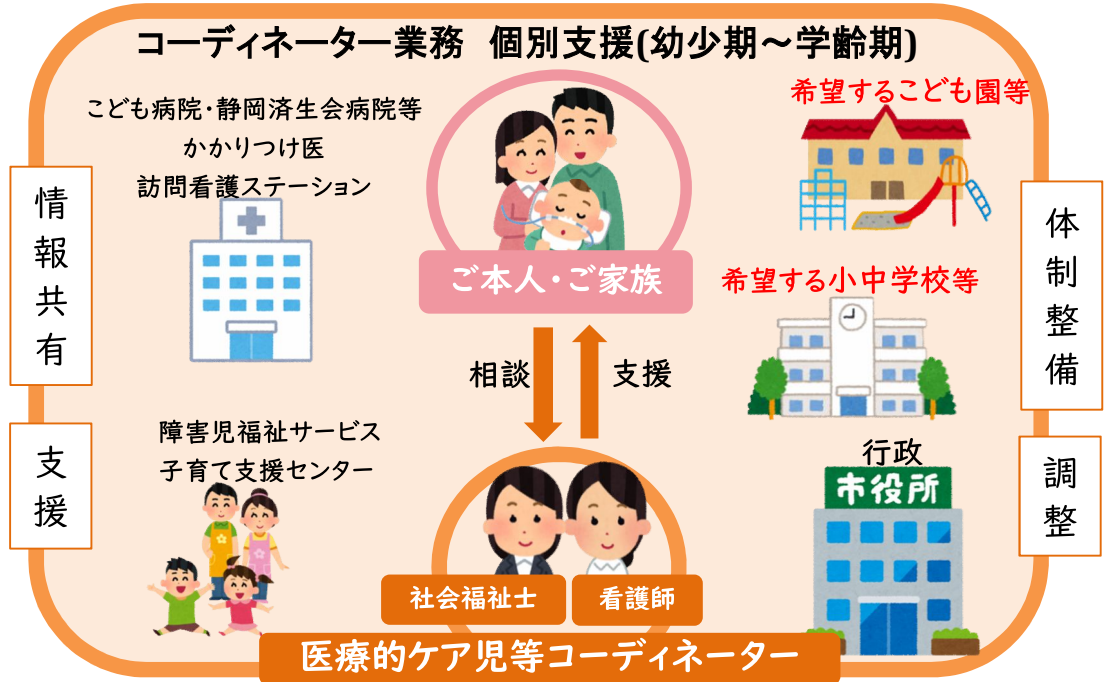
医療的ケア児等コーディネーター2名の配置

1 役割 幼少期から成人期にかけてのライフステージに応じた支援

- 退院後の在宅生活のために地域資源と医療機関との調整
- 希望するこども園や学校への入園入学のために保護者とこども園・学校等関係機関との調整
- 災害等の緊急時対応のため生活介護事業所との連携強化等
⇒本人・家族に寄り添った支援の実施

2 配置 医療職及び福祉職 2名

※医療的ケア児等とは
 人工呼吸器の装着など日常生活を営むために医療を要する状態にある医療的ケア児及び、重度の身体障害と重度の知的障害が重複した重症心身障害児者



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (10/10、2/3)	市債	その他	
当初予算額	367,172	298,335	55,000		13,837
前年度予算額	35,400	23,600	9,400		2,400

目的

社会福祉法人等が実施する施設整備に要する費用の一部を助成することにより、施設入所者等の福祉の向上を図る。



事業概要

- 1 障害者福祉施設等整備事業費補助金 206,510千円
 静岡市障がい者共生のまちづくり計画において、社会福祉施設等整備事業費補助金を活用して優先整備を行う対象として位置付けている施設を整備する法人に対して助成を行う。
 ○交付先 医療法人社団As Natural
 施設名 Ao（医療型児童発達支援センター（創設））
 ○交付先 社会福祉法人 寿康会
 施設名 ライラックの園（生活介護事業所（建替え））
- 【令和3年度2月補正対応】 43,056千円
 ○交付先 社会福祉法人 玉柏会
 施設名 穴原荘（障害者支援施設（改修））
 ○交付先 株式会社 イノウエ
 施設名 第2あげは
 （放課後等デイサービス事業所（建替え））
- 2 介護老人保健施設整備事業費補助金 **新規** 160,662千円
 第8期介護保険事業計画に基づき、公募により選定されたサテライト型介護老人保健施設2施設について、地域医療介護総合確保基金（介護分）を活用し、施設整備と備品購入費の助成を行い、計画期間内における適正な新規開設を支援する。
 ○交付先 医療法人社団 松英会
 施設名 （仮称）サテライト介護老人保健施設あみ
 ○交付先 医療法人 杏林会
 施設名 （仮称）リハビリパーク駿府
 サテライト型小規模介護老人保健施設



医療型児童発達支援センター完成イメージ図

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (10/10、2/3)	市債	その他	
当初予算額	163,935	140,210			23,725
前年度予算額	12,000	8,000			4,000

目的	市内の高齢者施設等に対し、非常用自家発電設備、止水板の設置及び避難機能の向上等に係る整備費用を助成することで、施設における更なる防災、減災対策を推進し、大規模災害時においても事業を継続できる体制を構築する。
----	---



事業概要	<p>大規模災害時において事業を継続できる体制を構築するため、市内高齢者施設等に対し、非常用自家発電設備、止水板の設置及び避難機能の向上等に係る整備費用を助成する。</p> <p>1 非常用自家発電設備の整備 63,675千円 ・ 交付先 特別養護老人ホーム 2 施設 介護老人保健施設 2 施設</p> <p>2 水害対策強化 新規 77,070千円 ○避難用エレベーターや止水板の設置等 ・ 交付先 介護老人保健施設 1 施設 共同生活介護施設 5 施設 居宅介護施設 3 施設 通所介護施設 1 施設</p> <p>3 大規模修繕 新規 23,190千円 ○避難経路の整備等 ・ 交付先 居宅介護施設 3 施設</p>
------	---

非常用自家発電設備(イメージ)



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (10/10, 2/3)	市債	その他	
当初予算額	24,900	19,600			5,300
前年度予算額	22,500	22,500			

目的
高齢者や障がいのある方の「生命(いのち)のLife」を守るため、介護施設・障がい児者施設等における新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策や必要なサービスを継続して提供できるよう支援体制を構築する。



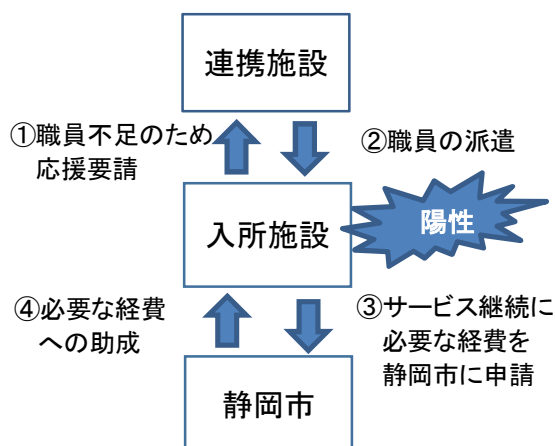
事業概要	内容	金額
	1 介護施設における感染拡大防止対策支援 簡易陰圧装置設置における経費の助成 ○交付先 グループホーム 4施設 小規模有料老人ホーム 1施設	9,000千円
	2 障がい児者施設におけるサービス継続支援 感染機会を減らしつつ、サービスを継続して提供するために必要な応援職員の人件費や施設消毒などの経費を助成 (介護施設においては静岡県で実施予定) ○交付先 障害福祉サービス等事業所 49施設	15,900千円
	【令和3年度2月補正対応】 障害福祉分野におけるロボットやICT導入、就労系障害福祉サービス事業所における新たな生産活動への転換等に必要な経費を助成 ○ロボット等導入支援事業費補助金 交付先 障害者支援施設 2施設 ○ICT導入モデル事業費補助金 交付先 障害福祉サービス等事業所 10施設 ○生産活動拡大支援事業費補助金 交付先 就労系障害福祉サービス事業所 14施設	12,500千円

1 感染拡大防止対策支援事業
(イメージ)



簡易陰圧装置

2 サービス継続支援事業



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (3/4、1/2)	市債	その他	
当初予算額	1,174,000	623,202			550,798
前年度予算額	343,555	182,722			160,833

目的	新型コロナウイルス感染症について、医療費助成及び発生動向調査を行い、対象者を適切な検査及び治療へ結びつけることにより、まん延防止を図る。
----	--



事業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 感染症患者医療扶助費 <ul style="list-style-type: none"> ○事業概要 新型コロナウイルス感染症の勧告入院に関し、入院医療費自己負担額を助成する。 2 受診・相談センター等支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ○事業概要 かかりつけ医のない有症状者等への医療機関紹介、濃厚接触者の健康観察等を行う。 3 行政検査自己負担額助成事業 <ul style="list-style-type: none"> ○事業概要 新型コロナウイルス感染症行政検査（PCR検査、抗原検査）について、自己負担額を助成する。 ○対象者 医師が総合的に判断した結果、新型コロナウイルスへの感染が疑われる方 など 4 PCRセンター運営事業 <ul style="list-style-type: none"> ○事業概要 検体採取を行うPCRセンターを運営する。 ○対象者 医師が総合的に判断した結果、新型コロナウイルスへの感染が疑われる方、濃厚接触者 など 5 患者等搬送事業 <ul style="list-style-type: none"> ○事業概要 新型コロナウイルス感染疑い者及び患者を搬送する。 6 PCR検査外部委託事業 <ul style="list-style-type: none"> ○事業概要 外部検査機関へPCR検査を委託する。 7 在宅ドクターサポート事業 <ul style="list-style-type: none"> ○事業概要 医師等が自宅療養者等の健康管理を行う。 ○対象者 自宅療養する新型コロナウイルス感染症患者及びその同居家族 8 入院勧告等通知事務及び連絡体制整備事業 <ul style="list-style-type: none"> ○事業概要 新型コロナウイルス感染症患者あてに就業制限・入院勧告を通知するとともに連絡体制を整備する。
------	---



静岡市PCRセンター
(ドライブスルー)



PCR検査



新型コロナウイルスワクチン接種事業

新型コロナウイルス感染症対策課
(保健予防課)

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (10/10)	臨時交付金	市債	
当初予算額	2,929,000	2,922,700	6,300		
前年度予算額	2,387,000	2,387,000			

目的	新型コロナウイルス感染症のワクチン接種を実施することで、感染拡大を防止し、市民の生命及び健康を守る。
----	--



事業概要	<p>新型コロナウイルスのワクチン接種を進める。</p> <p>1 3回目接種の実施 2,506,420千円 接種規模 22.44万人 (22.44万回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①医療機関における接種 約300の医療機関 ②集団会場における接種 クーポール会館、アピタ静岡及び清水マリビル等 ③巡回接種 山間地等 ④職域接種 職域接種を希望する企業等 <p>2 1・2回目接種の継続 (12歳以上) 272,117千円 接種規模 1.5万人 (3.0万回) 集団接種会場 (静岡モディ等) における接種</p> <p>3 小児 (5~11歳) 接種の実施 150,463千円 接種規模 2.8万人 (5.6万回) 医療機関における接種</p>
------	---



ワクチン接種(イメージ)

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (2/3)	市債	その他	
当初予算額	413,577	18,173			395,404
前年度予算額	353,226	18,200			335,026

目的	新型コロナウイルス感染症対応を行う医療機関や、救急医療体制等の維持・確保に向けた医療機関への支援を行うことにより、地域医療体制の確保を図る。
----	--



事業概要	二次救急医療体制等の維持・確保に向けた医療機関への支援 ○公的病院事業費助成 110,000千円 公的病院における救急医療体制等の維持に要する経費を助成 ○病院群輪番制運営費助成 303,577千円 休日及び夜間の二次救急医療を担う病院が実施する病院群輪番制運営事業に対する助成 【令和3年度2月補正対応】 新型コロナウイルス感染症対応を行う医療機関への支援 ○公的病院事業費助成 40,000千円 発熱患者等受入に係るかかり増し経費に対する助成
------	---

《救急医療を行う医療機関》



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2、1/3)	市債	その他	
当初予算額	821,769	5,231		2,584	813,954
前年度予算額	826,362	5,777		931	819,654

目的
 がんのリスクを高める喫煙の対策やがん検診の実施により、がん予防と早期発見を推進するとともに、たとえがんになっても暮らしやすい社会の実現を目指し、ニーズに沿ったサービス等に係る経費の一部を助成し、がん患者等の支援の充実を図る。



事業概要	内容	金額
	1 がんの予防と早期発見の推進(健康づくり推進課)	
	○禁煙支援事業	599千円
	対象 医療機関で禁煙治療を完了した20歳以上の市民	
	対象人数 50名	
	対象経費 禁煙治療に要した経費(上限1万円)	
	○がん検診事業	805,370千円
	各種がん検診及びがん検診受診率向上に向けた施策を実施	
	○胃がん検診制度の見直しに係る準備経費	6,800千円
	胃がん検診制度を令和5年度より国の指針にあわせ50歳から隔年受診に移行。これに伴い35歳～49歳の方に胃がんリスク検査と内視鏡検査をセットとする検診を導入するための経費	
	2 がん患者等の支援(保健衛生医療課)	
○若年がん患者等生殖機能温存治療費助成	450千円	
対象 がん等治療により生殖機能が低下し、又は失われる可能性があるとして診断された43歳未満の者		
対象経費 精子、卵子等の採取から凍結保存するまでの一連の医療行為に係る経費		
○がん患者補整具購入費助成	8,450千円	
対象 がん治療にて脱毛、乳房を切除した者		
対象経費 補整具の購入に要する費用		
○若年がん患者等在宅療養生活費助成	100千円	
対象 在宅療養の40歳未満の末期がん患者		
対象経費 訪問介護・訪問入浴介護や福祉用具貸与、福祉用具購入に要する費用		

がん対策推進事業

静岡市がん対策推進計画(令和3年3月策定)

《禁煙支援事業》



《胃がん検診》



《がん患者等の支援》



「ふたりにひとり」をみんなで支える静岡市

【新規】

清水地域医療人材育成事業費助成

保健衛生医療課

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	9,000			9,000	
前年度予算額					

目的	医療体制が逼迫する清水地域において、公的医療機関等の医師・看護師等の医療従事者の研究・研修による専門性向上等を支援することで、医療人材の育成を行い、清水地域全体の医療の向上を図る。
----	--



事業概要	<p>清水地域の公的医療機関等が実施する医療人材育成事業に対する支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○補助対象事業 対象病院が実施する医療従事者の専門性を高める医療人材育成事業のうち、新規又は拡充して実施するもの <ul style="list-style-type: none"> ・医師の研修参加や学会参加 ・看護師の研修参加 ・医学書の購入 ・その他医療人材の育成に関するもの ○対象病院 清水病院、清水厚生病院、桜ヶ丘病院 ○補助限度額 1病院あたり3,000千円 ○補助率 8/10 ○財源 静岡市清水地域医療人材育成鈴与基金
------	--

《研修(イメージ)》



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	1,895	947			948
前年度予算額	2,257	1,128			1,129

目的
 新型コロナウイルス感染症の影響により生活や心身の健康等、今まで以上に市民のストレスや不安が高まる中、多問題、複雑困難な課題を抱える市民やそれを支援する支援者を対象に、多職種によるワンストップ相談体制を構築し、自殺の未然防止を図る。



事業概要

ゲートキーパーや関係機関との連携により、複雑困難な問題を抱える人又はその支援者を、多職種で対応するワンストップ相談会へつなげ、問題の整理及び解決の方向性を示し、関係機関へのつなぎ支援を行う。
 令和4年度は専門職種を拡充し、更にフォローアップ支援を充実する。

1 多職種によるワンストップオンライン又は対面相談会の開催
 対 象：複雑困難な問題を抱える市民またはその支援者
 開催回数：24回（月2回1回2枠を予定）
 申込先：精神保健福祉課・こころの健康センター
 専門職：医師、弁護士、社会保険労務士、精神保健福祉士、公認心理師
 開催場所：保健所、こころの健康センター等
 ※相談者は来所し、上記の専門家がオンライン等でつながり、アドバイスをを行う。

2 ゲートキーパー養成研修の継続実施
 ※ゲートキーパー：自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応を図ることができる人。「命の門番」
 対 象：ケアマネージャー、民生委員、企業関係者等



子ども未来局

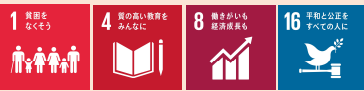
令和4年度（2022年度）の目指す姿

「静岡市子ども・子育て・若者プラン」の推進

子どもの育ちを市民が一体となって支え、人とのつながりの中で、すすんで社会に参画する若者をはぐくむために、“子ども・若者支援”、“子育て支援”、“地域による支援”の3つの視点に立ち、各事業を推進します。

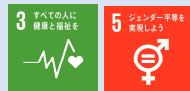
● 子ども・若者支援

すべての子ども・若者の成長を支援するまちの実現



● 子育て支援

子育てに喜びや生きがいを感じる事ができるまちの実現



● 地域による支援

地域全体で子ども・子育て・若者を支援するまちの実現



令和4年度の主な取組

凡例 【●】:子ども・若者支援 【●】:子育て支援 【●】:地域による支援

妊娠・出産期から青年期までの「切れ目のない」支援

1 妊娠・出産期 ～ 安心して産み育てることができるように ～

◆ 妊娠前から出産後までの支援

- 不妊治療費助成【●】[継続] 381,347千円
- 妊産婦総合対策事業【●】[新規] 22,200千円
 - PCR検査を希望する妊婦への検査費用の助成
- 産婦健康診査事業【●】[継続] 39,841千円
- 産後ケア事業【●】[拡充] 21,707千円
 - 対象期間を生後4か月未満から生後1年未満へ拡大
- ママケアデイサービス事業【●】[継続] 6,453千円



2 乳幼児期 ～ 健やかな育ちを支えるために ～

◆ 保育の担い手の確保、保育環境の向上

- 保育士確保対策事業【●】【●】[拡充] 12,119千円
 - 保育の量的拡大に伴う保育人材確保のためのPR冊子を作成
- 私立こども園・保育所等運営費補助【●】【●】[継続] 1,692,429千円
- 私立こども園・保育所等における感染症拡大防止対策事業費助成【●】【●】[新規] 77,650千円
- 保育士等の処遇改善【●】【●】[新規] 444,264千円【うち2月補正 80,977千円】
 - こども園等に勤務する職員に対する賃金改善

◆ 待機児童対策

- 私立認定こども園・保育所整備【●】【●】[継続] 1,053,928千円
 - 新たに142人分の保育の受皿を確保

◆ 発達の早期支援

- 発達早期支援事業【●】[継続] 6,636千円



3 学童期 ～ 健全な育ちと自立を支えるために ～

◆放課後児童クラブの待機児童解消、運営の改善

- 放課後児童クラブの運営【●】【●】【●】[拡充] 1,246,971千円
 - 全83クラブの運営、支援員の賃金改善
 - 市内全域での保護者負担金のコンビニ収納対応等に向けたシステム構築
- 放課後児童クラブの整備【●】【●】【●】[継続] 15,800千円
 - 2クラブの整備（新たに35人分の受皿を確保）
- 民間放課後児童クラブ運営費補助【●】【●】【●】[拡充] 80,574千円
 - 民間児童クラブに係る運営について補助対象クラブ数を拡大



◆児童の健全な遊び場◆

- 児童館改修事業【●】【●】【●】[継続] 14,200千円

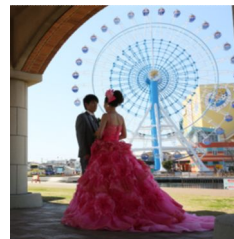
4 青年期 ～ 新しい世代につなげるために ～

◆地域に根付いた若者の育成

- 成人の日行事【●】[継続] 9,700千円

◆結婚への支援

- しずおかエンジェルプロジェクト【●】【●】【●】[拡充] 1,410千円
 - 県との連携により広域的な取組を実施
- 結婚新生活支援補助金【●】[拡充] 17,550千円
 - 補助対象経費を拡充し、新婚世帯への支援を実施



困難を有する子ども・若者への支援 ～すべての育ちを支えるために～

◆インクルーシブ保育の推進

- 私立こども園・保育所等特別支援保育事業【●】【●】[拡充] 248,526千円
 - 医療的ケア児の受入れに係る看護師配置への支援拡充、アレルギー児への除去食対応支援拡充
- 市立こども園医療的ケア児受入れ事業【●】【●】[継続] 14,613千円
- 放課後児童クラブ医療的ケア児受入れ事業【●】【●】[新規] 1,710千円
 - 新たに医療的ケア児を受け入れるため、看護師による医療的ケアを実施



◆要保護児童への支援

- 里親家庭支援（里親委託の推進）【●】[拡充] 28,292千円
 - 特別養子縁組成立後の元里親に対する継続的な支援を実施

◆不登校・ひきこもり対策

- 適応指導教室の運営【●】[継続] 11,792千円
- ひきこもり対策の推進【●】【●】[継続] 27,842千円

◆子どもの居場所への支援

- 子どもの学習・生活支援【●】【●】[継続] 21,184千円
- 子ども食堂交流・居場所づくり支援【●】【●】[継続] 166千円



情報発信

- 子育てしやすいまちのPR【●】[継続] 4,051千円
 - 子育てキャッチフレーズ“あったかすずおか のほほん子育て ちよどいいしずおか”のPR
 - 移住希望者向けセミナーの開催（*企画課と連携して実施）
 - 子育てハンドブック、子育て応援総合サイトちやむしずおか、子ども未来局SNS(Facebook、Twitter)からの情報発信



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	28,160	13,683		792	13,685
前年度予算額	20,092	9,634		822	9,636

目的

安定した育児環境の確保と母子の孤立感の解消を図り、もう一人産みたくなる環境を整えるため、助産師等による産後の母体の回復に向けたケアや育児指導などのサービスの提供（産後ケア事業）、相談支援・交流・休息の場の一体的な提供（ママケアデイサービス事業）を行う。

事業概要

- 産後ケア事業 21,707千円
 - 内容 産後の母親の心身のケアや育児に関する相談支援を助産師が提供する事業（通年実施）
 - 対象
 - ・生後1年未満の乳児とその母親で、産後の母体の回復や育児等に関しての不安が強い方
 - ・対象期間を生後4か月から生後1年未満へ拡大 **拡充**
 - 実施種別（1日あたり利用者負担額）
 - ・宿泊型 助産所等に宿泊（8,300円）
 - ・日帰り型 助産所等に通所
 - 【相談と休息タイプ】1回7時間程度（4,600円）
 - 【相談タイプ】1回120分程度（2,800円）
 - ・訪問型 助産師等が対象者宅を訪問（2,800円）
- ママケアデイサービス事業 6,453千円
 - 母親の悩みに応える相談支援、休息、交流の場の一体的な提供を行う事業
 - 市内の民間宿泊施設、温泉施設を活用し、官民協働で実施（対象）生後4か月以上1歳未満の乳児とその母親
 - 1回あたり利用者負担1,500円

産後ケア事業



母体の回復に向けた心身のケアや育児指導を提供

母のみの利用も可能
(長期入院等、やむを得ない理由で乳児が外出できない場合)

ママケアデイサービス事業

相談支援・交流・休息の場を一体的に提供



	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	1,934,507	492		40,000	1,894,015
前年度予算額	1,982,780			27,000	1,955,780

目的

私立こども園・保育所等の保育環境の向上や職員の処遇改善及び各施設の円滑な運営と振興を図る。また、特別な支援が必要な子どもたちの受入体制を促進し、全ての子どもたちが共に学び、成長できるようインクルーシブ保育を推進する。

事業概要

- 1 私立こども園・保育所等運営費補助金 1,692,429千円
 - ・乳児の受入体制確保を支援
 - ・子どもの成長に応じた手厚い職員配置を支援
 - ・職員の給与改善を支援
 - ・多様な保育の提供を支援
 - ・山間地通園バスの運行を支援
- 2 特別支援保育に係る職員支援事業 241,094千円
 - ・保育士や調理員の加配に要する人件費を助成
 - ・自園調理の除去食対応を行う施設において、教育利用のアレルギー児も対象に追加 **拡充**
- 3 保育・教育巡回支援事業 984千円
 - ・事業実施を希望する私立認定こども園・保育所を対象に、支援員が巡回し、保育観察・カンファレンス（助言・提案）を実施
 - ・保育・教育に関する講演会を開催

< 1. 私立こども園・保育所等運営費補助金 >



保育環境の向上や保育職の処遇改善、質の高い教育・保育の提供のための事業費等を助成します。



< 2. 特別支援保育に係る職員支援事業 >

障がい児・アレルギー児に対する保育を円滑に実施するため、加配保育士・調理員の人件費を助成します。



< 3. 保育・教育巡回支援事業 >

保育・教育に関する相談がある施設に、支援員が巡回して、保育の手立て、保護者との関わり等について提案・助言を行います。



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2、1/3)	市債	その他	
当初予算額	22,771	8,000			14,771
前年度予算額	20,417	10,208			10,209

目的

障がいの有無にかかわらず、すべての子どもが共に学び、成長できるようインクルーシブ保育を推進するため、こども園、保育所、幼稚園及び放課後児童クラブにおいて、医療的ケア児の受け入れを進める。

事業概要

こども園等から放課後児童クラブまで医療的ケア児の受け入れを進める。

- 1 市立こども園における医療的ケア児受入 14,613千円
○訪問看護ステーションへ委託し、看護師が医療的ケアを実施
- 2 私立こども園・保育所等における医療的ケア児受入 6,448千円
○私立こども園・保育所等が、園に看護師を配置し、医療的ケアを実施する経費を補助
・こども園等の教育利用も対象に追加 **拡充**
・私立幼稚園を対象に追加 **拡充**
- 3 放課後児童クラブにおける医療的ケア児受入 1,710千円
○訪問看護ステーションへ委託し、学校閉校日に、看護師が医療的ケアを実施 **新規**
※学校開校日は教育委員会が実施

実施方法

○ 市立こども園・放課後児童クラブの場合

医療的ケア児を受け入れた園、クラブへ
訪問看護ステーションが巡回し、医療的ケアを実施

○ 私立こども園・保育所等の場合

医療的ケア児を受け入れた園等が、
看護師を配置し、医療的ケアを実施する
場合の経費を補助



- ◎ 対象とする医療的ケア…導尿、経管栄養、たん吸引、その他園等で対応が可能なもの

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (2/3、1/3、1/6)	市債	その他	
当初予算額	1,346,949	909,774			437,175
前年度予算額	1,187,934	789,662			398,272

目的

放課後児童クラブへの入会希望者が全員利用できるようにするため、施設整備や民間児童クラブへの支援を進める。
また、利用者が利用しやすい環境を整えるとともに、子どもの居場所として安定的かつ継続的なクラブ運営を行う。



事業概要

令和4年度 当初の受入児童数 6,750人

- 1 放課後児童クラブの運営 1,246,971千円
 - 令和3年度整備クラブ室の増加
83クラブ(204室) → 83クラブ(205室) **拡充**
 - 支援の質の向上及び安定的なクラブ運営に向け、支援員全体の処遇を見直し **拡充**
 - 世帯の所得やきょうだいの入会状況等により利用者負担額を軽減
 - 保護者負担金を公金として市が収入するために必要なシステムを構築 **新規**
- 2 放課後児童クラブ室の整備 15,800千円
 - 2室のクラブ室整備(70人) ※うち1室は移設
- 3 民間児童クラブへの助成 84,178千円
 - 基準を満たす民間児童クラブに対し、支援員処遇改善経費等を含む運営費を助成 **拡充**
 - 世帯の所得やきょうだいの入会状況等により民間児童クラブ利用者負担額を軽減
- 4 放課後子ども教室(教育局)との連携による放課後児童対策の推進
 - 放課後児童クラブとの一体型 69校
(放課後子ども教室 82校実施予定)

感染症対策を徹底して
児童クラブを運営



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (2/3、1/2)	市債	その他	
当初予算額	18,960	12,230			6,730
前年度予算額	10,284	6,617			3,667

目的

未婚化・晩婚化に伴う少子化への対策のため、独身男女の出会いの機会の創出を通じた、婚活への第一歩の踏み出し支援、一定の所得未満の新婚世帯の新生活に係る費用を助成し、経済的負担を軽減する。

事業概要

- しずおかエンジェルプロジェクト推進事業 1,410千円
 - 出会いの機会の創出、婚活への第一歩の踏み出し支援に向けた出会いイベント開催
 - ・セミナー付き出会いイベントの開催
 - ・親の代理婚活の開催
 - 婚活サポーターの養成・活用
 - ・出会いイベントで成立したカップルへのフォローアップ
 - 県と連携した広域での結婚支援事業の推進 **拡充**
 - ・県が新たに設置した「ふじのくに結婚応援協議会」へ参画し結婚支援を広域的に実施
- 結婚新生活支援事業費助成 17,550千円
 - 対象となる世帯
 - ・令和4年4月1日から令和5年3月31日までに婚姻届を提出した世帯
 - ・本市に住民票がある世帯
 - ・婚姻日における年齢が夫婦ともに39歳以下
 - ・夫婦の所得の合計が400万円未満の世帯
 - 補助対象となる経費
 - ・新規の住宅取得費用
 - ・新規の住宅賃借費用
(賃料、敷金、礼金、共益費、仲介手数料)
 - ・結婚に伴う引越し費用
 - ・結婚に伴うリフォーム費用を追加 **拡充**
 - 補助上限額
30万円 (夫婦ともに29歳以下の世帯は60万円)

★結婚新生活の助成

(補助対象)
住宅の購入費
賃料、共益費
敷金、礼金
仲介手数料
リフォーム費



(補助対象)
新婚生活のための
引越し費用

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	28,292	15,589			12,703
前年度予算額	25,076	12,373			12,703

目的

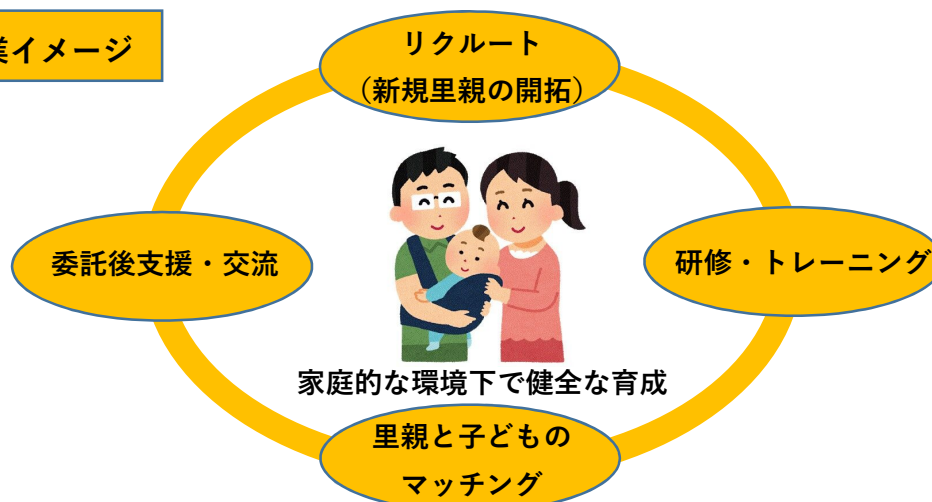
社会的養護が必要な子どもを家庭的な環境下で養育するため、里親委託を促進し、子どもの健全な育成を図る。

事業概要

里親のリクルートから、里親に対する研修、里親と子どもとのマッチング、里親委託後の支援まで、子どもに質の高い里親養育がなされるための支援を行う。

- 1 統括責任者の配置
 - ・支援業務を統括する責任者の配置
- 2 里親制度等普及促進・リクルート
 - ・里親リクルーターの配置
- 3 里親研修・トレーニング事業
 - ・養育力を向上させるためのトレーニング
- 4 里親委託等推進
 - ・里親と子どもとのマッチング
- 5 里親訪問等支援
 - ・委託後の里親訪問、里親同士の相互交流
- 6 特別養子縁組成立後の支援 **新規**
 - ・特別養子縁組をした元里親・元里子への継続支援

事業イメージ



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (10/10、1/2、1/3)	臨時交付金	市債	
当初予算額	155,450	86,423			69,027
前年度予算額	237,508	133,798	103,709		1

目的	児童福祉施設等において、コロナ禍での事業を継続的に運営するため、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を実施する。
----	--



事業概要	<p>1 子育て支援センターにおける感染症対策事業 6,900千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○対象施設 ・子育て支援センター 21施設 ○事業内容 ・継続的に事業を運営するために必要な、マスク、消毒液等の衛生用品の購入経費を支援 <p>2 私立こども園、保育所等、放課後児童クラブ、児童養護施設等及び児童相談所一時保護所における感染症対策事業 126,350千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○対象施設 ・私立こども園、保育所等 210施設 <li style="padding-left: 20px;">・放課後児童クラブ 公設 83クラブ 民間 14クラブ <li style="padding-left: 20px;">・児童養護施設等 民間 3施設 <li style="padding-left: 20px;">・児童相談所一時保護所 1施設 ○事業内容 ・継続的に事業を運営するために必要な、マスク、消毒液等の衛生用品の購入経費及び施設消毒等のかかり増し経費を支援 <p>3 妊産婦総合対策事業 22,200千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○対象者 ・新型コロナウイルス感染症に強い不安を抱えている、または基礎疾患を有する妊婦 ○事業内容 ・不安を抱える妊婦が分娩前に受けるPCR検査費用を支援
------	--



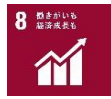
子どもたちの手に触れるものは随時消毒を実施

經 濟 局

経済局 当初予算のポイント

令和4年度(2022年度の目指す姿)

豊かな地域資源と恵まれた立地環境を土台に、世界に誇れる産業や技術を持つ企業が躍動し、地域経済に活力をもたらすことで、人々が生き生きと暮らし、働くまちを目指します。



SDGs 経済局が重点的に取り組む目標

令和4年度の主な取組

コロナ禍からの回復と「デジタル」「グリーン」

市内へのにぎわい創出と、市内企業の持続的な経済発展を支援します。

【 「まちは劇場」と連携した「地域経済活性化策」 】

市内に賑わいを取り戻すため、観光交流文化局と連携した消費喚起を行います。

- デジタルスタンプラリーキャンペーン事業 200,000千円 2月補正
- 地域消費促進事業費助成 200,000千円 2月補正

【 地域産業のデジタル化推進とグリーン社会実現への支援 】

市内企業が、更なる事業効率化が図られるように、企業のデジタル化や省エネルギー化を支援します。また、林業の森林吸収源拡大を目指した事業を実施します。

- 中小企業等デジタル化支援事業費助成 30,000千円 新規
- 中小企業等DX支援事業 8,200千円 拡充
- エリートツリー・早生樹の森林づくり推進事業 20,000千円 新規
- 中小企業事業高度化事業費助成 80,000千円 拡充



市内イベントの様子

魅力的な人と企業が出会い、世界に誇れる価値を創造するまちの実現

社会経済情勢の変化や本市の産業の強みを踏まえ、
企業の生産性向上と人材の確保・育成の推進を支援します。

【 地域環境を活かした産業振興 】

本市の産業・経済の将来像と産業振興の基本方向を定める、第3次静岡市産業振興プランや、商業振興のあり方と実現への方向性を定める商業振興基本計画を作成します。また、多種多様な人材が交流し、それぞれの知識やアイデアにより共創する拠点を運営します。

- 産業振興プラン推進事業 6,600千円
- 商業振興基本計画改定支援業務（商業振興事業） 6,400千円
- コ・クリエーションスペース運営事業 25,559千円



コ・クリエーションスペース内
打ち合わせの様子

【 人材の確保・育成と企業の中心市街地進出支援 】

多様な雇用形態、人材を活用したいという市内中小企業のニーズや、中心市街地への出店意欲のある企業に対し、支援します。

- 多様な人材を活用した中小企業支援事業 10,732千円 拡充
- チャレンジショップ出店事業費助成 9,000千円 新規

国内外から人々が訪れる「国際海洋文化都市」の実現

清水港周辺に集積する行政、民間企業、教育機関などと連携し、海洋関連産業の振興を推進することで、交流人口の増加と地域経済の活性化を図ります。

【 産学民官の連携による「海洋文化拠点」の形成 】

国際海洋文化都市の拠点となる「（仮称）海洋・地球総合ミュージアム」をPFI事業により建設します。

また、開業に向け海洋文化都市としての意識醸成を図るとともに、日の出地区の最適な交通処理の検討を行います。

■海洋文化施設建設事業	13,836千円	
（債務負担行為（～R22））	16,960,000千円	新規
■海洋文化都市普及促進事業	2,800千円	
■日の出地区交通円滑化事業	19,000千円	新規



ミュージアム 館内イメージ

【 「働くみなと」に「楽しむみなと」を加えた 求心力の強い港町の創生 】

国内外から人々を呼び込み、地域経済の活性化を図ります。

■清水港客船誘致委員会負担金	20,476千円	
■新興津地区交流施設検討事業	5,000千円	新規



清水港 客船の寄港風景

山から海の多彩な資源を活かして、人や地域が潤う農林水産の盛んなまちの実現

農林水産業の持続的な発展に向けた支援に着実に取り組みます。

【 所得の向上と担い手の確保・育成及び成長産業化の推進 】

本市農業の振興を図るうえで指針となる、第2次農業振興計画を策定します。また、後継者が経営をさらに発展させる取組を支援するとともに、農地や林道の整備等による生産性向上、林業の成長産業化などに向けて取り組みます。

■農業振興計画推進事業	6,000千円	
■経営継承・発展等支援事業費助成	10,000千円	新規
■茶産地総合対策事業費助成	24,800千円	
■林道維持管理事業	269,564千円	拡充
■オクシズ森林基盤整備支援事業費助成	40,000千円	新規

【 静岡市ブランドの磨き上げ 】

「お茶のまち」や「オクシズ」、「しずまえ」などの本市独自の魅力を活かしたプロモーションを通じ、農林水産業の持続的な発展を支援します。

■「お茶のまち静岡市」推進事業	16,745千円	
■「お茶のまち静岡市」プロモーション事業	11,299千円	
■静岡地域材活用促進事業	105,000千円	
■しずまえ鮮魚普及事業	8,131千円	



「お茶のまち静岡市」の推進

(千円)

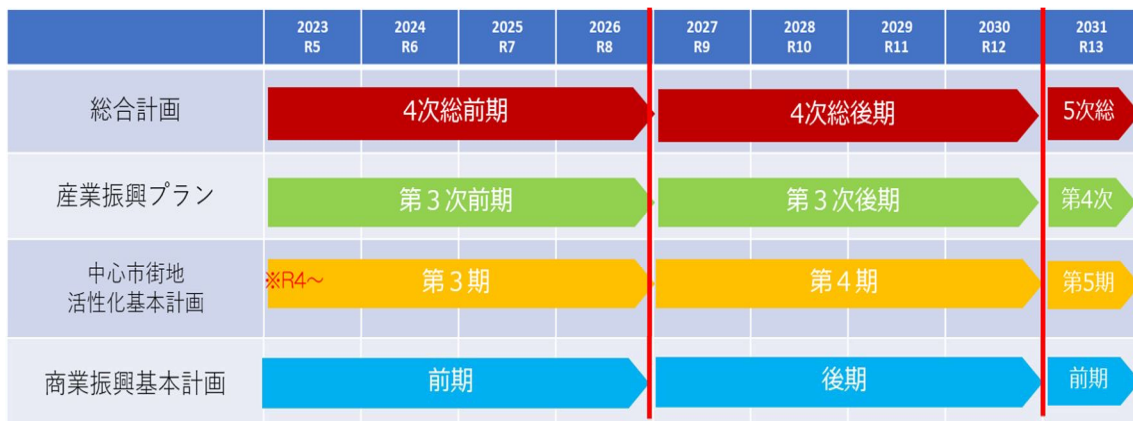
	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	6,600				6,600
前年度予算額	3,000				3,000

目的	第2次産業振興プラン（計画期間：平成27年度～令和4年度）が令和4年度末で終了するため、第4次総合計画の策定に合わせて、本市の産業・経済分野での目指すべき将来像と政策の方向性・施策体系を定めるため、次期（第3次）プランを作成する。
----	---



事業概要	<p>1 計画期間 令和5年度～令和12年度</p> <p>2 統計指標・経済社会状況の整理 新規作製したデータ及び既存データを活用し、下記項目について調査分析する。 ○静岡市の産業を取り巻く環境の動向 ○静岡市の産業構造の変化 ○リーディングプロジェクトと成りうる産業や事業の抽出</p> <p>3 企業・学識経験者へのヒアリングの実施 ○学識経験者ヒアリングの実施 ○企業ヒアリングの支援 ○ヒアリング結果の取りまとめ など</p> <p>4 プランの改定 ○第3次静岡市産業振興プランの作成、冊子印刷</p>
------	---

【関連計画】



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (3/4)	市債	その他	
当初予算額	20,000	15,000			5,000
前年度予算額	5,000	3,750			1,250

目的	市内への移住及び定住の促進並びに地域社会を担う人材の確保を図り、もって人口活力の維持及び持続可能なまちの実現に資するため、東京圏から静岡市に転入をして就職し、起業し又は就労する者に対し、補助金を交付する。
----	--



事業概要	<p>東京圏から静岡市に移住して就職、起業又は就労する者に対し、移住に伴う経済的負担の軽減ため、補助金を交付する。</p> <p>○助成額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1世帯 100万円 ・ 単身者 60万円 <p>○補助対象</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 就職支援事業【現行制度（R1～）】 ・ 起業支援事業（実施主体：静岡県）【現行制度（R1～）】 ・ 専門人材【R3から拡充】 ・ テレワーカー【R3から拡充】 ・ 関係人口【R3から拡充】
------	---

R2年度までの要件	R3年度からの要件
<p>移居前</p> <p>※次のいずれにも該当</p> <ul style="list-style-type: none"> ●東京23区内に在住・通勤 ・東京23区の在住者又は東京23区内への通勤者 ・上記の期間が移住する直前の10年間のうち通算5年以上（ただし、移住する直前は1年以上） <p>移住後</p> <p>※次のいずれかに該当</p> <ul style="list-style-type: none"> ●就職支援事業 支援金対象求人マッチングサイトに掲載された求人に新規就業した方 ●起業支援事業 起業支援事業の支援金の交付決定を受けた方 	<p>移居前</p> <p>※次のいずれにも該当</p> <ul style="list-style-type: none"> ●東京23区内に在住・通勤 ●通学【拡充】 東京23区内の大学等へ通学し、東京23区内の企業等に就職した方は、通学期間も対象期間として加算可能 <p>移住後</p> <p>※次のいずれかに該当</p> <ul style="list-style-type: none"> ●就職支援事業 ●起業支援事業 ●専門人材【拡充】 プロフェッショナル人材事業等を活用し、静岡県内の企業に就業する方 ●テレワーク【拡充】 東京23区在住等の会社員で、移住後も引き続き業務をテレワークで実施する方 ●関係人口【拡充】 移住前に地域と深い関わりがあったと移住先の市町が認める方

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	9,468				9,468
前年度予算額	11,900				11,900

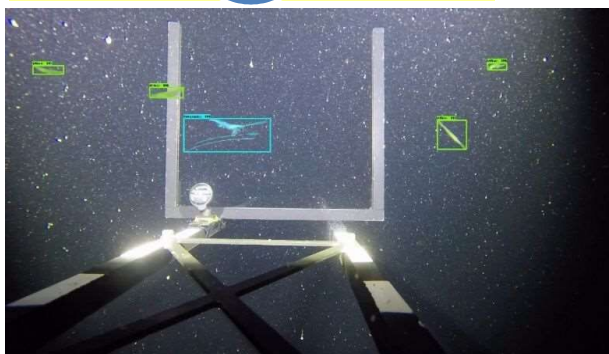
目的	本市独自の駿河湾という「海洋資源」、大学等研究機関の「知見」、清水港とともに発展してきた造船をはじめとする機械金属製造業や水産加工業等の関連産業の「技術」を組み合わせることにより、海洋関連産業における新事業創出・事業高度化を推進するとともに、研究機能の強化・集積を図る。
----	---



事業概要	<p>推進主体である「静岡市海洋産業クラスター協議会」が実施する各種事業に対し、負担金を支出する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業化推進事業（事業化研究プロジェクトの組成・実施 産学マッチングアドバイザー3名の設置 等） ・情報受発信事業（ウェブサイト運営、シンポジウム開催 等） ・人材育成事業（海洋産業人材育成セミナー開催 等）
------	--



海洋産業シンポジウムの様子



支援プロジェクト例①
(サクラエビ漁業支援システムの開発)



支援プロジェクト例②
(三保サーモンの地域ブランド化)

コ・クリエーションスペース運営事業(オープンイノベーション推進事業) 産業振興課

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	臨時交付金	市債	
当初予算額	25,559	12,779			12,780
前年度予算額	25,840		25,840		

目的	<p>新型コロナや加速度的な技術革新への対応など、将来の予測が難しい現在のビジネス環境の中で、地域活性化による持続的な経済発展を実現するためには、事業の創造・変革を支援し、産学官金の連携による人材・技術・ナレッジ・資金が還流するエコシステムの確立が必要である。</p> <p>そのために必要な「仕掛け」として、交流・共創拠点の整備・運用を行う。</p>
----	--



事業概要	<p>企業、学生、行政など肩書や立場に関係なく、多種多様なプレイヤーが拠点を利用してもらうことで相互につながり、知識・技術・情報・アイデアがクロスすることで、共鳴しあいオープンイノベーションを創出するために令和3年度に整備した拠点を引き続き運営する。</p> <p>1 施設概要 ○場 所 静岡市産学交流センター 7F会議室 ○開設時間 月～土 10:00～18:00 (イベント開催時は22:00まで)</p> <p>2 コミュニティマネージャーによるマッチング、アドバイス 3 交流イベントの企画・運営 4 パイロット事業の企画・運営 ○セミナー、ワークショップの実施 ○共創フォーラムの開催</p> <p>5 情報発信 ○SNS等による施設、イベント情報の発信 ○WEBサイトの設置 (オンラインでの交流)</p>
------	---



ミーティングやセミナーの様子

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	23,530			1,530	22,000
前年度予算額	14,310				14,310

目的 「静岡市プラモデル化計画」に基づき、本市が世界に誇る「プラモデル」等をテーマとした官民連携によるシティプロモーションを推進することで、本市のブランドイメージとシビックプライドを確立していく。



事業概要 環境・人財・コンテンツの視点に基づき、「静岡市＝プラモデル」が連想でき、プラモデル等に親しめる取組を実施

- 1 環境づくり事業 12,750千円
 ○プラモデルをモチーフにした工作物「プラモニュメント」の設置やプラモデルデザインの活用に対する助成
 ○市民の関心を誘引するための模型の世界首都PRキャンペーン等の実施
- 2 人財づくり事業 6,130千円
 プラモデル業界やものづくり業界団体等と連携し、
 ○小学校で「ものづくり教育（キャリア教育）」の実施
 ○シチズンカレッジ「こ・こ・に」で「ものづくりプラモデル大学」の実施
- 3 コンテンツづくり事業 4,650千円
 ○「模型の世界首都」の求心力を高める機会の創出 **新規**
 ○パートナーシップに向けた連携創出事業

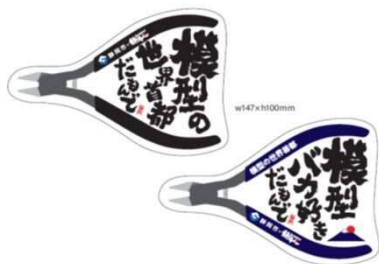
静岡市プラモデルプライドプロジェクトイメージ



プラモデルデザインを活用したシティプロモーション事業（プラモニュメント設置支援）



小学校児童に向けた「ものづくりキャリア教育」



「模型の世界首都・静岡」 PRキャンペーン



「ものづくりプラモデル大学」による人財の育成

【新規】

チャレンジショップ出店事業費助成

商業労政課

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	臨時交付金	市債	
当初予算額	9,000		9,000		
前年度予算額					

目的	「中心市街地の活性化」と「魅力ある事業者の掘り起こし」を目的に、静岡市の中心市街地で勝負したい魅力ある事業者の出店意欲を後押しするため。
----	--

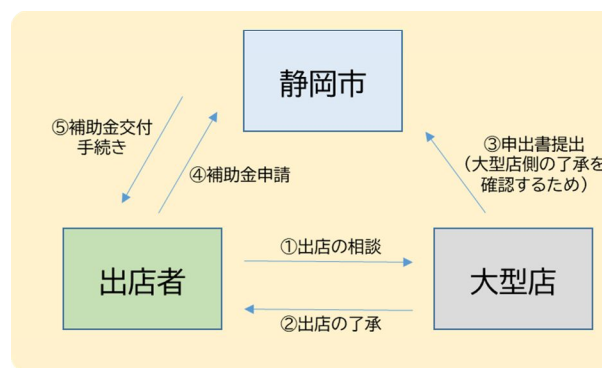


事業概要	<p>○事業内容 中心市街地に出店意欲のある事業者が実施する、大型商業施設でのチャレンジショップ事業に係る費用の一部を助成</p> <p>○対象施設 中心市街地（静岡地区・清水地区）に立地する大型商業施設 8 施設</p> <p>○対象事業 次の①～③の者が対象施設で実施するチャレンジショップ出店事業 ①市内事業者 ②5市2町の事業者 ③5市2町で実店舗を持たない事業者</p> <p>○補助率 2/3以内</p> <p>○上限額 70万円（1か月未満） 80万円（1～2か月） 90万円（2～3か月）</p>
------	--

対象施設のイメージ



事業スキーム図



地域経済の回復に向けた中小企業等への支援

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	臨時交付金	その他	
当初予算額	725,275		92,261	633,014	
前年度予算額	716,905	5,367		666,171	45,367

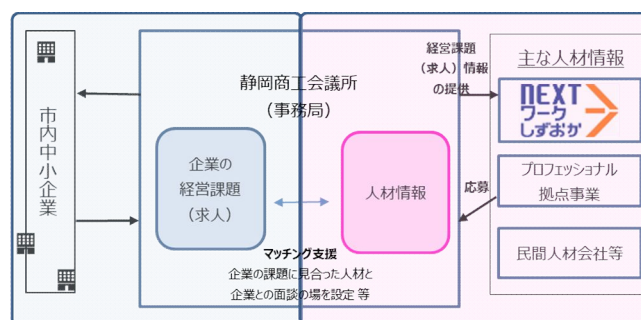
目的 中小企業等の事業継続や新たな取組に対して支援し、中小企業等の成長や発展、経営力の強化を図る。



事業概要	内容	金額
1	中小企業事業高度化事業費助成 ○対象者 市内中小製造事業者 ○補助率 ・生産性向上等に資する機械設備設置事業 5% ・上記に加え、省エネルギーに資する機械設備設置事業 10% ○上限額 500万円	80,000千円
2	経済変動対策資金特別利子補給事業 ○対象者 県制度融資「経済変動対策貸付（新型コロナウイルス感染症対応）」を利用した市内中小企業・小規模事業者 ○補給期間 融資開始から3年間（1年毎助成） ○補給率 セーフティネット4号及び危機関連保証 1.30% セーフティネット5号 1.40%	634,543千円
3	多様な人材を活用した中小企業支援事業 ○実施内容 ・多様な人材活用の理解促進セミナー ・ヒアリング調査による企業開拓 ・ヒアリング調査による人材開拓 ・中小企業と人材のマッチング支援 ○対象人材 ・シニア人材から全世代の人材へ対象を拡大 ・兼業・副業人材等の多様な人材を対象にした事業に拡充	10,732千円



1 中小企業事業高度化事業費助成活用例(新型の金属加工機)



3 多様な人材を活用した中小企業支援事業事業スキーム

(千円)

	事業費	特定財源			一般会計繰入金
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	6,900			6,900	
前年度予算額					

目的	静岡市中央卸売市場経営展望の短期成果を検証し、策定後の市場を取り巻く環境変化や厳しい財政見通しを踏まえ、市民・有識者の議論を含めた上で、静岡市中央卸売市場の存続意義、運営及び経営の基本方針を見直し将来像を再構築するため。
----	--



事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎情報の収集整理 <ul style="list-style-type: none"> ・消費者(市民)・流通関係者等へのヒアリング、意見交換(市民生活、流通環境への影響・必要性) ○当市場の経営指針を議論検討する検討会議等(参加者：学識経験者、流通関係者、消費者等)の運営支援 ○中央卸売市場の今後の基本方針検討 <ul style="list-style-type: none"> ・従来の運営手法の再検証と、今後の運営手法の検討 ○施設整備(機能、規模)の再構築と今後の整備方針の検討 ○今後の市場整備(長寿命化、建替等)のパターンに応じた事業収支案作成
------	--

今後の展望(取組)

令和4年度

静岡市中央卸売市場 将来の市場の基本方針検討

本市場が置かれている現状を、新たな市場を創出する機会と捉え、時代に適した市場のあり方を再構築する!!

- 内容
- 市民、専門家(経済、まちづくり等)との検討を行い、静岡市場の必要性を再認識する。
 - 静岡市場の広大な敷地や交通の利便性といった強みを発揮できる観点から市場のあり方を検討する。
 - 市場施設の持つべき機能に加え、他市場との差別化を図るためのプラスαの機能を検討する。
 - 静岡市中央卸売市場経営展望(H30策定)の見直しを行う。

水産棟



管理棟



青果棟



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	13,836				13,836
前年度予算額	3,449				3,449

目的 「国際海洋文化都市・清水」の実現に向けて、日の出地区にシンボル施設となる「(仮称)海洋・地球総合ミュージアム(海洋文化施設)」をPFI事業により建設及び管理運営する。

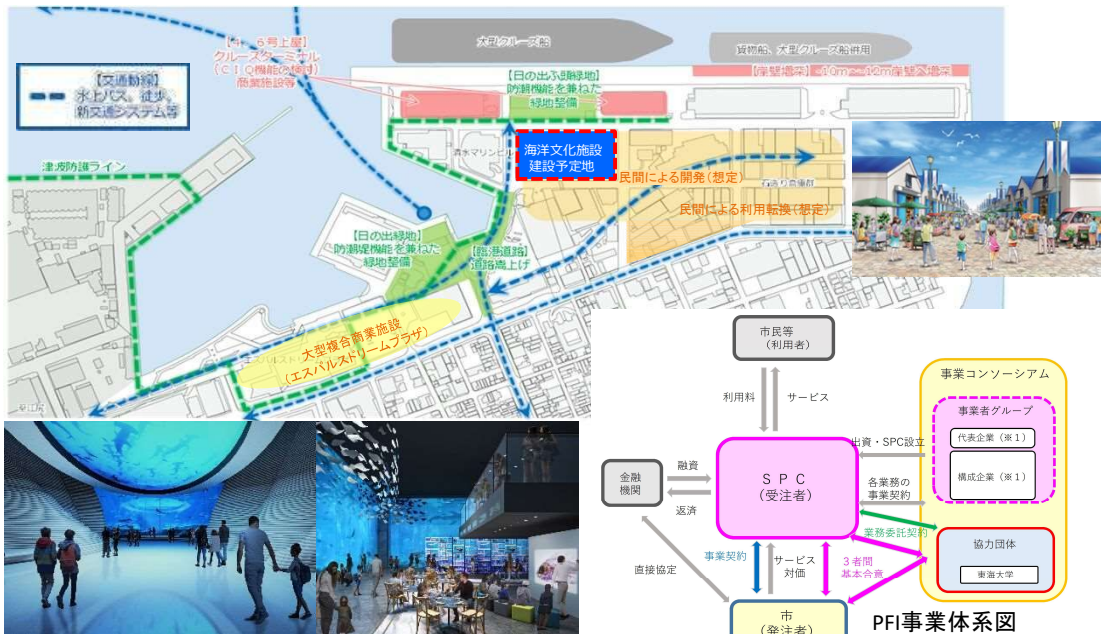


事業概要

- 海洋文化施設整備事業費(債務負担行為) **新規**
PFI事業におけるSPCに対するサービス対価
・規模 約9,500㎡
・場所 清水区日の出埠頭背後エリア
・総額 16,960,000千円
・期間 令和5年度～令和22年度
- PFI事業アドバイザー業務 13,299千円
PFI事業者の募集、選定、契約の実施に関するアドバイザー業務
- 事業者選定審査会外部専門委員謝金・旅費等経費 537千円
整備・運営事業者選定等を行う、外部専門委員への謝金

【関連事業】

- 海洋文化都市普及促進事業 2,800千円
清水海洋展の実施や市内イベントでのPRを行う。
- 日の出地区交通円滑化事業 19,000千円
交通シミュレーションにより最適な交通処理の検討を行う。



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	5,000				5,000
前年度予算額					

目的	静岡県が整備する新興津地区人工海浜・緑地の魅力を向上し、市内外から多くの来訪者が訪れる新たな賑わいの拠点とすべく、民間活力を活用した「交流施設」整備の可能性を検討する。
----	--



事業概要	<p>○事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設概要：特産品等の物販・飲食 規模：1,000㎡程度 場所：新興津地区人工海浜・緑地内 <p>※施設概要・規模は想定（民間事業者の意見を踏まえ決定） ※段階的な整備等、弾力的な事業運営も想定</p>					
	<p>○令和4年度事業内容</p> <p>民設民営による交流施設整備の可能性を探るため、以下の調査、検討を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象エリアのポテンシャルの確認 事業参画に向けた事業者サウンディング（活用イメージの意見聴取、施設整備・維持管理・運営における課題の抽出） サウンディング結果を踏まえた施設整備の方向性の検討 					
	<p>○全体スケジュール</p> <table border="0"> <tr> <td>令和4年度</td> <td>可能性検討調査</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>公募～契約締結</td> </tr> <tr> <td>令和6～7年度</td> <td>設計・工事（民間事業者）、供用開始</td> </tr> </table>	令和4年度	可能性検討調査	令和5年度	公募～契約締結	令和6～7年度
令和4年度	可能性検討調査					
令和5年度	公募～契約締結					
令和6～7年度	設計・工事（民間事業者）、供用開始					



新興津地区人工海浜・緑地イメージパース

【新規】

経営継承・発展等支援事業費助成

農業政策課

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	10,000			5,000	5,000
前年度予算額					

目的
 中心経営体等（※）である先代からその経営に関する主宰権の移譲を受けた後継者が、自らの経営を更に発展させるために行う取り組みを支援し、本市の農業の担い手確保に寄与する。



事業概要

○対象者
 中心経営体等である先代からその経営に関する主宰権の移譲を受けた後継者のうち以下の要件を満たす者。
 [要件]
 ・生産基盤や経営規模等が著しく縮小していないこと
 ・税務申告等を後継者の名義で行っていること
 ・青色申告者であること
 ・先代から移譲を受けた経営を更に発展させるため実現可能な計画を策定すること 等

○補助対象となる経費
 専門家謝金、専門家旅費、研修費、旅費、機械装置等費、広報費、展示会等出展費、開発費、取得費、雑役務費、借料、設備処分費、委託費、外注費

○補助額
 上限1,000千円（補助率10/10）

（※）市長が地域農業の維持、発展に重要な役割を果たすと認めた認定農業者や、実質化された人・農地プランに中心となる経営体として位置付けられている者

【補助対象となる経営発展に向けた具体的な取組事例】



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	24,800				24,800
前年度予算額	24,800				24,800

目的
 安定的かつ持続的な茶業経営に向けた基盤づくりのため、小規模茶園地の整備や製茶機械の導入・更新、茶園の共同管理、補完作物への転換等を政策的に推進する。



事業概要	事業内容	金額
1	茶園改良整備事業 生産性向上のために必要な茶園の平坦化、園内作業道整備、防霜施設導入に対する助成 (補助率 中山間地域 8/10 その他 1/2)	3,000千円
2	加工施設機械整備事業 荒茶及び仕上茶加工施設で使用する機械の導入・更新に対する助成 (補助率 1/2)	15,000千円
3	茶園共同管理推進事業 地域の茶園の共同管理を推進するために必要な施設整備や資機材導入に対する助成 (補助率 1/2)	4,500千円
4	補完作物転換事業 茶業経営の安定化のため、耕作茶園の一部を野菜や果樹などの複合作物に転換するための助成 (野菜等4,100円 果樹等7,600円)	1,500千円
5	茶園防霜施設修繕事業 防霜ファン等の修繕に対する助成 (補助率 2/10)	800千円



園内作業道の整備



製茶機械の導入・更新



茶園の共同管理に必要な機械の導入



複合作物への転換支援

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	16,745	1,671		2,267	12,807
前年度予算額	19,042	2,146		1,820	15,076

目的	第2次静岡市茶どころ日本一計画（計画期間：令和2年度～令和12年度）に基づき、「お茶のまち静岡市」の認知度向上・ブランド力を強化するとともに、「静岡市のお茶」の消費の拡大を図る。
----	---



事業概要	1 お茶ツーリズム推進事業 3,438千円 交流人口の増加と茶業者の所得向上を図るため、お茶ツーリズムの専用受付・相談窓口「しずおか茶巡りデスク」を設置し、本市を訪れる観光客に向けお茶ツーリズム（体験、工場見学、飲み比べ等）を推進する。
	2 「静岡市のお茶」愛飲促進事業 2,267千円 子どもたちへのお茶の愛飲促進を図るため、市内小中学校（設置予定3校）に給茶機を設置し、子どもたちがいつでも「静岡市のお茶」を飲むことができる環境を整備する。
	3 ラッピングタクシー導入助成事業 6,280千円 「お茶のまち静岡市」の認知度向上及びブランディングの強化のため、「お茶のまち静岡市」ラッピングタクシーの導入を助成する。
	4 その他の関連事業 4,760千円 「お茶のまち静岡市」ホームページの情報発信に係る事業等を実施する。



農道の新設改良・林道の改良事業

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	216,300	10,000	157,200		49,100
前年度予算額	129,000	10,000	71,500		47,500

目的 農道、水路等の農業生産基盤の整備を進め、農業生産性の向上と経営の合理化を図る。また、南アルプスユネスコエコパークを構成する唯一の道路である林道の強靱化を図り、登山、観光、環境学習、保全活動などの来訪者の移動手段を確保する。



事業概要	農道や農業用水路等の農業生産基盤整備に係る経費	116,300千円
	<ul style="list-style-type: none"> ○工事 <ul style="list-style-type: none"> 農道 農道遠藤新田第2工区5号線外18路線 1,750m 水路 飯間地内排水路外1箇所 76m ○委託 <ul style="list-style-type: none"> 用地測量 小坂二丁目地内用排水路外1箇所 250m 測量設計 農道大原道原線 50m 	
	林道東俣線改良工事 新規	100,000千円
	<ul style="list-style-type: none"> ○事業期間 令和4年度から令和13年度 ○事業箇所 林道東俣線(延長27,343m) ○事業内容 損傷した路肩等改良工事(全10箇所) ○工事等内容 測量設計・地質調査・工事・移転補償 ○令和4年度実施予定 <ul style="list-style-type: none"> ・測量設計 工事を行うための測量及び設計(3箇所) ・地質調査 設計の基礎情報とする地質調査(3箇所) ・工事 改良箇所の工事(1箇所) ・移転補償 電気施設移転補償(1箇所) 	

農道新設イメージ



R4 林道東俣線工事予定箇所



起点(沼平ゲート)から1.5km地点



起点(沼平ゲート)から25.7km地点

【拡充】

用宗漁港海岸胸壁整備事業

水産漁港課

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2ほか)	市債	その他	
当初予算額	107,826	58,700	47,900		1,226
前年度予算額	81,200	44,000	36,000		1,200

目的

用宗漁港後背地の住民の生命・財産を守るため、「静岡県第4次地震被害想定」におけるレベル1地震・津波を防御できる高さの壁（胸壁）を、景観にも配慮しながら漁港の周囲に建設し、安全で快適な海岸を整備する。



事業概要

- 事業期間 平成28年度から令和6年度まで
- 事業箇所 用宗漁港海岸（用宗漁港内港）
- 事業内容 用宗漁港海岸胸壁整備工事
- 整備概要 総整備延長 L=790m（陸閘3基含む）
令和3年度末整備済 L=357m（陸閘2基含む）
令和4年度整備予定 L=189m
{R4当初18m（陸閘1基含む）、R3繰越171m}



- 令和3年度末整備済
- 令和4年度整備予定

整備済の胸壁



【新規】

オクシズ森林基盤整備支援事業費助成

中山間地振興課

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	臨時交付金	市債	
当初予算額	40,000		40,000		
前年度予算額					

目的	<p>新型コロナウイルス感染症拡大に端を発するウッドショックの影響で生じた国産材供給不足に対応するため、林業機械、作業道等の基盤整備及び計画的な木材生産を一体的に支援することにより、安定的な国産材生産体制整備を促進する。</p>
----	--



事業概要	<p>森林経営計画（一期5年）を策定し、生産計画を定めた中小林業事業者（年間生産量3,000m³以下）に対し、基盤整備及び木材生産に係る費用の一部を助成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 基盤整備支援（①と②の選択制） <ul style="list-style-type: none"> ①林業機械購入 補助率1/2、補助上限額3,750千円 ②作業道開設 補助率8/10、上限単価2.2千円/m 2 生産支援 ※1で基盤整備することが条件 <ul style="list-style-type: none"> ○間伐作業 補助率8/10、上限単価442千円/ha ○搬出作業 定額、補助単価4千円/m³
------	--



基盤整備の支援(イメージ)



木材の安定供給(イメージ)

【新規】

エリートツリー・早生樹の森林づくり推進事業

中山間地振興課

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	臨時交付金	市債	
当初予算額	20,000		20,000		
前年度予算額					

目的	<p>生長が早く、二酸化炭素吸収効果の高い品種の試験植栽を行い、収集したデータを基に民間波及を図ることで、林業の成長産業化・カーボンニュートラル実現に寄与する。また、新たに活用が期待される早生広葉樹の生産により、地場産業の振興を図る。</p>
----	---



事業概要	<p>エリートツリー・早生樹の試験植栽</p> <p>1 エリートツリー 10,000千円 市内3地区（静岡地区、清水地区、井川地区）内にある市有林にエリートツリーを植栽し、維持管理を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○静岡地区 皆伐・下刈・地拵・植栽・防護柵 ○清水地区 皆伐・下刈・地拵・植栽・防護柵 ○井川地区 作業道管理・地拵・植栽・防護柵 <p>※エリートツリーとは、生長の早さなどの優れた性質をもつ木を選抜し、それらを交配することで生まれる優良な木のこと。</p> <p>2 早生広葉樹 10,000千円 令和3年度に実施した早生広葉樹導入可能性調査事業の調査結果を活用し、市内植栽適地に早生広葉樹を植栽し、維持管理を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○静岡地区 皆伐・下刈・地拵・植栽・芽かき・防護柵
------	---



エリートツリーイメージ



早生広葉樹イメージ

都 市 局

都市局 当初予算のポイント

令和4年度（2022年度）の目指す姿

ポストコロナにおける新しい生活様式に対応した、快適で質の高いまちの拠点と交通環境を充実させ、持続可能で新たな交流と活力を生み出すまちの実現

令和4年度の主な取組

I 市民参画、官民連携の推進

さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する。

1 エリアマネジメントによるまちづくりの推進

- ① 静岡都心地区まちなか再生事業
- ② 草薙駅周辺エリアマネジメント支援事業
- ③ **[新規]**大谷・小鹿地区エリアプラットフォーム



765,242千円（うち2月補正0千円）



大浜公園再整備事業

2 民間活力導入による施設整備・運営の推進

- ① 大浜公園再整備事業
- ② 静岡市都市公園Park-PFI制度活用事業
- ③ 御幸町9番・伝馬町4番地区市街地再開発事業
- ④ 静岡市シェアサイクル事業「PULCILE」
- ⑤ **[新規]**宮川・水上土地区画整理事業



II デジタル化の加速

新しい日常の原動力となるデジタル化推進への投資や実装、環境整備についての取組

1 市民生活の利便性の向上

- ① 静岡型MaaS基幹事業実証プロジェクト
- ② **[新規]**東静岡駐輪場のキャッシュレス化
- ③ **[新規]**大谷・小鹿地区エリアプラットフォーム(再掲)



67,200千円（うち2月補正0千円）



静岡型MaaS基幹事業実証プロジェクト

2 行政運営の効率化と生産性の向上

- ① **[新規]**3D都市モデル構築業務



III グリーン社会の実現

2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラルの実現に向けた取組

1 脱炭素社会づくりに貢献する取組

- ① 自転車活用推進計画推進事業
- ② 静岡型MaaS基幹事業実証プロジェクト(再掲)
- ③ 低炭素建築物の認定審査



56,081千円（うち2月補正0千円）



あさはた緑地整備事業

2 CO2削減に貢献する自然環境保全の取組

- ① 鯨ヶ池周辺整備事業
- ② あさはた緑地整備事業



IV 国土強靱化の更なる推進

大規模災害から市民の生命、財産を守るため、防災・減災のまちづくりを更に推進する。

1 災害に強い市街化の形成

- ① 木造住宅耐震補強事業費助成
- ② 大規模建築物耐震事業費助成
- ③ ブロック塀等耐震改修事業費助成
- ④ **[新規]**宅地耐震化推進事業(2月補正)



553,615千円（うち2月補正13,800千円）



公営住宅等整備事業

2 安全で快適な市営住宅の整備

- ① 公営住宅等整備事業
- ② 公営住宅ストック総合改善事業



1 魅力と親しみのある「まちの顔」の創造



452,494千円（うち2月補正0千円）

- 御幸町9番・伝馬町4番地区市街地再開発事業
- 静岡駅南口駅前広場再整備事業
- 静岡都心地区まちなか再生事業
- ◎駿府城公園お堀の水辺空間活用事業

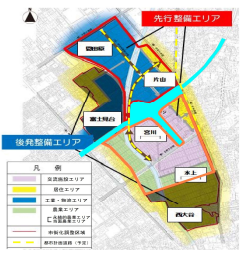


2 地域の魅力と活力を高めるまちづくり



711,100千円（うち2月補正0千円）

- 恩田原・片山土地区画整理事業
- ◎宮川・水上土地区画整理事業
- 草薙駅周辺エリアマネジメント支援事業
- ◎大浜公園再整備事業
- 鯨ヶ池周辺整備事業



4 質の高い教育をみんなに

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

8 働きがいも経済成長も

12 つくる責任 つかう責任

- 1 都心・副都心の都市機能の高度化・集積化
- 2 歩いて楽しめる都市空間の創造
- 3 官民協働で進める地域の特色を生かしたまちづくり

- 1 都心の機能を補完する地域拠点の整備及び官民協働ですすめるまちづくり
- 2 大規模社会資本や観光資源を活かした交流拠点の整備

快適で質の高いまちの拠点と交通環境を充実させ、持続可能で新たな交流と活力を生み出すまちの実現

【持続可能】

11 住み続けられるまちづくりを

+

17 パートナシップで目標を達成しよう

【民間活力連携】

- 1 災害に強いまちづくりの推進
- 2 人にやさしい住環境の整備
- 3 調和のとれた都市景観と緑あふれる環境の創出

- 1 拠点を結ぶ円滑な公共交通
- 2 公共交通が利用しやすい環境の充実
- 3 安全で快適に自転車が利用できる環境の整備

15 陸の豊かさも守ろう

6 安全な水とトイレを世界中に

10 人や国の不平等をなくそう

3 すべての人に健康と福祉を

- 木造住宅耐震補強事業
- 大規模建築物耐震補強事業
- 公営住宅ストック総合改善事業
- 空家対策事業
- 都市景観事業
- 緑化推進事業



2,078,067千円（うち2月補正16,000千円）



- 公共交通幹線軸の運行再編事業
- 静岡型MaaS基幹事業実証プロジェクト
- 鉄道駅バリアフリー化促進事業
- 地域交通弱者対策事業
- 自転車活用推進計画推進事業

612,641千円（うち2月補正0千円）

3 安心とうるおいのある住環境の整備



4 多彩な交流と活動を支える交通環境の充実



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	19,000	9,500			9,500
前年度予算額	21,200	10,600			10,600

目的
静岡都心地区における中長期的な視点に立ち、都市計画マスタープランに沿った具体的なまちなか再生の実現化方策を作成し、官民が連携した歩いて楽しいまちづくりを推進する。



事業概要

都市計画マスタープランの「重点地区」に位置付けている「静岡都心地区」において、中長期的な視点による具体的なまちなか再生への方針と実現化方策を示す指針を作成する。
また、密にならない屋外公共空間をウォーカブルな人中心の空間へ転換するなど、新しい生活様式に対応する「居心地の良く歩きたくなるまちなか」の創出に向け、民間主体による空間活用手法や賑わい活動を実施するための運営体制を検討する。

1 静岡都心地区まちなか再生指針の更新 7,600千円
・ JR静岡駅周辺ゾーンまちなか再生指針作成

2 公民共創によるオープンスペース利活用の実施 11,400千円
・ 地域の賑わい活動及び舞台づくりの支援
(青葉シンボルロード、葵スクエア等)

○スケジュール
令和5年度 御幸町・伝馬町・鷹匠周辺ゾーンまちなか再生指針(案)作成

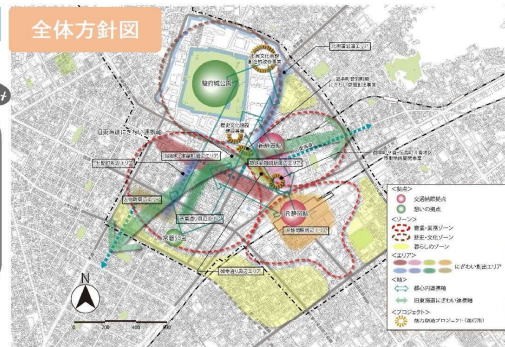
静岡都心地区まちなか再生事業

1. 静岡都心地区まちなか再生指針の作成

■まちなかの再生に向けた**方針**や**実現化方策**の提案
および実現に向けた**官民の役割分担**

【ポイント】

- まちなかを**ウォーカブルな人中心の空間**へ転換
- エリアごとの**個性・唯一性**の深堀、取組に着目
- 公民共創**による多様な交流や新しい価値観を創造する「**豊かな場づくり・ひとづくり**」
- 都市の一体的資産（**都市アセット**：道路、公園、民間空地等）の、**官民の境をなくした利活用**



2. エリア設定

■8つのにぎわい創出エリア

- 呉服町・紺屋町周辺エリア ○七間町通り周辺エリア
- 青葉通り周辺エリア** ○人宿町周辺エリア
- 静鉄新静岡駅周辺エリア ○御幸通り周辺エリア
- 北街道周辺エリア ○**JR静岡駅周辺エリア**

【R4実施内容】

- 社会実験**：青葉通り周辺エリア
- 指針の更新**：JR静岡駅周辺エリア

3. 公民共創による公共的空間の利活用の実施



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	臨時交付金	市債	
当初予算額	42,700		42,700		
前年度予算額	48,635				48,635

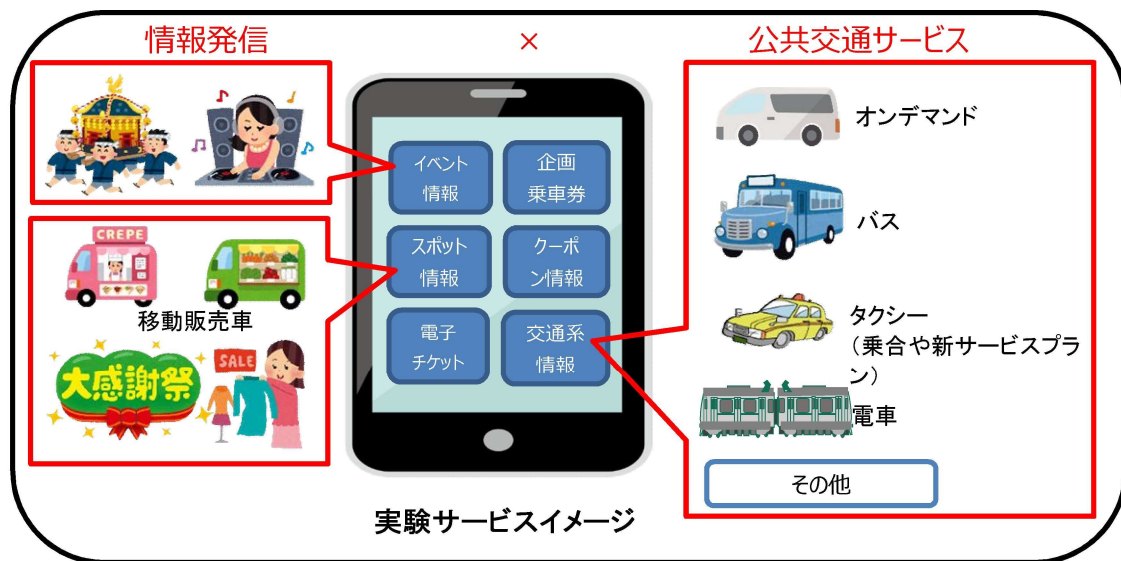
目的
 社会インフラである公共交通の持続的なサービス提供に向け、ICTによる移動サービスの高度化や、移動の手段と目的のサービス合理化を図るため、次世代移動サービス「MaaS」の実証実験・調査分析を行う。



事業概要
 静岡型MaaS基幹事業実証プロジェクト推進事業
 ○MaaS実証実験・調査分析
 実証実験の計画最終年度として次世代移動サービスMaaSの実験・調査分析を実施する「静岡型MaaS基幹事業実証プロジェクト（官民コンソーシアム）」への負担金
 ・ラスト/ファーストワンマイルを担うオンデマンド交通の拡充
 ・料金体系も含めたタクシーによる移動サービスの拡充
 ・スマホアプリ等による目的地情報と移動手手段のデータ連携

【MaaSの導入に向けたR4年度の主なテーマ】

- 端末交通の拡充(新たな移動サービスの構築と既存移動サービスの改善)
- 移動手手段とイベント情報などの他分野サービス連携による需要拡大、外出機会の創出



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	臨時交付金	市債	
当初予算額	5,000		5,000		
前年度予算額	12,000	6,000			6,000

目的 バスの利用需要が減退し、現行の路線バス運行維持が困難になっている。生活の足である路線バス事業の健全性を保ち、将来に渡り安定的な運行を維持するため、バス運行路線再編に係る検討を行う。

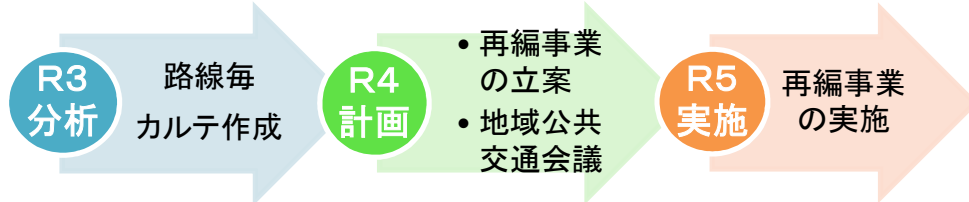


事業概要

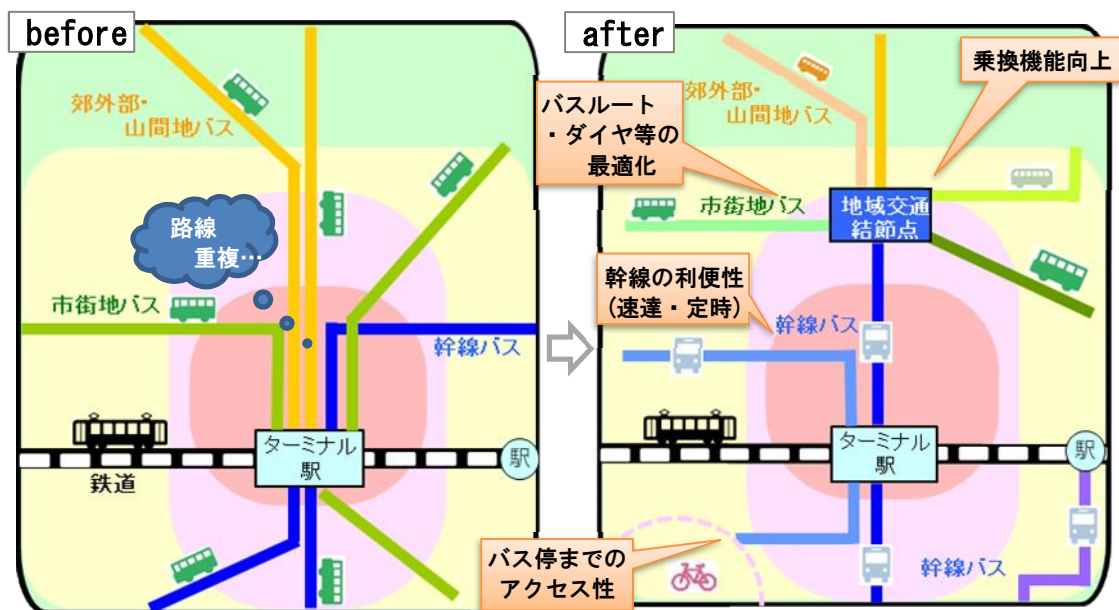
令和3年度の路線毎運行実態分析（カルテ作成）結果を踏まえ、バスの運行再編計画を立案する。

○静岡市地域公共交通の運行再編計画の立案

- ・運行再編施策の立案及び効果のシミュレーション
- ・概算費用算出及び資金調達方法スキーム立案
- ・地域公共交通会議の実施



【 路線再編(イメージ) 】



静岡駅南口駅前広場再整備事業

市街地整備課

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	33,360	16,680			16,680
前年度予算額	67,000	33,500			33,500

目的
 駿河区の玄関口となる静岡駅南口駅前広場において、交通結節機能を強化するとともに、民間事業者による周辺開発と連携し、駅前街区を一体的に開発することにより、新しい生活様式を視野に入れた、政令市にふさわしい魅力ある空間を創出する。



事業概要
 静岡駅南口駅前広場における、交通結節機能の強化と、政令市の玄関口にふさわしい魅力ある空間を創出するため、事業計画作成に向けた測量及び関係者協議を実施する。

- 測量業務
 - ・現況測量 17,000㎡
 - ・路線測量 0.22km
 - ・用地測量 29,000㎡
- 静岡駅南口再整備事業実現に係る協議資料作成業務
 - ・再整備基本計画実現に係る関係者協議基礎資料作成



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	361,784	180,892	9,000	170,000	1,892
前年度予算額	281,790	140,895		100,000	40,895

目的	<p>JR静岡駅北口の新たな賑わい拠点創出を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門学校等の開学により日常的に若者が集うまち ・ ゆとりある歩行者空間の確保 ・ JR静岡駅地下道から静鉄新静岡駅への動線を強化
----	---



事業概要	<p>1 御幸町 9 番・伝馬町 4 番地区市街地再開発事業への助成 341,784千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○令和 4 年度の助成対象 <ul style="list-style-type: none"> ・ 既存建物除却、建築工事等 ○事業概要 <ul style="list-style-type: none"> ・ 施行区域 約0.3ha ・ 敷地面積 約2,000㎡ ・ 延床面積 約18,000㎡ ・ 階数 地下 1 階、地上15階 ・ 主要用途 商業、専門学校、事務所ほか ○スケジュール <ul style="list-style-type: none"> 令和 4 年度 建築工事着工 令和 5 年度 再開発ビル竣工 令和 6 年度 専門学校開学
	<p>2 駅前地下道と再開発ビルを接続する地下道工事に対する負担金 新規 20,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○令和 4 年度の負担対象 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地下埋設物移設工事 ○事業概要 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新規地下道延長 9.1m ○スケジュール <ul style="list-style-type: none"> 令和 4 年度 地下埋設物移設工事 令和 5 年度 地下道接続工事 令和 6 年度 地下埋設物復旧工事

JR静岡駅側から見たイメージ



地下道昇降口のイメージ



よりみちサロンのイメージ



【拡充】

大谷・小鹿まちづくり計画推進事業

大谷・小鹿まちづくり推進課
(新インターチェンジ周辺整備課)

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (5.5/10)	市債	その他	
当初予算額	402,796	116,587	200,900	80,000	5,309
前年度予算額	769,095	131,750	461,900		175,445

目的	大谷・小鹿地区まちづくり計画の実現に向け、土地区画整理事業による基盤整備を推進し、産業集積並びに新たな玄関口として魅力ある土地利用への転換を図る。
----	---



事業概要	1 大谷・小鹿地区のエリアマネジメントの検討に着手するための事業進捗に必要とする経費 新規 10,000千円 ○事業内容 ・ エリアプラットフォーム構築 ・ 将来ビジョンの検討
	2 恩田原・片山土地区画整理事業費助成 315,000千円 ○助成対象 ・ 道路、河川築造工事、出来形確認測量ほか 令和5年度 道路築造・移設補償 令和6年度 出来形測量
	3 恩田原・片山土地区画整理事業 29,000千円 ○事業内容 ・ 市道整備 (大谷川左岸大谷線 外1路線)
	4 宮川・水上土地区画整理事業費助成 新規 48,796千円 ○助成対象 ・ 権利調査・土地評価(換地設計準備)ほか 令和5年度 測量・補償調査・換地設計 令和6年度 実施計画・工事着手



【新規】

清水駅東口周辺歩行者ネットワーク整備事業

清水駅周辺整備課

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	75,300	23,760	51,500		40
前年度予算額					

目的
桜ヶ丘病院やフェリーターミナルの移転、民有地での次世代エネルギーや地域づくりの協議などを見据え、今後の清水駅東口周辺のまちづくりを視野に入れつつ、新たな人の流れに対応できるよう、歩行者の回遊性向上及び防災機能強化を図る。



事業概要

清水駅東口周辺歩行者ネットワーク整備事業

○事業内容

- ・清水駅東口ペDESTリアンデッキ詳細設計
- ・清水駅東口ペDESTリアンデッキ整備に係る地質調査

○事業スケジュール (予定)

- ・令和4年度 詳細設計・地質調査
- ・令和5～6年度 下部工工事・上部工工事
- ・令和7年度 供用開始

※第2期整備計画の検討開始予定



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	8,000	4,000		4,000	
前年度予算額					

目的

市、民間、地域など多様な主体が様々な取組を楽しむことができる開放的な「お堀」の空間を目指し、今後の利活用や保全に向けた社会実験を実施することで、他事業と連携しながらエリアの価値向上を図る。



事業概要

駿府城公園中堀の水辺環境を調査し、今後の利活用や保全に向けた社会実験を実施する。

- 1 実施箇所 静岡市葵区駿府城公園地内（駿府城公園中堀）
- 2 実施面積 約3.7ha（周長1.6km）
- 3 実施内容
 - 場づくり・コンテンツづくり
 - ・親水空間の活用検討ワークショップの開催
 - ・アクティビティや学術調査研究の実施
 - ・アンケート調査の実施
 - ・水質浄化実験の検討・実施
 - 体制づくり
 - ・産学官民が連携した組織の組成
- 4 スケジュール 令和4～5年度 社会実験の実施、組織設立
令和6年度～ 取組の本格実施、組織の自立



駿府城公園



駿府城公園 中堀

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	5,830				5,830
前年度予算額	4,700				4,700

目的
 古くからの釣場やハイキングコースとして広く市民に親しまれている鯨ヶ池周辺地区において、自然環境の保全と利活用を促進するための拠点施設の整備を行い、市内外からの誘客を図り、鯨ヶ池を中心とした賑わいと交流機会を創出する。



事業概要
 鯨ヶ池の周辺整備のあり方や地域連携等の基本的な取組方針として、令和2年度に「鯨ヶ池周辺地区整備構想」を作成した。
 令和4年度は周辺整備事業の実施に向け、周辺整備基本計画案についてのパブリックコメント及び費用対効果分析を実施する。
 ○都市公園事業費用対効果分析業務
 周辺整備事業について「大規模公園費用対効果分析マニュアル(国土交通省)」に則り、費用便益費(B/C)の算定を実施



鯨ヶ池



鯨ヶ池南側農地

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	318,862	139,000	125,100	16,900	37,862
前年度予算額					

目的	大浜公園を1年を通じて賑わいあふれる公園に整備し、利用者のニーズに答える満足度の高いサービスを提供するとともに、健全で持続可能な施設運営を目指す。
----	---



事業概要	1 大浜公園PFIアドバイザリー業務	37,862千円
	PFI方式等により実施する場合の民間事業者との契約に至るまでの各種手続きに係わる資料等の作成・支援	
	2 大浜公園再整備事業	281,000千円
	○設計	75,000千円
	○SPC設立費	3,000千円
	○施設解体費	203,000千円
	3 スケジュール	
	令和4年度	PFI事業者決定・契約・設計・建設着手
	令和5～6年度	建設（令和7年6月完成）
	令和7年度	リニューアルオープン（令和7年7月）
	令和7～21年度	維持管理・運営



大浜公園リニューアルの整備イメージ

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	25,800		14,700		11,100
前年度予算額	83,600	30,950	39,400		13,250

目的
麻機遊水地の治水機能を確保しつつ、自然再生推進法に基づく自然再生を通じた自立発展型の地域活性化を目指す協議会の運営及び保全活動等に対して負担金を支出するとともに、第1～3工区の環境整備を進める。



事業概要

- 浅畑緑地（第3工区）の仮設トイレ設置 10,000千円
○修繕費（仮設トイレ）
- 河川海岸環境整備事業負担金 8,000千円
○麻機遊水地第2-1工区加藤島エリア 緑道整備工事費
県が市及び地元の要望を受け、河川区域内における散策路や植栽等の整備を県市1/2ずつ費用を負担し、県が施工、完成後に市が管理を行う。
- 麻機遊水地保全活用推進協議会負担金 7,000千円
○麻機遊水地の自然再生と利活用を両輪とした取り組みを進める協議会に対する負担金の支出
- あさはた緑地（第1工区）の植生調査 800千円
○委託料（植生調査）
あさはた緑地（第1工区）の施設整備が令和3年度に完了予定のため、工事完了後の植生状況を把握する。

レンコン掘り体験
(写真はイメージ)



公園の活用



仮設トイレ
設置予定箇



カヤネズミ



ミズアオイ

遊水地の貴重な動植物

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2, 1/3)	市債	その他	
当初予算額	325,304	129,050	148,900	46,700	654
前年度予算額	378,312	167,409	177,600		33,303

目的	名勝日本平の特性を活かし、本市のシンボル公園として、市民のレクリエーションや観光、国際交流など、幅広い活動ができる場となるよう整備を行う。
----	---

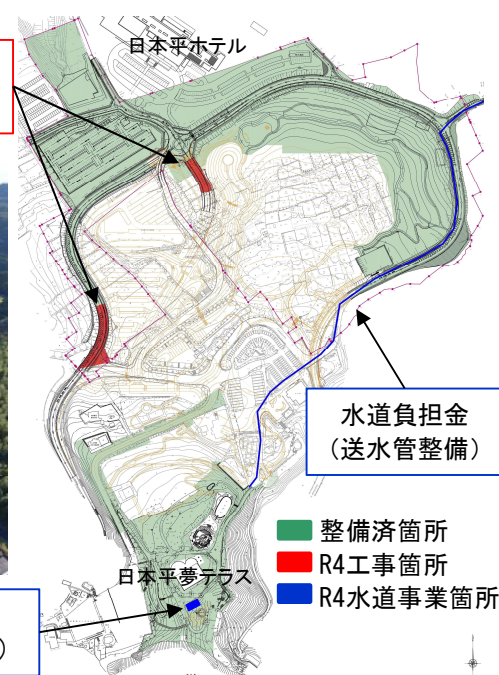


事業概要	○実施期間 平成22年度～令和18年度 ○事業箇所 有度山山頂部 ○令和4年度実施内容 ・公園施設整備（アクセス道路、園内道路整備） 129,640千円 日本平夢テラスのオープン後、多くの観光客が来園し、山頂周辺道路・駐車場で混雑が発生しており、交通環境の改善として、アクセス道路を整備する。 ・負担金（送水管整備、配水池整備、ポンプ場整備） 91,454千円 公園施設への水道供給確保のため水道施設を整備する。 ・用地取得関係 76,010千円 ・その他 28,200千円 計画改訂業務、除草業務ほか
------	--

工事箇所写真



アクセス道路整備
園内道路整備



水道負担金
(送水管整備)

水道負担金
(配水池整備)

整備済箇所
R4工事箇所
R4水道事業箇所

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	20,230	10,115			10,115
前年度予算額	23,000	11,500			11,500

目的	地震による倒壊、転倒の危険性のあるブロック塀等の撤去、または改善にかかる費用の一部を助成することで、耐震化を促進し、人的被害や通行障害を防止し、公共の安全を確保する。
----	---



事業概要	<p>通学路・避難路沿い等のブロック塀等(※)の撤去及び緊急輸送路沿い等のブロック塀等の改善にかかる費用の一部を助成する。</p> <p>1 撤去 20,010千円 ○倒壊や転倒の危険性のある通学路・避難路沿い等のブロック塀等の撤去にかかる費用の一部を助成 ・補助率 工事費用と基準額(20,000円/m)を比較して少ない額の2/3(上限額100千円)</p> <p>2 改善 220千円 ○緊急輸送路沿い等のブロック塀等の撤去後に、安全な塀の新設にかかる費用の一部を助成 ・補助率 工事費用と基準額(38,400円/m)を比較して少ない額の2/3(上限額250千円)</p> <p>※ブロック塀等 コンクリートブロック塀、石塀、レンガ塀</p>
------	--



【実施前】



【実施後】

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 <small>(国1/2、県10/10、3/8、3/10)</small>	市債	その他	
当初予算額	129,254	102,162			27,092
前年度予算額	185,582	138,001			47,581

目的	民間の住宅や建築物の耐震対策にかかる費用の一部を助成することで、南海トラフ巨大地震等発生時における人的被害及び物的被害の減少を図る。
----	--



事業概要	<p>1 木造住宅耐震事業費助成 117,399千円</p> <p>○わが家の専門家診断事業（耐震診断） 昭和56年5月以前に建築された木造住宅を対象に、専門家を無料で派遣し耐震診断を行う。</p> <p>○木造住宅耐震事業（補強計画・補強工事） 昭和56年5月以前に建築された木造住宅の所有者に対し、補強計画及び補強工事にかかる費用の一部を助成する。 ・補助率 補強計画と補強工事の費用の8/10 （上限額1,000千円）※条件によっては（上限額1,150千円）</p> <p>2 特定建築物耐震事業（耐震診断） 11,855千円</p> <p>○特定建築物（※）の所有者に対し、耐震診断にかかる費用の一部を助成する。 ・補助率（診断）診断費用と基準額（単価×面積）を比較して少ない額の2/3</p> <p>※特定建築物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時に重要な機能を果たす建物、多数の者に危険が及ぶおそれのある建築物 ・原則3階以上かつ、1,000㎡以上の建築物 ・昭和56年5月以前に着工された建築物
------	---



補強前



補強中



補強後

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (3/5)	市債	その他	
当初予算額	2,987	1,791			1,196
前年度予算額	20,330	11,278			9,052

目的
 避難・救急・消火・緊急物資の輸送等の機能を担う、緊急輸送ルート沿道の建築物の耐震対策にかかる費用の一部を助成することで、南海トラフ巨大地震等発生時における建築物の倒壊による道路の閉塞を防止し、通行を確保する。



事業概要

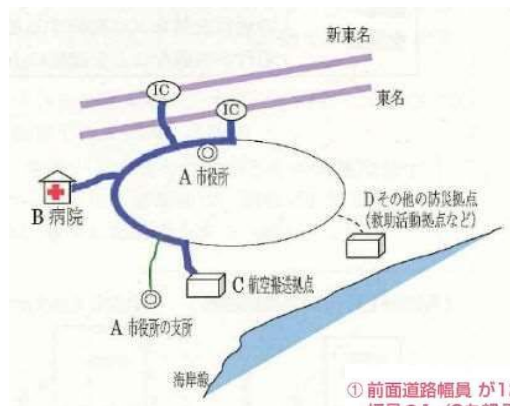
要安全確認計画記載建築物（※）の所有者に対し、補強計画にかかる費用の一部を助成する。

○補助率（計画） 計画費用と基準額（単価×面積）を比較して少ない額の5/6（上限額5,230千円）

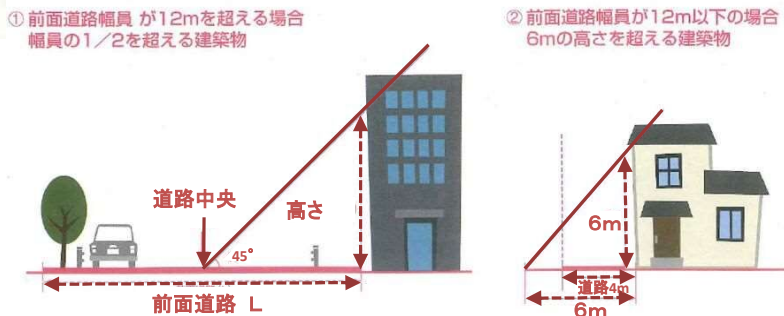
- ・ 要安全確認計画記載建築物 38棟
 うち助成対象建築物（旧耐震民間建築物）31棟
- ・ 令和4年度 補強計画助成 2棟 2,987千円
- ・ 今後の予定 補強計画助成 3棟程度/年
 補強工事助成 1棟程度/年

※要安全確認計画記載建築物

- ・ 緊急輸送ルート沿道の建築物で、高さが道路幅員の半分を超える建築物
- ・ 昭和56年5月以前に着工された建築物



【緊急輸送ルート】



【対象建築物】

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (4.5/10)	市債	その他	
当初予算額	59,000	26,550	19,900		12,550
前年度予算額	20,000	9,000			11,000

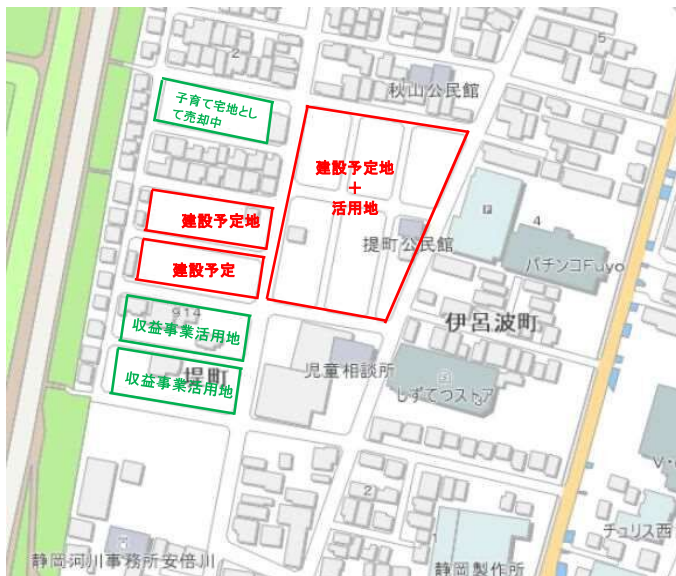
目的
「静岡市アセットマネジメント基本方針」に基づき、市営住宅の再編・集約化を進めることで、市民ニーズに合った適切な整備水準を確保する。



事業概要

- 葵区堤町団地の整備
市営住宅の効率的な建替や改善を行うため、建替等の対象団地に入居している方の一時移転先や、用途廃止後の移転先として堤町団地を整備する。令和4年度は、新築のための基本・実施設計と地質調査を実施する。
- 事業概要
 - ・場所 葵区堤町914番地191 ほか
 - ・建築概要 4棟 (60戸程度)
- スケジュール
 - 令和4年度 基本・実施設計、地質調査
 - 令和5年度 1・2号棟建設 (15戸×2棟 30戸程度)
 - 令和6年度 1・2号棟供用開始
 - 令和7年度 3・4号棟建設 (15戸×2棟 30戸程度)
 - 令和8年度 3・4号棟供用開始

位置図、写真(葵区堤町)



建 設 局

建設局 当初予算のポイント

令和4年度（2022年度）の目指す姿

～活発な経済活動や快適な市民生活を支える強靱な社会基盤を有するまちの実現～

感染症や自然災害等から市民の命と暮らしを守り抜き、未曾有の危機を克服し、ポストコロナの新たな経済社会を実現

令和4年度的主要な取組

I 地域連携や交流の拡大に貢献する道路の整備と活用を推進

11,847,254千円（うち2月補正1,168,000千円）

1 広域交通ネットワークの強化

- ①[継続] 国道1号静岡バイパス整備促進事業
- ②[継続] ICアクセス道路整備事業
- ③[継続] 中部横断自動車道の整備促進事業
- ④[継続] 地域高規格道路(静岡南北道路)調査検討事業



国道1号静岡バイパス(清水立体)

2 道路網の整備による交流機能の向上

- ①[継続] 市道の整備事業
- ②[継続] 都市計画道路の整備事業
- ③[継続] 国道・県道の整備事業
- ④[継続] 南アルプスユネスコエコパークを活かす道路整備事業
- ⑤[継続] 羽衣海岸線、清水港三保線の整備事業
- ⑥[継続] 道の駅整備事業



150号静岡バイパス(中島高架橋)

II 道路利用者の安全性・快適性向上のため、道路環境の改善を推進

1,108,400千円（うち2月補正93,400千円）

1 道路の安全性の向上

- ①[継続] 交通安全施設整備事業(通学路対策)

2 自転車走行空間の整備

- ①[継続] 交通安全施設整備事業(自転車走行空間整備)

3 道路環境の快適性の向上

- ①[継続] 交通安全施設整備事業(道路の無電柱化)
- ②[継続] 交通安全施設整備事業(道路のバリアフリー化)



歩行者・自転車の安全を確保

Ⅲ 持続可能な運営を図るため、維持管理・更新を計画的に推進

4,373,376千円（うち2月補正371,710千円）

1 維持管理計画に基づいた対策の推進

- ①〔継続〕 道路舗装整備事業
- ②〔継続〕 橋りょう整備事業(道路橋の維持管理)
- ③〔継続〕 橋りょう整備事業(トンネル補修)



(県)静岡焼津線 石部海上橋

2 環境・省エネルギー

- ①〔継続〕 道路照明灯のLED化等

3 市民・企業との協働・連携による維持管理・活用の推進

- ①〔継続〕 道路サポーター制度の利用促進

Ⅳ 自然災害に耐えうる社会基盤の強靱化を推進

3,095,224千円（うち2月補正122,450千円）

1 施設の耐震化等の推進

- ①〔継続〕 橋りょう整備事業(道路橋の耐震化)
- ②〔継続〕 河川構造物耐震・津波対策事業



浸水対策推進プラン(谷沢沢川)

2 浸水対策の推進

- ①〔継続〕 河川改修事業

3 災害時の対策及び体制強化

- ①〔継続〕 道路自然災害防除事業(法面对策)
- ②〔継続〕 急傾斜地崩壊対策事業
- ③〔継続〕 地籍調査事業



公図：明治の地租改正に伴い
作られた図面



地籍図：境界が正確な地図

Ⅴ 企業版ふるさと納税活用事業

3,500千円（うち2月補正0千円）

〔新規〕 日本遺産駿州の旅発信 安倍川橋建設100周年事業

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (5.5/10、1/2、3.4/10)	市債	その他	
当初予算額	4,715,367	1,199,367	3,487,700		28,300
前年度予算額	3,722,567	1,068,217	2,639,700		14,650

目的	新東名高速道路、中部横断自動車道、(国)1号静岡バイパス、清水港などと連携した道路ネットワークを構築し、産業や観光を活性化するとともに、市内の緊急輸送路等の防災機能を向上させる。
----	---



事業概要	<p>1 港湾、ICアクセス道路整備 1,540,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (国)150号(静岡バイパス、久能拡幅) ・ (主)井川湖御幸線(下～松富上組) ・ (主)山脇大谷線(小鹿～宮川) <p>2 (国)1号静岡バイパスの整備促進 3,166,667千円 (国直轄道路事業負担金)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (国)1号静岡バイパス清水立体事業 <p>3 地域高規格道路(静岡南北道路)調査検討 8,700千円</p> <p>※上記以外の国県道・市道の整備 4,774,509千円 (事業費に含まない)</p>
------	---

【道路ネットワークの構築】

① 新東名高速道路及び中部横断自動車道とのアクセス

- ◆(国)150号久能拡幅
駿河区根古谷～清水区蛇塚の現道拡幅(現状2車線 ⇒ 4車線)
- ◆(主)山脇大谷線(小鹿～宮川)
駿河区小鹿～駿河区宮川区間におけるバイパス整備事業



(国)150号(久能拡幅)



(主)山脇大谷線(小鹿～宮川)

② (国)1号静岡バイパスの立体化

清水区横砂東町～八坂西町を結ぶ延長2.4kmの高架化

道の駅整備事業

道路計画課

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	3,030				3,030
前年度予算額					

目的	道の駅基本構想を踏まえ、本市に新たに設置する道の駅の最適地を選定し、選定地における整備方針、規模、導入施設、事業手法などの構想・計画を取りまとめる。
----	--



事業概要	<p>静岡市道の駅基本構想に記載した検討過程に基づき、整備検討路線ごとの調査・検討を行ったうえで基本計画を策定し、新たな道の駅を整備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ トライアルサウンディングの実施 ・ トライアルパーク蒲原及び周辺地域における実施効果の検証（利用実態調査等の実施）
------	--

道の駅のコンセプト

— しずおかの“イキ”が集まる道の駅 —

行き交う（交流） 行き先（目的地化） 広域 地域 生き 粋 生きがい 生きる

6つの基本方針

基本方針1：市内外からヒト・モノを呼び込み、送り出す交流拠点 都市の発展
 静岡市へのアクセスの良さ、道路ネットワークを活かし、ヒト・モノの交流拠点をつくる

基本方針2：しずおかを発信する基地 都市の発展
 ここに来れば静岡市のことが何でもわかる、静岡市に触れられる、そんな情報発信の基地をつくる

基本方針3：誰もがまた来たくなる場所 暮らしの充実
 地域の人たちが活躍することで、誰もが親しみを持ち、何度でも訪れたくなる場所をつくる

基本方針4：困ったときに誰もが頼るよりどころ 暮らしの充実
 福祉機能を充実させて市民生活を守り、災害時には防災拠点として活躍する“よりどころ”をつくる

基本方針5：みんなで支える工夫の結集地点 つくり方
 機能を維持し続けるため、計画・建設・維持管理・運営のすべてで、産学官金民の工夫を結集させる

基本方針6：新しい発想の創出地点 つくり方
 産学官金民のアイデアを積極的に取り入れ、新たな取り組みにも挑戦し続ける

（千円）

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (5.5/10)	市債	その他	
当初予算額	301,100	144,837	122,600		33,663
前年度予算額	394,300	198,000	159,400		36,900

目的	歩行者が、安心して通行できる道路空間の提供
----	-----------------------



事業概要	<p>通学路交通安全プログラムに基づき、通学路における交通安全対策を実施する。</p> <p>○主な整備手法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩道整備 歩道を整備し、安全な歩行空間を確保 ・歩行空間のカラー化 路側帯をグリーンに着色し、歩行者の通行位置を明示 <p>○主な整備予定箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（主）静岡清水線（大内） ・（県）平山草薙停車場線（瀬名三丁目外） ・丸子新田広野三丁目線（下川原三丁目外） ほか
------	---

○歩道整備



○歩行空間のカラー化



橋りょう整備事業（道路橋の維持管理・耐震化、トンネル補修） 道路保全課

（千円）

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (5.5/10、1/2、3.4/10)	市債	その他	
当初予算額	3,329,750	1,666,705	1,317,500	39,550	305,995
前年度予算額	2,967,453	1,524,400	1,095,600	38,062	309,391

目的	道路橋の損傷を早期補修することによる長寿命化、大規模災害に対し橋桁の落下や倒壊を防止するための耐震化、並びに、トンネルの補修や設備更新等を実施することで、安心して安全に通行できる道路環境を確保する。
----	---



事業概要	1 道路橋の健全化事業 2,132,650千円
	○内容 ・ 腐食鋼部材塗替えや断面補修 等 ・ 5年に一度の定期点検の実施 ○主な整備予定箇所 ・ (県) 三ツ峰落合線（京塚橋） ・ (県) 静岡朝比奈藤枝線（牧ヶ谷橋）ほか
	2 道路橋の耐震化事業 907,900千円
	○内容 ・ 橋脚の巻立て補強、落橋防止装置の設置 等 ○主な整備予定箇所 ・ (県) 静岡焼津線（石部海上橋） ・ (県) 富士由比線（寺尾橋）ほか
	3 道路トンネルの補修事業 289,200千円
	○内容 ・ トンネル設備の更新・点検 等 ○主な整備予定箇所 ・ (国) 150号（新日本坂トンネル）ほか

○道路橋健全化事業(鋼桁塗替え)



○道路橋耐震化事業(橋脚巻立て)



河川構造物耐震・津波対策事業

河川課

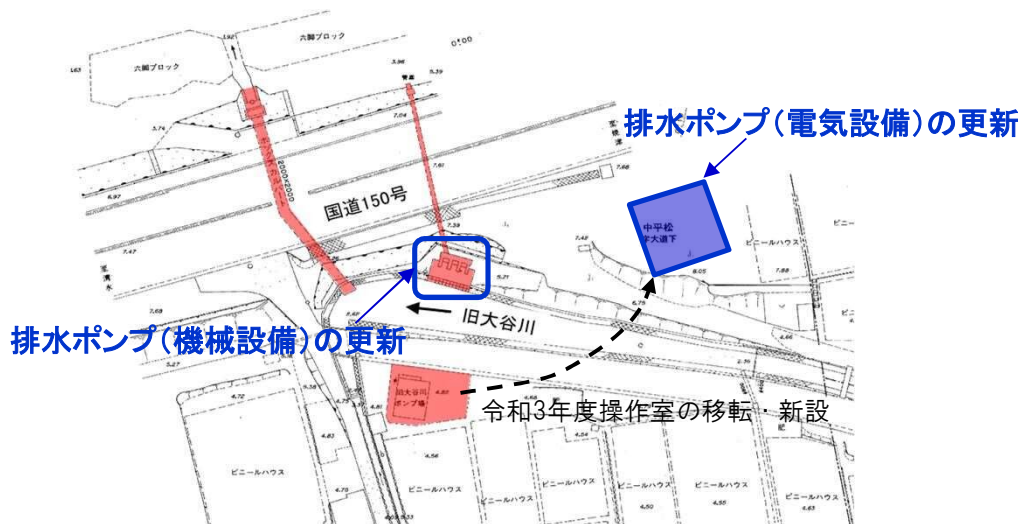
(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	255,000		255,000		
前年度予算額	72,000		72,000		

目的
市が管理している重要な河川構造物の耐震化・津波対策を進め、地震、津波に対する被害軽減を図る。



事業概要
駿河区中平松に設置してある旧大谷川排水ポンプは、津波浸水想定区域内に位置し、設置から39年経過している。
○令和3年度 耐震・耐津波対策のため操作室を高台に新築
○令和4年度 ポンプ設備（機械電気）の更新



旧大谷川排水ポンプ(駿河区中平松)

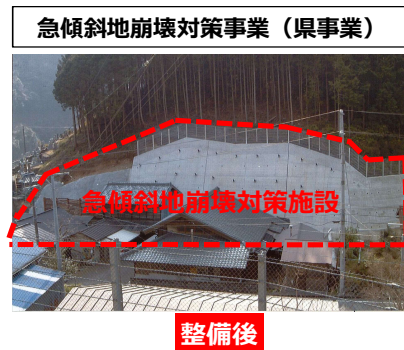
(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	96,188		66,500		29,688
前年度予算額	93,988		66,500		27,488

目的	急傾斜地の崩壊による災害から市民の生命を守るため、急傾斜地崩壊対策事業を実施し、災害の未然防止を図る。
----	---



事業概要	<p>「急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律」に基づき実施する事業</p> <ol style="list-style-type: none"> <p>県の対策工事に係る業務 ほか 18,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○県の対策事業に係る調査・測量、調書作成 葵区梅ヶ島、松野、新間和田、清水区村松、小島町、蜂ヶ谷、他 <p>既成宅地防災施設設置費助成制度 10,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○保全人家4戸以下の危険箇所に住する住民が行う土砂災害防止施設の設置費用を助成 ・補助率 工事費の1/2以内 ・補助額 最大5,000千円 <p>急傾斜地崩壊対策事業負担金 66,500千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○県が実施する急傾斜地崩壊防止事業に係る負担金 ・負担率 工事費の1/10以内
------	--



避難の時間を稼ぐ施設を設置



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (3/4)	市債	その他	
当初予算額	84,259	37,695		30	46,534
前年度予算額	49,434	21,292		30	28,112

目的
 国土調査法に基づき、地籍（地番・地目・境界・面積・所有者等）を明確にするために行っている。また、地籍調査で確認した境界情報等（測量成果）を、被災後のまちづくりに活用し早期復興を円滑化させる効果が着目されている。



事業概要

- 調査地区の拡大等
 - 優先調査地区（津波浸水想定区域）
 - ・清水区築地町・港町二丁目地区（総対象面積 0.12km²）
 - ・清水区千歳町外1地区（総対象面積 0.16km²）
 - ・清水区辻1丁目外6地区（総対象面積 0.25km²）
 - 継続地区
 - ・清水区蒲原地区（総対象面積 0.14km²）
 - ・駿河区用宗地区（総対象面積 0.22km²）
 - ・駿河区下川原地区（総対象面積 0.10km²）
- 効果的な調査手法等の採用
 - モバイル・マッピング・システムの活用（国の採択事業）
 - 道路整備等の他の公共事業の測量成果を活用した地籍整備の推進（国土調査法第19条第5項による指定）



地籍調査前（公図、字限図）



地籍調査後（地籍図）

表題部（土地の表示）		調製	余白	不動産番号	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2
地図番号	A11-2	筆界特定	余白		
所在	〇〇市〇〇町二丁目			余白	
①地番	②地目	③地積	m ²	原因及びその日付〔登記の日付〕	
218番	畑		120	余白	
余白	宅地		135.57	②③錯誤、国土調査による成果 〔平成30年7月2日〕	

登記簿の書き換え

* 国土交通省HP「地籍調査Webサイト」より引用

【新規】

日本遺産駿州の旅発信 安倍川橋建設100周年記念事業 道路計画課

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	3,500			1,750	1,750
前年度予算額					

目的

「駿州の旅」日本遺産に認定された東海道に架かる安倍川橋が令和5年で100周年を迎える。この貴重な資源を、東海道の魅力発信に活用し、後世へと受け継いでいくため、記念事業を実施する。また、道路行政への関心や理解を深めるきっかけとする。



事業概要

○安倍川橋建設100周年記念事業

橋名板復元プロジェクト
・橋名板の復元、制作、取付

寄附予定企業：三井住友建設株式会社
※ 記念事業の企画や実施についても連携予定

建設当時



昭和9年11月（写真提供：山梨写真館）

東西の入口に掲げられた橋名板。昔の写真では読み取れる「安倍川橋」の文字が、現在はありません。

安倍川橋建設100周年を記念し、橋名板の復元を行います。



現在



消 防 局

消防局 当初予算のポイント

令和4年度(2022年度)の目指す姿



～ 災害から住民の生命や財産を守り、安全・安心に暮らせるまちの実現 ～

住民生活を脅かす災害は、甚大な被害が想定される南海トラフ地震や頻発する大型台風及び局地的な大雨による風水害の他、新型コロナウイルスの流行等、目に見えない脅威との戦いも強いられています。

消防局は、いかなる災害に対しても、住民の生命、身体及び財産を守ることを最優先とし、可能な限り被害を軽減するため、住民や関係機関と協力・連携し、災害に備え、立ち向かうまちづくりを推進します。

課題

～ 住民生活を脅かす災害による被害の軽減のため、更なる消防力の強化 ～

巨大地震による甚大な被害の想定

管轄の3市2町の最大死者数
(静岡県地震被害想定)

第3次想定
約2,200人



第4次想定
約33,000人

集中豪雨などによる風水害の多発



大型台風や局地的な大雨等の多発により、市内でも冠水等の被害が発生しており、**風水害における災害出動件数は増加している。**

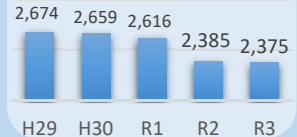
複雑・多様化する災害



大規模倉庫火災等の特殊火災や、テロ等の武力攻撃事態、新型コロナウイルス感染症の流行等、**様々な災害が、複雑・多様化している。**

減少する消防団員

消防団員数の推移



全国的に消防団員が減少しており、本市においても消防団員は減少傾向にある。地域防災力の低下を防ぐため、**消防団員の確保が喫緊の課題**となっている。

令和4年度の主な取組

I 災害対応力の強化 10,660千円 (0千円)

① [新規] 安全対策課の設置 10,660千円 (0千円)

- ・警防課の「災害機動支援・部隊管理室」を再編し、警防部に「安全対策課」を設置
- ・火災現場等で活動する災害機動支援隊の配置、安全管理支援隊等の指定
- ・消防隊員の安全管理と教育訓練の強化
(現場指揮隊・小隊長研修、警防活動検討会等)
- ・各消防署に「職員安全指導係」を設置



II 火災予防の推進 20,146千円 (21,780千円)

① [継続] 火災被害の低減 16,535千円 (18,080千円)

- ・住宅用火災警報器の設置及び維持管理の推進
- ・放火防止対策の強化

② [継続] 消防法令違反の是正 3,611千円 (3,700千円)

- ・重大違反対象物等に対する重点的な立入検査の実施



III 救急体制の充実 31,540千円 (24,895千円)

① [継続] 安定した救急体制の維持 23,763千円 (24,895千円)

- ・感染防護用消耗品の備蓄

② [新規] 救急隊員の感染症対策 7,777千円 (0千円)

- ・救急隊員資格者に対する4種類のワクチン接種
(麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎)



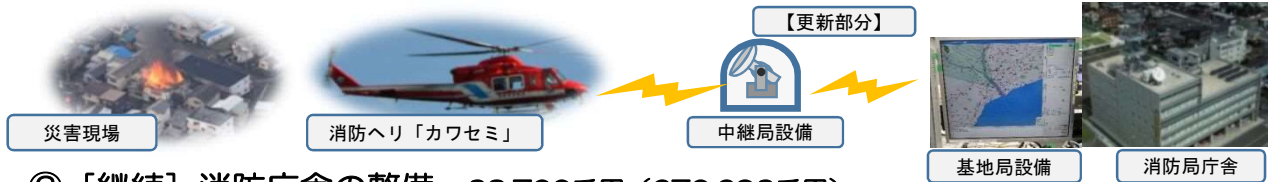
IV 施設整備等の強化 885,013千円（1,320,303千円）

1 消防施設の整備

① [新規] 映像伝送システムの更新 207,000千円（0千円）

駿河区東新田高層団地屋上に設置されている、ヘリコプターテレビ中継局設備をアナログ方式からアナログ・デジタル併用式に更新し、安定稼働により災害対応力の強化を図る。

- ・高画質の映像を受信可能
- ・中継できるエリアが拡大
- ・早期の被害全容の把握



② [継続] 消防庁舎の整備 23,700千円（670,692千円）

静岡市アセットマネジメント基本方針に基づき、老朽化した消防庁舎を計画的に保全し、施設の長寿命化を図る。

- ・中規模改修工事 2施設



③ [継続] 消防団庁舎の整備 101,955千円（107,391千円）

静岡市消防団施設整備計画に基づき、地域防災力の拠点となる非耐震の消防団施設を建替え、消防団の充実強化を図る。（耐震化率推進 81.3%）

- ・建設、解体工事 1箇所
- ・解体工事 1箇所
- ・設計、地質調査、測量 3箇所
- ・建設用地取得 1箇所

令和2年度 完成
清水第16分団
(承元寺)



2 消防車両等の整備

① [継続] 常備・非常備消防車両等の購入 552,358千円（542,220千円）

現有消防力の維持を図るため、静岡市消防局消防車両等更新計画に基づき、車両及び資機材を整備する。

- ・常備消防装備整備事業 12台・7式
- ・非常備消防装備整備事業 16台



V 消防団の充実強化 174,247千円（2,966千円）

1 消防団員の処遇改善

① [新規] 出勤報酬の創設 171,052千円（0千円）

消防団員の処遇改善のため、新たに「出勤報酬」制度を創設し、出勤区分及び活動時間に応じた報酬を支給する。

- ・支給額 災害対応：4時間未満 4,000円、4時間以上 8,000円
- 災害対応以外：4時間未満 2,000円、4時間以上 3,500円

2 消防団員の確保に向けた施策

① [継続] 機能別団員の入団促進 1,543千円（1,624千円）

災害活動のみを任務とする「機能別団員」の確保に向け、消防団員OB及び消防職員OBを対象として制度の周知を行う。



② [継続] 広報活動の強化・各種制度の周知 1,652千円（1,342千円）

カラーガード隊による広報活動及び各種媒体を用いた情報発信により、消防団活動を広く市民に周知する。

「消防団協力事業所表示制度」、「消防団応援の店」及び「学生消防団活動認証制度」等の説明会を継続して開催する。



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	23,700		17,700		6,000
前年度予算額	670,692		617,200		53,492

目的	市民の安全・安心に資する施設として重要な役割を担う常備消防庁舎施設を、静岡市アセットマネジメント基本方針に基づき計画的に保全を実施し、施設の長寿命化を図る。
----	--



事業概要	<p>消防庁舎施設保全事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○鎌田出張所（中規模改修工事） <ul style="list-style-type: none"> ・改修内容 外壁改修、屋上防水 ・工事期間 令和4年度内完了予定 ○平和出張所（中規模改修工事） <ul style="list-style-type: none"> ・改修内容 外壁改修、屋上防水 ・工事期間 令和4年度内完了予定
------	--



○駿河消防署鎌田出張所
 建築年月：昭和49年3月（築47年）
 構造規模：RC造一部S造
 地上2階建て
 延床面積：436.55㎡
 配置車両：消防車1台、救急車1台



○葵消防署平和出張所
 建築年月：昭和58年3月（築38年）
 構造規模：RC造
 地上2階建て
 延床面積：387.01㎡
 配置車両：消防車1台

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	101,955		98,400		3,555
前年度予算額	107,391		80,700	18,712	7,979

目的	災害に強く安全・安心に人々が暮らせるまちづくりのため、老朽化の著しい施設及び耐震性の劣る施設を建替えることにより、地域の防災拠点施設である消防団庁舎の機能を確保する。
----	---



事業概要	消防団庁舎建設事業
	<ul style="list-style-type: none"> ○静岡第37分団（坂ノ上）建設・解体工事 <ul style="list-style-type: none"> ・供用開始 令和4年度末予定 ○静岡第17分団（上土）設計・地質調査・測量 <ul style="list-style-type: none"> ・供用開始 令和5年度末予定 ○静岡第26分団（平山）設計・地質調査・測量 <ul style="list-style-type: none"> ・供用開始 令和5年度末予定 ○清水第11分団（押切）設計・地質調査・測量・用地取得 <ul style="list-style-type: none"> ・供用開始 令和5年度末予定 ○静岡第36分団（黒俣）解体工事 <ul style="list-style-type: none"> ・工事期間 令和4年度内完了予定



静岡第37分団(坂ノ上)



静岡第17分団(上土)



静岡第26分団(平山)



清水第11分団(押切)



静岡第36分団(黒俣)

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (定額、1/3)	市債	その他	
当初予算要求額	552,358	26,182	431,900	88,640	5,636
前年度予算額	542,220	31,079	442,300	67,258	1,583

目的	消防車両等更新計画に基づき車両及び資器材を整備し、現有消防力の維持を図る。
----	---------------------------------------



事業概要	1 常備消防装備整備事業 412,624千円 ○水槽付消防ポンプ自動車 2台 ○小型動力ポンプ付水槽車 1台 ○高規格救急自動車 7台 ○高規格救急自動車資器材 7式 ○指揮車 1台 ○連絡車 1台
	2 非常備消防装備整備事業 139,734千円 ○消防ポンプ自動車 (CD-I型) 4台 ○小型動力ポンプ積載車 6台 ○小型動力ポンプ (B-3級) 6台

【常備消防装備整備事業】



水槽付消防ポンプ自動車



小型動力ポンプ付水槽車



高規格救急自動車

【非常備消防装備整備事業】



消防ポンプ自動車 (CD-I型)



小型動力ポンプ積載車



小型動力ポンプ (B-3級)

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	174,247				174,247
前年度予算額	2,966				2,966

目的

地域防災の中核を担う消防団員の処遇改善及び入団促進を行うことにより、消防団員を確保し、地域防災力の充実強化を図る。

事業概要

本市において、消防団員の確保は喫緊の課題であることから、これまでの実施事業の更なる浸透及び発展に併せ、令和4年度から新たに「出動報酬制度」を創設し、消防団員の処遇改善を図るとともに、各種入団促進事業及び広報事業を継続実施する。

- 1 出動報酬制度の創設 **新規** 171,052千円
○消防団員の処遇改善のため、出動区分及び活動時間に応じた「出動報酬」を支給
- 2 機能別団員の入団促進 1,543千円
○災害対応に必要な知識・技術を有し、即戦力となる元消防団員及び元消防職員を対象とした機能別団員の入団促進
- 3 広報活動の強化・各種制度の周知 1,652千円
○消防団のイメージアップのため、カラーガード隊の地域に密着したイベントへの出演
○消防団活動の情報発信のため、静岡市消防団公式Facebookの活用
○Jリーグの試合が行われる際、IAIスタジアムアストロビジョンやパブリックビューイングにおける消防団募集動画の放映
○消防団協力事業所表示制度の周知のため、商工会議所への説明会を実施
○学生消防団活動認証制度の周知のため、学校及び商工会議所への説明会を実施
○「消防団応援の店」の協力店舗数拡大及び消防団員への周知

【消防団員入団促進活動】



【消防局 消防フェア】

【カラーガード隊による演技風景】



【静岡大学 学園祭】

【新規】

映像伝送システム更新事業

指令課

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	207,000		207,000		
前年度予算額					

目的 消防ヘリコプターで撮影した映像を指令センターへ伝送するためのヘリコプターテレビ中継局設備をアナログ及びデジタル方式に更新することで、災害対応力を強化し、住民の安全・安心を確保する。



事業概要

映像伝送システム更新事業

○ヘリコプターテレビ中継局設備更新

- ・更新内容 1基
- ・更新期間 令和4年度内完了予定

平成19年に駿河区東新田高層団地屋上に構築したヘリコプターテレビ中継局設備を更新し、アナログ方式からアナログ及びデジタル方式へと変更するもの。



上 下 水 道 局

上下水道局 当初予算のポイント

令和4年度（2022年度）の目指す姿

健全で強靱な上下水道を、子どもたち、孫たちの世代に引き継ぎ、現在のサービス水準を維持・向上していく、持続可能な上下水道事業の実現。

令和4年度の主な取組

水道事業

1 水道基盤の強化

拡充 管の耐震化・老朽化対策 4,964,157千円（前年度 3,979,035千円）

管総延長2,600kmを平均83年（管路更新率1.2%）で更新する目標の達成

		R1(実績)	R2(実績※)	R3(予算)	R4(予算)
延長	計画値	9.0km	15.6km	23.4km	31.3km
	実施	8.3km	11.6km	24.3km	31.4km
更新率	計画値	0.34%	0.6%	0.9%	1.2%
	実施	0.32%	0.44%	0.93%	1.2%

※R2の発注ベースの実績は、延長：19.3km、更新率：0.64%



管の耐震化・老朽化対策

更新率向上に向けた取組

【継続】債務負担行為の活用 15工事 大規模発注等 19工事

継続 施設の耐震化・老朽化対策 1,292,481千円（前年度 2,839,462千円）

重要施設の耐震化・老朽化対策の実施

主な施設	R1	R2	R3	R4
清水谷浄水場（老朽）				設備更新等
日本平観光地水道配水池（耐震）				土木工事等
向敷地配水池（耐震）				土木工事等
門屋取水場（耐震）				設備工事等



清水谷浄水場
非常用自家発電設備の更新
上：更新前 下：更新後

2 アセットマネジメントによる事業の最適化

継続 施設の効率化（小規模化・統廃合等） 214,621千円（前年度 36,000千円）

蒲原城山配水池改修工事[小規模化]、八幡配水場改良関連工事[増強] ほか



蒲原城山配水池

3 危機管理体制の強化

拡充 危機管理体制の強化 10,778千円（前年度 1,955千円）

○給水拠点の整備（新整備手法の導入に係る実施設計業務委託） 7,000千円

○情報伝達強化のためのマルチ無線機の増設（10台→32台） 3,778千円



従来の耐震性貯水槽(埋設中)

4 新たなニーズへの対応

新規 グリーン・カーボンニュートラル 127,776千円【一部再掲】

○省エネ効率の高い（CO2削減）ポンプ等更新工事等 3件 114,776千円

○脱炭素水道システム構築へ向けた施設調査業務委託 13,000千円

拡充 デジタル化推進 24,603千円（前年度 4,527千円）【一部再掲】

○フロントオフィスの充実（デジタル技術を活用したサービス導入計画の策定支援） 9,889千円

○バックオフィスの充実（施設の連携効率化のための管網解析システムの導入） 10,703千円

○ " (水道料金及び下水道使用料徴収システムの再構築) - 千円（債務負担行為）ほか



令和4年度の主な取組

下水道事業

1 下水道管・施設の強靱化 5,674,858千円

拡充 重要な管・施設の地震対策 1,361,436千円（前年度 1,081,065千円）

緊急輸送路下や防災拠点と浄化センターを接続する等の重要な管について、管の内面を補強する管更生工等により耐震化を実施。

○高松処理区外

下水道管路施設耐震化工事 645,200千円

○高松処理区

田町稲川遮集幹線耐震化工事 285,000千円



耐震化施工前



耐震化施工後

拡充 管・施設の老朽化対策 4,313,422千円（前年度 3,579,611千円）

アセットマネジメント手法を用い、経年劣化が原因で起こる重大な道路陥没事故や施設の処理機能の低下を未然に防止。

○高松処理区

下水道管路施設改築工事 595,800千円

○清水南部浄化センター

新系最初沈殿池設備改築工事 209,263千円

2 浸水対策の推進 2,164,340千円

(重点プロジェクト) ※別紙

継続 浸水対策 2,164,340千円（前年度 3,205,317千円）

浸水対策推進プランに基づき、浸水対策地区において、

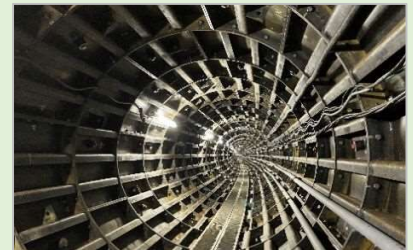
雨水幹線、雨水ポンプ場などの基幹施設整備を着実に実施。

○追分二丁目地区 大沢雨水1号幹線整備 844,000千円

○城北二丁目地区 唐瀬1号雨水幹線整備 427,000千円

○川岸町・渋川地区

渋川雨水1号幹線及び渋川雨水ポンプ場整備 170,000千円



工事中の渋川雨水1号幹線の様子

3 水環境の保護・改善 1,875,802千円

拡充 水環境の保護・改善 1,875,802千円（前年度 1,549,957千円）

下水道の未普及解消のため、下水道事業計画区域内の整備を実施。

○中島処理区（大谷、服織、中島地区外） 486,000千円

○静清処理区（興津、長崎、飯田地区外） 480,000千円



汚水管新設状況

4 新たなニーズへの対応 118,852千円

新規 グリーン・カーボンニュートラル 113,136千円【再掲】

○温室効果ガス削減に向けた取り組みの検討（創エネルギー・省エネルギー導入可能性調査） 25,960千円

拡充 デジタル化推進 5,716千円

○フロントオフィスの充実（デジタル技術を活用したサービス導入計画の策定支援） 4,451千円

○バックオフィスの充実（工事写真等既存書類の電子化） 1,100千円

(千円)


	事業費	特定財源			一般財源、 損益勘定留保 資金等
		国・県支出金 (5.5/10, 1/2)	市債、企業債 (100%)	その他	
当初予算額	2,196,340	694,000	1,410,700		91,640
前年度予算額	3,261,317	983,120	2,147,080		131,117

目的	ゲリラ豪雨や台風に強いまちを実現し、市民の大切な生命と財産を守る。
----	-----------------------------------

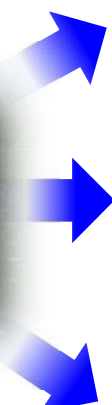



事業概要	<p>【河川事業】 当初予算額 32,000千円 浸水対策推進プランに基づく河川改修事業の実施 ・谷津沢川改修（清15 馬走地区）</p> <p>【下水道事業】 当初予算額 2,164,340千円 雨水幹線、雨水ポンプ場などの整備 ・大沢雨水1号幹線築造工事（清3 追分二丁目地区） ・唐瀬1号雨水幹線築造工事（葵3 城北二丁目地区） ・渋川雨水1号幹線築造工事、渋川雨水ポンプ場整備工事 （清6 川岸町・渋川地区）ほか</p>
------	--

【浸水対策推進プラン 基幹施設整備】




平成26年台風18号による浸水







雨水ポンプ場整備



雨水幹線整備



河川改修



浸水被害軽減

教育委員会事務局

教 育 局

教育局 当初予算のポイント



令和4年度（2022年度）の目指す姿

～たくましく しなやかな子どもたちを育成～

人口減少社会の到来、グローバル化のさらなる進展など、社会の変化が激しい中においても、常に夢と希望を持ち、自らの未来を切り拓いていける『たくましく しなやかな子どもたち』を育成する。

令和4年度の予算の特徴

- I 新しい時代を切り拓く子どもたちの育成とその環境整備
- II 誰一人取り残さない教育の実施
- III 地域とのつながりを大切にする静岡ならではの取組の実施

I 新しい時代を切り拓く子どもたちの育成とその環境整備 当初 415,800千円 (2月補正 374,500千円)

1 静岡型ICT教育の推進

1人1台端末を活用した教育環境において、新しい時代の学びを保障するために、学校現場でのICTの継続的・日常的な活用を支援するとともに、持続可能な学校支援体制を構築する。

- ① [拡充] ICT教育環境整備事業 94,551千円

- ・静岡市GIGAスクール運営支援センターの設置
(ICT支援員の配置拡充、ヘルプデスクの新設)
- ・通信環境が整っていない家庭への支援



1人1台端末の整備

- ② [新規] 静岡市立高等学校教育用情報機器の整備 41,400千円(2月補正)

2 グローカル人材育成のための魅力ある教育施策の推進

しずおかに愛着と誇りを持ちながら、異なる文化の人々と自信をもってコミュニケーションをとり、国内外でグローバルに活躍できる人材が育つ教育環境を構築する。

- ① [拡充] 英語が堪能な地域人材GETの活用 27,302千円
- ② [拡充] 国際教育プログラム推進事業 3,891千円



教員とGETとの授業

3 持続可能な部活動システムの構築

持続可能な新しい部活動システムの構築を目指し、引き続き実践研究を行う。

- ① [継続] 持続可能な部活動システムの構築に向けた実践研究 1,800千円

4 安心・安全で快適な教育環境の実現

誰もが利用しやすい清潔で快適なトイレや老朽化した基幹設備等の改修を行い、教育環境の向上を進める。

- ① [継続] 小中学校校舎トイレリフレッシュ事業 333,100千円(2月補正)
- ② [継続] 小中学校基幹設備等(受変電設備・給水設備・外壁打診)改修事業 278,700千円
- ③ [継続] 図書館整備事業 9,556千円
 - ・薬科図書館大規模改修工事設計委託



トイレ改修例

Ⅱ 誰一人取り残さない教育の実施

当初 392,711千円

1 外国につながる児童生徒の支援体制の充実

外国につながる児童生徒が、充実した日本語指導のサポートを受けることができ、日本の学校に抵抗感なく通えるような体制を整える。

- ① **[拡充]** 外国人児童生徒等支援事業 11,613千円
 - ・日本語指導教室(清水三保第二小)の新設
 - ・小学校入学前の子どもと保護者を対象としたプレスクールの実施



日本語指導教室

2 特別支援教育の推進

特別な支援を要する子ども一人ひとりの可能性を最大限に伸ばすための体制整備を進める。

- ① **[拡充]** 小中学校看護師の配置 15,198千円
- ② **[拡充]** 自閉症・情緒障害学級への非常勤講師の配置 41,436千円



特別支援学級(自・情)への非常勤講師の配置

3 子ども一人ひとりに寄り添う体制の充実

「こころの支援」と「学びの支援」の両面で、子ども一人ひとりに寄り添う体制の充実を図る。

- ① **[拡充]** 教育相談員の配置 22,398千円
- ② **[継続]** 訪問教育相談員の配置 25,403千円
- ③ **[継続]** スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置 104,023千円
- ④ **[拡充]** 教員業務支援員(スクール・サポート・スタッフ)の配置 62,170千円
- ⑤ **[継続]** 静岡市型35人学級編成の実施(定数以外の教員配置分) 105,000千円
- ⑥ **[継続]** 学力アップサポート事業の実施 5,470千円

Ⅲ 地域とのつながりを大切にする静岡ならではの取組の実施 当初 505,716千円

1 静岡型小中一貫教育の推進

令和4年度全市一斉「静岡型小中一貫教育」をスタートし、地域と連携した学校づくりを進める。また、施設一体型の小中一貫校設置を目指す地区では新校舎の建設等を進める。

- ① **[継続]** 両河内地区施設一体型小中一貫校化に伴う小学校の新校舎の建設工事等 144,430千円
- ② **[継続]** 蒲原地区施設一体型小中一貫校化に伴う新校舎の基本設計・実施設計(債務負担 R4:0千円 R5:151,600千円)等 27,970千円
- ③ **[新規]** 両河内地区スクールバスの運行 13,181千円



(仮称)清水両河内小中学校新校舎
完成イメージ

2 静岡を食べよう！おいしい給食の提供

静岡市への愛着や誇りをもたせるために、静岡のブランド食材の提供、献立の開発、さらに安心・安全な給食を安定に提供するため学校給食施設の維持管理や整備を進める。

- ① **[拡充]** 静岡を食べよう！おいしい給食の提供 87,422千円
- ② **[継続]** 学校給食施設・厨房設備更新事業 67,600千円



令和3年度わくわく給食
(静岡茶のタルト)

3 学校・地域の連携・協働活動の推進

学校と地域住民等が力を合わせて学校運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校づくり」を進め、学校と地域が連携・協働する体制を整える。

- ① **[拡充]** コミュニティ・スクールの推進 2,060千円
- ② **[継続]** 地域学校協働活動の推進 104,133千円
- ③ **[継続]** 学校・地域 ひとつなぎコーディネーター養成講座 1,577千円

4 和田島自然の家の整備

両河内地区における学校統合に伴う校舎の跡地利用として、清水西河内小学校を全面改修再開を図る。

- ① **[継続]** 和田島自然の家整備事業 57,343千円

【拡充】

ICT教育環境整備事業

教育センター

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	臨時交付金	市債	
当初予算額	94,551	14,138	58,500		21,913
前年度予算額	57,922				57,922

目的

多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、資質や能力を育成するため、個別最適化されたICT教育の環境整備を行う。



事業概要

- 1 静岡市GIGAスクール運営支援センターの設置 **拡充**
81,276千円
 - ICT支援員の配置
授業支援、ICT環境整備支援、研修支援を行う。
学校への訪問回数 1,500回 (500回増)
 - ヘルプデスクの設置
児童生徒及び教員からの機器操作、端末の故障・修理等の問い合わせに対応する。(平日6時間)
- 2 通信環境が整っていない家庭への支援 **新規**
13,275千円
家庭に通信環境がない児童生徒の学習を保障するため
モバイルルーター等の貸与を行う。



ICT支援員が子どもに操作支援する様子



子ども達が端末を使い、それぞれの考えを伝え、比べ合い学びを深める様子

子ども一人ひとりに寄り添う体制の充実

教育総務課、教職員課
学校教育課、児童生徒支援課

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/3)	市債	その他	
当初予算額	324,464	72,564		35,100	216,800
前年度予算額	350,906	71,307			279,599

目的	不安や悩みを抱える子どもの居場所づくりや相談体制の充実を図るとともに、勉強に不安を感じている子どもたちの学びを保障するため、補充学習や少人数学級等によるきめ細かな指導体制を確立し、子どもの可能性を引き出す教育環境を整える。
----	---



事業概要	<p>1 「こころ」の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教育相談員の配置 拡充 22,398千円 不登校の未然防止及び学校生活復帰に向けた相談対応、別室（サポートルーム）での学習支援等を実施 小学校10校（4校増） 中学校35校 ○訪問教育相談員の配置 25,403千円 不登校児童生徒の家庭を訪問し、その子のニーズ、特性、状況にあった適応指導教室などの居場所へのマッチング等の支援を実施 中学校12校 ○スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置 104,023千円 問題を抱える児童生徒に対し、組織的な相談機能を向上させるため、心理、福祉の専門家による支援を実施
	<p>2 「学び」の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教員業務支援員（スクール・サポート・スタッフ）の配置 拡充 62,170千円 R4年度から全小中学校に加え、高等学校にも配置 ○静岡市型35人学級編制の実施 105,000千円 きめ細やかな指導体制を実現するため、市立小中学校の全学年で35人学級編成を実施 ○学力アップサポート事業 5,470千円 小学校に支援員を配置し、個別に補充学習を実施 30校程度



サポートルームの様子



18人学級の授業の様子

静岡型小中一貫教育の推進

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	185,581	76,462	12,900		96,219
前年度予算額	599,081	31,423	462,000		105,658

目的	令和4年度全市一斉「静岡型小中一貫教育」をスタートし、地域と連携した学校づくりを進める。また、施設一体型の小中一貫校設置を目指す地区では新校舎の建設等を進める。
----	--



事業概要	<p>1 静岡型小中一貫教育の全市一斉スタート 地域ならではの特色ある教育の推進や、たて(小学校と中学校)とよこ(学校と地域)のつながりのさらなる強化により、これからの社会を生きるために必要となる資質・能力を育成</p> <p>2 両河内地区施設一体型小中一貫校化に伴う 144,430千円 小学校の新校舎の建設工事等 ○令和4年度 (仮称) 清水両河内小中学校を開校</p> <p>3 蒲原地区施設一体型小中一貫校化に伴う 27,970千円 新校舎の基本設計・実施設計等 ○債務負担行為 令和4年度: 0千円 令和5年度: 151,600千円</p> <p>4 両河内地区スクールバスの運行 新規 13,181千円</p>
------	---



(仮称) 清水両河内小中学校 新校舎完成イメージ

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/3)	市債	その他	
当初予算額	230,260	5,053		148	225,059
前年度予算額	199,344	1,134		75	198,135

目的	特別な支援を必要とする子ども一人ひとりの持つ可能性を最大限に伸ばすために、適切な教育環境の整備を行う。
----	---



事業概要	誰ひとり取り残さない特別支援教育を目指した取組を推進
	1 医療的ケア看護職員の配置 拡充 15,198千円 学校における医療的ケア児が安心して教育活動に取り組むことができるよう、医療的ケアを実施 (R3 : 2人→R4 : 6人)
	2 自閉症・情緒障害学級の学習指導の充実 拡充 41,436千円 自閉症・情緒障害学級のうち、7人以上かつ4学年以上の複数学年が在籍している学級に教員を追加配置 (R3 : 6人→R4 : 10人)
	3 特別支援教育支援員の配置 拡充 173,626千円 学級の中で、落ち着かない子どもや活動に遅れがちな子どもが学校で安心して学べるために、小・中学校に支援員を配置 (R3 : 226人→R4 : 231人)



複数学年が在籍する学級に教員を追加配置した授業風景

(千円)

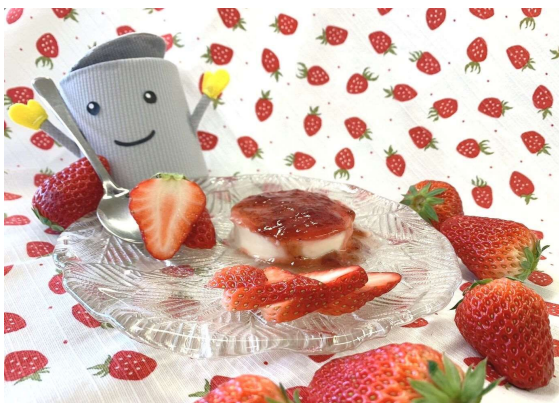
	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	87,422				87,422
前年度予算額	74,270				74,270

目的	静岡のブランド食材を使用した給食を提供し、学校給食における地産地消及び食育を推進することで、静岡の食に対する興味・関心を高める機会を創出し、静岡の食のすばらしさを伝えられる子を育てる。
----	--



事業概要	<p>1 わくわく給食プロジェクト 学校給食を通して郷土愛の醸成を図るための特別献立の提供 ・回数 年6回 ・対象 全市立小中学校</p> <p>2 お茶に親しむ機会の確保 ○市内産茶葉を使用したティーパックの提供 新規 ・回数 年40回（和食献立の日） ・対象 モデル校4校 ○栄養教諭によるお茶に関する食育の推進</p> <p>3 わくわく給食応援団プロジェクト 新規 ○地産地消を意識した特別感のあるメニューの開発 ○学校給食に係る情報を集約した総合サイトの開設</p>
------	--

令和3年度 提供献立



(12月) お米のパバロア静岡いちごソース

- (子どもたちの声)
- ・いちご大好き！
 - ・いちごソースがさっぱりしているから、食べやすい！
 - ・パバロアといちごソースの相性が良い！

令和3年度 提供献立



(1月) 静岡茶タルト

- (子どもたちの声)
- ・お茶のデザート大好き♪
 - ・お茶だから少し苦味があると思ったけど、甘くて食べやすかった。
 - ・お茶の風味が良かった！

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	57,343		35,300		22,043
前年度予算額	16,500				16,500

目的	学校統合に伴う跡地利用として、清水西河内小学校の校舎等を改修し、自然の家の再開に向けた整備を行う。
----	---



事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ○事業概要 <ul style="list-style-type: none"> ・ 移転先 清水区西里地内（現 清水西河内小学校） ・ 敷地面積 10,230㎡ ・ 主要施設 宿泊棟、炊飯棟、体育館、多目的広場 ○令和4年度実施内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ 土砂災害対策工事に係る設計等 15,950千円 ・ 校舎改修工事に係る設計等 32,142千円 ・ 旧和田島自然の家解体工事に伴う事前調査 9,251千円 ○スケジュール <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度～ 校舎改修工事、旧和田島自然の家解体工事、土砂災害対策工事 令和6年度中 供用開始予定 ○旧和田島自然の家 <ul style="list-style-type: none"> 平成31年4月1日から休館
------	--



移転先施設(清水西河内小学校)



自然に恵まれた環境

会 計 室
議 会 事 務 局

（千円）

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	臨時交付金	市債	
当初予算額	41,455		41,455		
前年度予算額					

目的
市の窓口においてキャッシュレス決済を導入することにより、デジタル化による市民サービスの向上、国内外からの観光客等への対応、コロナ禍における感染症対策に努める。令和6年度までに約130の窓口・施設（予定）での導入を目指す。



事業概要

令和4年度は31の窓口・施設にてキャッシュレス決済を導入

- 導入時期
令和4年10月（予定）
- 導入決済サービス
クレジットカード・電子マネー・QRコード
- 導入窓口・施設
 - ・市民に身近でよく利用される証明書等発行窓口
 - ・市民が集い、観光客が訪れる観光文化施設 等

【令和4年度 31窓口・施設】

- 戸籍・税証明等手数料（9窓口）
葵区・駿河区・清水区戸籍住民課
市民税課、駿河税務センター、清水市税事務所
井川・長田・蒲原支所
- 公文書公開請求手数料（3窓口）
葵区・駿河区・清水区地域総務課
- 納骨堂使用料等（1窓口）
戸籍管理課
- 施設使用料（18施設）
清水文化会館、市民ギャラリー、静岡音楽館、
静岡科学館、東海道広重美術館、静岡市美術館、
芹沢銈介美術館、登呂博物館、静岡市歴史博物館、
駿府城公園（東御門・巽櫓、坤櫓、紅葉山庭園、立礼席）、
三保真崎グラウンドゴルフ場、ふれあい健康増進館、
障害者歯科保健センター、
東静岡駅北口自転車等駐車場、東静岡駅南口自転車等駐車場

【令和5年度以降（予定）】

- 体育館等のスポーツ施設、
生涯学習センター・生涯学習交流館、
温泉施設等の中山間地施設 など



市民サービスの向上

感染症対策

観光客等への対応



窓口におけるキャッシュレス決済イメージ



証明書等発行窓口



観光文化施設

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	15,702				15,702
前年度予算額					

目的
ICTの活用による効率的な議会運営の実現及びコロナ禍・災害時等緊急時の議会機能の維持を図る。



事業概要

1 タブレット端末の導入 14,706千円
 効率的な議会運営の実現及びコロナ禍・災害時等緊急時の議会機能の維持に向け、タブレット端末を導入する。また、議会機能の維持に必要な「議員と議会事務局の双方向の着実な連絡手段」を確保するため、ビジネスチャットツールを併せて導入し、議員への情報提供や連絡調整に活用する。

2 ペーパーレス文書共有システム運用業務 996千円
 本会議・委員会等における議員への配付資料を電子化するとともに、議員と電子資料の共有化を図り、議場・委員会室での審議等に資するために必要な「ペーパーレス文書共有システム」を導入する。
【スケジュール】
 (紙媒体と電子データの併用)
 ・令和4年11月定例会 議会事務局作成資料の電子化、議案書等の紙媒体と電子データの併用
 ・令和5年2月定例会 同上
 (配付資料の完全ペーパーレス化)
 ・令和5年6月定例会 本会議等において使用する議案書等の資料を全て電子化

(イメージ)

